

官報

號外

大正三年二月二十七日

金曜日

印刷局

第三十一回衆議院議事速記第十六號

帝國議會

大正三年二月二十六日(水曜日)午後一時六分開議

議事日程 第十五號 大正三年二月二十六日

午後一時開議

- 第一 關稅定率法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會
- 第三 臺灣銀行法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會
- 第五 畜牛結核病豫防法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會
- 第七 賣藥法案(政府提出) 第一讀會
- 第八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會
- 第九 船舶積量測度法案(政府提出) 第一讀會
- 第十 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會
- 第十一 決議案(河野廣中君) 第一讀會
- 第十二 織物消費稅法中改正法律案(岡部次郎君) 第一讀會
- 第十三 會計法中改正法律案(武富時政君) 第一讀會
- 第十四 會計檢査院法中改正法律案(高木益太郎君) 第一讀會
- 第十五 衆議院議員選舉法中改正法律案(橫山寅一郎君) 第一讀會
- 第十六 衆議院議員選舉法中改正法律案(小泉又次郎君) 第一讀會
- 第十七 會社令廢止法律案(守屋此助君) 第一讀會
- 第十八 質屋取締法中改正法律案(岡田榮君) 第一讀會
- 第十九 國有土地森林原野下戻法中改正法律案(岡田泰藏君) 第一讀會
- 第二十 東北六縣田畑地價特別修正法律案(齋藤宇一郎君) 第一讀會
- 第二十一 日本勸業銀行法中改正法律案(白川友一君) 第一讀會
- 第二十二 輕便鐵道補助法中改正法律案(白川友一君) 第一讀會
- 第二十三 印紙稅法中改正法律案(中小路與平治君) 第一讀會
- 第二十四 衆議院議員選舉法中改正法律案(尾崎行雄君) 第一讀會
- 第二十五 土地收用法中改正法律案(若水平藏君) 第一讀會

○議長(大岡育造君) 諸般ノ報告ヲ命ジマス

(書記朗讀)

- 一 政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
(第一號)大正二年度歳入歳出總豫算追加案
(特第一號)大正二年度各特別會計歳入歳出豫算追加案
(地方學事通則改正法律案)
一 貴族院ヨリ受領シタル政府提出案左ノ如シ
一 實業教育費國庫補助法改正法律案
一 議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
多摩川改修工事年度繰上ケニ關スル建議案
提出者 高木 正年君 高木 益太郎君
通行稅法中改正法律案
提出者 田川 大吉郎君
著作權法中改正法律案
提出者 石橋 爲之助君 相島 勘次郎君

決議案

提出者 河野 廣中君 武富 時敏君 犬養 毅君

印紙稅法中改正法律案 提出者 三谷 軌秀君 植場 平君 法橋 善作君

瓦斯事業取締法制定ニ關スル建議案 提出者 才賀 藤吉君 秋岡 義一君 井坂 光暉君

一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

海軍將校不當懲戒ニ關スル質問 提出者 八田 裕二郎君 菊池 武德君

自治權蹂躪ニ關スル再質問 提出者 早速 整爾君

政府ノ新領土經營ニ對スル主義方針及臺灣陰謀事件ノ責任並其ノ善後策ニ關スル再質問 提出者 小林 勝民君

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

一去二十四日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

戶籍法改正法律案外三件

長島 鷲太郎君 鶴澤 總明君 魚谷 直太君

島田 俊雄君 麓 純義君 工藤 吉次君

石 黑 磐君 荒川 五郎君 早川 六三郎君

吉原 正隆君 小 河 源一君 齋藤 隆夫君

野村 嘉六君 花 井 卓藏君 加瀬 禧逸君

山 谷 虎三君 渡邊 祐策君 安村 竹松君

輸出入植物取締法案 八木 逸郎君 佐藤 信古君 木村 良君

山本 七朗君 小 西 和君 久保 通猷君

福田 善三郎君 織物消費稅法中改正法律案外三件

植場 平君 武藤 金吉君 齋藤 安雄君

岡田 泰藏君 高島 茂平君 手塚 正次君

小林 源藏君 小泉 策太郎君 森田 俊左君

有馬 秀雄君 綾部 惣兵衛君 武内 作平君

黑須 龍太郎君 福田 又一君 人見 米次郎君

村松 愼一郎君 石橋 爲之助君 岡部 次郎君

產業獎勵基金特別會計法案 井上 角五郎君 吉植 庄一郎君 三土 忠造君

東 倉 武君 堀切 善兵衛君 三輪 市太郎君

中倉 万次郎君 水村 隆慶君 樋口 典常君

大橋 松二郎君 早川 龍介君 町田 忠治君

岡崎 久次郎君 鈴木 梅四郎君

柏原文太郎君 早速 整爾君 田川 大吉郎君

一委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ

戶籍法改正法律案外三件委員會 委員長 長島 鷲太郎君 理事 島田 俊雄君

輸出入植物取締法案委員會 委員長 八木 逸郎君 理事 加瀬 禧逸君

織物消費稅法中改正法律案外三件委員會 委員長 植場 平君 理事 山本 七朗君

產業獎勵基金特別會計法案委員會 委員長 井上 角五郎君 理事 武藤 金吉君

委員長 井上 角五郎君 理事 堀切 善兵衛君

(左ノ質問書ハ前號ニ掲載スヘキヲ脫漏ニ付茲ニ載録ス)

會計検査官減員及外三件ニ關スル質問主意書 會計検査官減員及外三件ニ關スル質問主意書 右成規ニ據リ提出候也

大正三年二月二日 提出者 中川 虎之助 贊成者 八田 裕二郎 外三十三人

一 會計検査官減員及外三件ニ關スル質問主意書

會計検査ノ周到ヲ期スルハ憲政ノ發達ニ必要缺クヘカラサルハ勿論ナリ然ルニ

一億圓以下ノ歳計ヲ検査スルニ十二名ノ定員アリタルニ今ヤ六億ノ歳計ヲ

検査スルニ當リ八名ノ定員ニ減シタルハ如何ナル理由ナリヤ政府ハ或ハ云ハム

行政整理ノ結果ナリト果シテ然ラハ整理ノ意義ヲ没却セシモノニシテ唯會計檢

査院ノ活動ヲ忍レ之ヲシテ有名無實ノモノタラシムタルニアラサルヤ如何

山本首相ハ政黨内閣ノ樹立ヲ理想トシ一時憲政擁護閣族打破ヲ標榜シテ前

桂内閣ヲ彈劾セシ立憲政友會ノ首領ヲ現内閣員ニ列セシメ且首相ハ大正二

年二月二十三日立憲政友會ニ於テ余カ政見ハ立憲政友會ノ主義政綱政策

ト同一ナレハ總テ之ニ準據スヘシトノ言明ヲ爲シタリ又前議會ニ於テ議員林毅

陸君ノ質問ニ對シ憲政ノ運用ニハ政黨ニ重キヲ置ク云々ト答辯セラレタルニモ

拘ラス今尙首相ハ政黨以外ニ超然タリ而モ責任アル政友會出身ノ各大臣モ

亦前桂内閣ヲ彈劾セシ眞意義ヲ没却シテ平然タルモノノ如シ山本首相ハ同一

政見ヲ有スル政友會ニ入會シテ堂々タル理想的政黨内閣ヲ造ラサルハ何故ナ

ルカ又政友會出身ノ各大臣ニシテ之ヲ不問ニ付スルハ言行ノ撞著ニアラスヤ如

何

三 海軍收賄問題ハ國家ノ重大問題ナリ此ノ問題ニシテ解決判明セサル限ハ海軍

擴張費ノ豫算ハ審議スルヲ得ス山本首相ハ現内閣ノ首相ニシテ海軍大將タリ

山本首相ノ勢威ハ海軍部内ニ隆降トシテ現時ノ海軍ハ山本ノ海軍ナリトノ世

評アルモ偶然ナラサルヲ信スルモノアリ山本首相ハ本問題ヲ解決セム爲急遽査

問委員ナルモノヲ任命シテ之ヲ調査ヲ爲サシメタルモノノ如シ然モ査問委員

ナルモノハ悉ク海軍ノ將士ニシテ多クハ山本首相ノ幕下ナリ之ヲ以テ國民ノ疑

感ヲ釋カトスル如キハ思ハサルノ甚シキモノニ非サルカ苟モ山本首相ニシテ本問
題ヲ解決シ國民ノ疑惑ヲ釋カトスルノ誠意アラハ宜ク英國大藏大臣「ロイド、
ジョージ」氏カ批難ヲ受ケタルニ對シ自己ノ財產一切ヲ提供シテ議會ノ查問ヲ
受ケテ潔白ヲ表シタルカ如クスルノ意思ナキヤ如何

四 我カ現時ノ國情ニ對シテ英國ノ如ク真心金條例ナルモノヲ設定スルノ必要アリ
ト認ム何トナレハ官吏ニシテ收賄ノ爲暴富ヲ致シタルモノアリ或ハ一般人民
ニシテ脫稅ヲ遂行シテ暴富ヲ致シタルモノアリ其ノ他不義ノ手段ヲ以テ富裕ヲ
誇ルモノアリ雖彼等モ一朝或ル機會ニ於テ悔悟ノ場合アリトモ常ニ良心
ニ苛責セラレ終生安心ノ途ヲ得ルニ由ナキモノナリ是等ノ極メテ憫諒スヘキモノ
ヲ救済スルノ目的ヲ以テ真心金條例ノ如キモノヲ設定シテ社會ノ公德心ヲ向
上セシムルノ機關必要ナリト信ス政府ハ斯ノ如キ機關ノ設定ヲ必要ト認メサル
ヤ如何

右及質問候也

○議長(大岡育造君) 堀内啓治君ヨリ本二十一日ヨリ十日間病氣ノタメ請暇ノ願
出ガアリマス、之ヲ許可スルニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 異議ナシト認メマス、依テ之ヲ許可致シマス——第二部決算
委員堀内啓治君ヨリ辭任ノ申出ガアリマス、許可スルニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 異議ナシト認メマス、依テ之ヲ許可致シマス、第二部ニ於テ
補關選舉ノ上御届出アラシコトヲ希望致シマス——本田恆之君ヨリ議事ノ進行ニ關
スル質問ガアリマス——本田恆之君

(本田恆之君登壇)

(拍手起ル)

○本田恆之君 去ル十四日豫算委員室ニ於キマシテ議員加賀字之吉君ガ「分リマ
セヌ」ト呼フ者アリ(暴漢ノタメニ「高聲ニ願ヒマス」ト呼フ者アリ)暴漢ノタメニ襲撃セラ
レマシタコトニ付キマシテ、議長ニ對シテ「箇ノ質問ヲ致シタイト考ヘマス

○議長(大岡育造君) 靜肅ニ且大聲ニ願ヒマス

○本田恆之君 此院內ニ於キマシテ、衆議院議員ガ暴漢ノタメニ負傷シタト云フ
事柄ハ非常ノ出來事デアリテ、此議會ノ歴史ニ於テ特記セラルベキ重大ノ事件デアルト
考ヘマスデゴザイマスカラ、此事實ノ顛末ハ明確ニ記録シテ保存シテ置キタイト思ヒマ
ス、テ其時ノ出來事ハ私モ立會ッテ存テ居リマスルガ、豫算委員室ニ於キマシテ、加賀
君及其他二三ノ代議士ガ之ヲ追掛ケマシテ、第三委員室ノ隔ニ於キマシテ之ヲ漸ク取
押ヘタト云フ事實ニナシテ居ル、此處ニ守衛ガ參リマシテ、第三委員室ノ内ニ押込シテ
鎮靜ヲ仰シテ、僅ニ其逃亡ヲ禦イタト云フ事實ニナシテ居リマス、然ルニ守衛長ヨリ議
長ニ報告ニナリタル報告書ニ依テ見マスレバ、今十四日午後二時四十分豫算委員室
ニ於テ開會中云々三四ノ議員ハ前記ノ者ヲ等テ押出サントスル所ナルヲ以テ守衛之ヲ
室外ニ拉シタリ「トアル、此守衛長ヨリ議長ニ報告致シマシタトコロノ報告書ハ、マルテ事
實ニ反シタ記載ニナシテ居リマス、此議院內ニ於ケル非常ノ出來事ヲ證明致シマス「トコ
ロノ報告書ト云フモノガ此ノ如ク事實ニ違ッテ居タト相成リマシテハ、後ニ至リテ此議

院ノ歴史ヲ記載スル上ニ於キマシテモ、非常ノ錯誤ヲ生ズルト云フ虞ガアリマスカラ、此
事ハ事實ガ違ッテ居ルト云フコトヲ、同僚議員ヨリ非公式ニ議長ニ注意シタト云フコ
トニモナッテ居リマスカラ、議長ニ於キマシテハ、定メテ其後守衛ニ對シテ更正シタル
トコロノ報告書ヲ徵セラレテ居ル答ト考ヘマス、若シ其報告書ヲ徵シテ居ラレマスナラハ、
之ヲ議場ニ報告ヲ願ヒタイ、若シ又未ダ此事實ノ詳細ヲ盡シタルトコロノ報告書ヲ、守
衛長ヨリ徵シテナイト致シマスルナラバ、議長ニ於キマシテハ速ニ事實ニ吻合致シマシタトコ
ロノ報告書ヲ徵セラレテ、議院ノ記録トシテ保存セラレムコトヲ望ミマス、ワレカラ第二ニハ
其時暴漢ガ帶ビテ居リマシタトコロノ此種通章第十四號、及ビ院內出入章第三號
ト云フ此二ツノ徵章ハ、政友會ノ事務員小林某、山内某ニ交付サレテ居ルトコロノ徵
章アルト云フコトヲ承ッテ居リマスガ、果シテサウデアルヤ否ヤ、若シサウデアルト致シマスレ
バ此議院ヨリ交付ニナッテ居ルトコロノ徵章ヲ、私ニ他ノ者ニ貸渡シタト云フハ犯則デ
アレ、其行爲ハ甚ダ不正ナコト、考ヘマス、是等ノ者ニ對シテ議長ハ如何ナル處置ヲセ
ラレタカ、吾々ノ考ヘルトコロニ依リマスレバ、少クモ此徵章ヲ取上ゲラレテ、其犯則者
ハ議院ノ出入ヲ禁止セラレ、位ノコトハ當リ前ノコト、考ヘマスルガ果シテ議長ニ於キマ
シテハ如何ナル處置ヲ執ラレタカト云フコトヲ承リタイ、是ハ事甚ダ小ナルガ如クデゴザイ
マスケレドモ、議院內ニ於テ暴漢ノタメニ議員ガ負傷シタト云フ事實ハ、此議院制度ニ
就キマシテハ非常ノ出來事「トツト考ヘマス、此事實ヲ後ニ記スベキ記録ノ上ニ於テ過
ガアッデハナラヌト思ヒマスカラ、議長ニ質問シ且其經過ヲ承知致シタイト考ヘマス(拍手
起ル)

○議長(大岡育造君) 唯今本田君ヨリ御質問且御希望ノ點ニ付キマシテ御答ヲ
申シマス、守衛ノ報告ハ少シク事實ニ違フト云フ意味デゴザイマスガ、實ハ既ニ御承知
ノ通り檢事ニ犯人ハ送ッテアリマスカラ、當時逮捕シタルトコロノ事ニ關シ、總テ裁
判所ノ公明ナル嚴格ナル調査ニ依テ明カニナルコト、考ヘマス、爲メニ未ダ訂正ヲ求ムル
手續ヲシナカッタデアリマス、併ナガラ御希望ノ次第ハ御尤ト考ヘマスカラ、更ニ内部ノ
實況ヲ精シク認メサセマシテ、報告ヲ致シヤウニ命ズル積リデアリマス、尙當日用井マシタ
ル章ハ如何ナル手續ニ依テ彼ガ借リタモノデスカ、或ハ竊取シタモノデアリマスルカ、ドウ
モ今明確デアリマセヌ、是ハ調査中デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス——日程第一、
關稅定率法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス——高橋大藏大臣

第一 關稅定率法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

- 關稅定率法別表輸入稅表中左ノ通改正ス
- 第二十五號中「菓子」ノ下ニ「及芥子」ヲ加フ
 - 第一百一號中「一、四〇」ヲ「一、五〇」ニ改ム
 - 第一百十四號中「四十二度」ヲ「四十五度」ニ改ム
 - 第一百十五號中「及赤燐」ヲ「赤燐及硫化燐」ニ改ム
 - 第一百四十五號中「每斤」ヲ「每百斤」ニ改ム
 - 第一百八十三號中「從價」ヲ「每百斤」ニ改ム
 - 第一百八十四號中「一、五〇」ヲ「一、四〇」ニ改ム
 - 第一百八十五號中「一、五〇」ヲ「一、四〇」ニ改ム
 - 第一百八十六號中「一、五〇」ヲ「一、四〇」ニ改ム
 - 第一百八十七號中「一、五〇」ヲ「一、四〇」ニ改ム
 - 第一百八十八號中「一、五〇」ヲ「一、四〇」ニ改ム
 - 第一百八十九號中「一、五〇」ヲ「一、四〇」ニ改ム
 - 第一百九十號中「一、五〇」ヲ「一、四〇」ニ改ム
 - 第一百九十一號中「一、五〇」ヲ「一、四〇」ニ改ム
 - 第一百九十二號中「一、五〇」ヲ「一、四〇」ニ改ム
 - 第一百九十三號中「一、五〇」ヲ「一、四〇」ニ改ム
 - 第一百九十四號中「一、五〇」ヲ「一、四〇」ニ改ム
 - 第一百九十五號中「一、五〇」ヲ「一、四〇」ニ改ム
 - 第一百九十六號中「一、五〇」ヲ「一、四〇」ニ改ム
 - 第一百九十七號中「一、五〇」ヲ「一、四〇」ニ改ム
 - 第一百九十八號中「一、五〇」ヲ「一、四〇」ニ改ム
 - 第一百九十九號中「一、五〇」ヲ「一、四〇」ニ改ム
 - 第二百號中「亞麻」ノ下ニ「苧麻」ヲ加フ

三三八ノ二 瓦斯填充用鑛

第四百七號中「泥狀ノモノ」ヲ「液狀又ハ泥狀ノモノ」ニ改ム

第四百八號中「ウニツトストーン」ヲ削ル

第四百十八號第一項中「每百斤」ヲ削リ「〇・七〇」ヲ「無稅」ニ第二項中「同」ヲ「每百斤」ニ改ム

四八五ノ二 壓榨瓦斯填充用鐵製シリンドラー

第五百二十七號第八項ヲ左ノ如ク改ム

八 其ノ他

甲 金製又ハ白金製ノモノ 同 同 五割割

乙 其ノ他 同 同 四割割

第六百五號中第十三項ノ次ニ左ノ一項ヲ加ヘ第十四項中「從價」ヲ「同」ニ改メ同項ヲ第十五項トス

六二七 骨炭 十四 スチームタービン部分品 從 價 一割五分

一 徑一二・五ミリメートルノ圓眼ヲ有スル篩ヲ通過スルモノ 無 稅

二 其ノ他 每百斤 〇・四〇

附則

本法ハ大正三年四月十五日ヨリ之ヲ施行ス

〔大藏大臣男爵高橋是清君登壇〕

○大藏大臣(男爵高橋是清君) 唯今議題ニナリマシタル此關稅定率法ノ輸入稅表中改正案ノ提出ノ理由ヲ說明ヲ致シマス、本案ニ於キマシテ改正セラルベキ主ナルモノヲ申シマスレバ、從來有稅品デアリマシタルモノハ無稅ニ致スモノハ「バラフ井」ノ蠟中ノ一部分硫化燐、ツレカラ金液、銀液、白金液、石綿及骨炭中ノ一部分等デアリマス、又從來ヨリモ低稅ヲ課スルコトニ致シマシタルモノハ、瓦斯ヲ填充充致シマスルニ用井マスル蠟、ツレカラ壓榨瓦斯ヲ填充充スルニ用井マスル鐵製「シリンドラー」、ツレカラ「スチームタービン」等デアリマス、何レモ我が輸出貿易品ノ原料トシテ使用セラル、カ、或ハ又内地工業用ニ使用セラル、モノデアリマシテ、此改正ノ結果ハ我が輸出貿易品ニ於テハ正ノ結果稅率ノ高マル物デアリマス、又ハ從價稅ヲ從量稅ニ改正シタル物デアリマス、要スルニ何レモ貿易ノ狀態、内地工業ノ進運並ニ現行稅率中彼此ノ權衡等ニ鑑ミマシテ、改正ノ必要ヲ認メタル次第デアリマス、ドウカ御協贊アラントラ望ミマス

○議長(大岡育造君) 早速整爾君

○早速整爾君 テヨット大藏大臣ニ御尋シタイノデアリマス、唯今ノ御說明ニ依リマシテ、此改正案ヲ御提出ニナリマシタ趣旨ハ分リマシテゴザイマス、其御精神ノアル所ハ私共モ大體ニ於テ同意致シタノデアリマスガ、政府ノ御考デハ此關稅定率法中ノ改正ニ關シテ、今少シ根本ニ於テ之ヲ改正ヲシナケレバナラヌト云フ御考ハナインデアリカ、更ニ此點ニ於テ政府ノ御方針ヲ——根本義ノ御方針ヲ御尋致シテ見タイノデアリマス、此案ニ現ハレテ居リマス稅率ノ改正ト云フコトニ付キマシテハ、前申シマスル如ク御精神ノ存スル所ハ頗ル宜イケレドモ、輸出品ノ原料等ニ關シテ、此輸入稅ヲ免除スルカ、或ハ輕減スルカ云フ御精神、將來ノ貿易ノ發展ヲ圖ルト云フ上ニ付テ、御精神ハ頗ル宜イ、併シ此案ニ現ハレテ居ル位ノコトデケデハ、是ハ全ク小刀細工ノ改正ニ止マル

ノデアリマス、數年前ニ根本ニ於テ此關稅定率法ヲ改正セラレテ以後、其當時ノ政府ノ方針ガ間違ッテ居リマシタガ爲メニ、今日ニ於テ内地ノ商業工業者ガ此關稅法ニ支配セラレテ、非常ニ不利ノ影響ヲ被ッテ居ルト云フコトハ莫大ナモノデアリマス、又一方ニハ此關稅ガ餘リニ保護主義ニ傾キ過ギタ爲メニ、一般ノ國民ノ生活上ニ不利益ナル影響ヲ與ヘタルコト云フコトモ、是ハ否認スルコトノ出來ナイ事實デアリマス、此故ニ關稅定率法ノ改正ヲ苟モ行フト云フコトニ相成リマスレバ、此根本ノ點ニ於テ政府ハ十分御研究ヲ遂ゲネバナラヌデアリ、小サナ問題ニ付テ改正ヲ加ヘラルヨリモ、今一層大ナル問題ニ付テ改正ヲ施サレバナラヌ點ガ、私ハ大ニ在ルト思フデアリマスガ、政府ハ之ニ付テ如何ナル御考ヲ有ッテ居ラルカ、例ヘバ大ナル問題ト致シマシテハ、私ハ一二ノ例ヲ擧ゲテ具體的ノ說明ヲ願ヒタイノガ、鐵類ノ輸入稅ト云フコトニ付テ、現行法ノ儘デアリシト云フ御考ヲ有ッテ居ラルカ、鐵類ノ輸入稅ノ如キハ私ハ思切ッテ之ヲ無稅ニスルカ、少クとも今少シ稅率ヲ輕減スルノ必要アリト信ズルデアリマス、ケレドモ斯ウ云フ大問題ニ付テハ、政府ハ何等カノ御考モナイノデアリカ、更ニ機械類ノ輸入稅ニ付テモ私ハ同様ノ考ヲ持ッテ居ルデアリマス、今日ノ輸入品中ニ付テ、此等ノ品物ハ政府トシテモ亦國民トシテモ、大ニ其輸入ヲ歡迎ヲシナケレバナラヌ管ニッテ居ル、其輸入稅率ヲ今日ノ如キ程度ニ止メルト云フコトハ、國家將來ノ生産業ノ上ニ於テハ、非常ニ不利益デアリ、然ルニ斯様ナル根本ノ大問題ニ付キマシテハ、政府何等ノ改正ノ御考ガ無イノデアリカ、又更ニ考ヘテ見マスレバ、食料品ノ輸入稅殊ニ私ハ米類ノ輸入稅ノコトニ付テモ、如何様ナ考ヲ有ッテ居ラルカ、御尋シタイノデアリ、重大ナル問題デアリ、此食料品ノ輸入稅等ニ付テ根本ノ改正ヲ加ヘルト云フコトハ、今日内地ノ社會政策ノ上カラ見マシテモ、國民ノ爲メニドウシテモ之ヲ改正シナケレバナラヌ必要ガアルト私ハ思ッテ居ルデアリマスガ、政府ガ關稅定率法ノ改正ヲ行ハル、ニ當ッテ、斯様ナル大問題ヲ忘レテ、唯區々タル小刀細工ノ改正ヲ施スニ止メントスル趣意ハ何レニアルカ、要スルニ今日ノ關稅定率法ガ、其規定宜シキヲ得テ居ナイト云フコトハ、政府ニ於テモ幾ラカ御氣ガ付カレテ居ルデアラウト私ハ思フデアリマス、ケレドモ併シ根本ニ於テモ幾ノ意思ガナイ、根本ニ於テ此定率法ヲ改メル意思ガ無イト云フコトデアリマスレバ、私ハ更ニ追窮ハ致サナイノデアリマスガ、併シ大藏大臣ハ我が内地ノ商業工業ノ發展ヲ企圖シ、海外ニ對スル貿易ノ發展ヲ獎勵シナケレバナラヌト云フ御精神ガアリマス以上ハ、此定率法ノ改正ニ付テハ何等カ根本ニ於テノ御考ノ無キ筈ハナインデアリマスカラ、此點ニ付テ大藏大臣ノ御意見ヲ同ヒタイノデアリマス

○議長(大岡育造君) 高橋大藏大臣

〔大藏大臣男爵高橋是清君登壇〕

○大藏大臣(男爵高橋是清君) 早速君ニ御答致シマス、早速君ノ言ハレル根本問題ト云フコトハ、所謂自由貿易トカ或ハ保護貿易トカ云フ方ノ大問題デアリマスナラバ、政府ハ之ヲ根本ヨリ自由貿易ニスルト云フ考ハ無イノデアリマス、ツレカラ苟モ此關稅ヲ設ケ或ハ戻稅ヲスルト云フノハ、内地ノ工業ヲ保護スルト云フ精神ニ出アルデアリマス、當ニ關稅定率ノミナラズ、一方ニ戻稅マデモシテ此内地ノ工業ヲ助ケ、又輸出ヲ獎勵スルト云フ精神ニナッテ居ルデアリマス、而シテ今日ノ場合ニ於キマシテハ政府ノ調査ノ結果、先ヅ關稅ニ付テハ唯今提案シタルコロノ程度ヲ以テ、今日ニ適當ナリト認メタルデアリマス、固ヨリ年々進歩シテ行ク時勢デアリマスカラシテ、斯様ナ事ハ年々起ルカモ知レヌノデス、又例ニ御引キナリマシタ鐵ノコトニ付テハ、是モ内地ニ漸次鐵ノ工業ガ今起リツ、アルノデアリマスカラ、其宜シキニ從ッテ之ヲ保護シツ、成ベク外國カラ這入

ス

第七 賣藥法案(政府提出)

第一讀會

賣藥法案

第一條 本法ニ於テ賣藥營業者ト稱スルハ賣藥ヲ調製又ハ輸入若ハ移入シテ販賣スル者ヲ謂フ

原料品ニ加工セシメテ賣藥ト爲スモノハ本法ノ適用ニ付テハ之ヲ賣藥ノ調製ト看做ス

第二條 賣藥營業者賣藥ヲ販賣セムトスルトキハ方名、原料品名及其ノ分量、調製ノ方法、用法、用量並効能ニ付主タル營業所所在地ノ地方長官ノ免許ヲ受クヘシ之ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

前項ノ場合ニ於テ日本藥局方ニ記載セサル原料品ヲ使用セムトスル者ハ其ノ見本品ヲ提出スヘシ

第三條 賣藥營業者二箇所以上ノ營業所ヲ設ケタルトキハ營業所毎ニ所在地ノ地方長官ニ届出ツヘシ

第四條 賣藥ノ原料品ハ其ノ性状又ハ配伍ノ結果ニ由リ危害ヲ生スルノ虞アル場合ニ於テハ之ヲ使用スルコトヲ得ス

第五條 賣藥ノ原料品ハ日本藥局方ニ記載スルモノハ其ノ所定ノ性状品質、之ニ記載セサルモノハ第二條第二項ノ見本品ト同様ノ性状品質ヲ具備スルヲ要ス

第六條 藥劑師、藥劑師ヲ使用スル者又ハ地方長官ニ於テ藥品及調劑ニ付特種ノ智識ヲ有スル者ト認メタル者ニ非サレハ賣藥ヲ調製シテ販賣スルコトヲ得ス

第七條 賣藥免許ハ前條ニ掲グル者ニ限り之ヲ讓受ケ又ハ相續スルコトヲ得

第八條 賣藥ノ効能ニ關シテハ文書、言語其ノ他何等ノ方法ヲ以テスルヲ問ハス免許ヲ得タル事項ヲ説明スルノ外之ヲ誇張シテ公示スルコトヲ得ス

第九條 行政官廳ハ衛生上又ハ風俗上必要ト認ムルトキハ賣藥ニ關スル廣告、賣藥ノ容器若ハ被包又ハ賣藥ニ添附シ若ハ添附セスシテ頒布スル文書ニ一定事項ノ記載ヲ禁止シ又ハ其ノ記載ノ變更ヲ命スルコトヲ得

主務大臣ハ命令ヲ以テ前項ノ廣告、容器、被包又ハ文書ニ記載スル事項ヲ制限スルコトヲ得

第十條 地方長官ハ衛生上危害ヲ生スルノ虞アリト認ムルトキハ賣藥營業者ニ對シ其ノ免許ヲ得タル事項ノ變更ヲ命スルコトヲ得

第十一條 賣藥營業者ニシテ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シ又ハ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ處分ニ違反シタル者ニ付地方長官ハ其ノ免許ヲ取消スコトヲ得

第十二條 行政官廳ハ當該官吏ヲシテ賣藥ヲ調製シ若ハ販賣スル場所ニ臨檢セシメ又ハ賣藥ノ検査ヲ爲サシムルコトヲ得

第十三條 行政官廳ハ試驗ノ用ニ供スル爲必要ナル分量ニ限り當該官吏ヲシテ賣藥又ハ其ノ原料品ヲ無償ニテ收受セシムルコトヲ得

第十四條 第二條第一項若ハ第五條ノ規定又ハ第十條ノ處分ニ違反スル賣藥ハ地方長官其ノ所有者ヲシテ之ヲ廢棄セシメ又ハ直接ニ廢棄セシメ其ノ他

必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得但シ所有者又ハ所持者ニ於テ衛生上危害ヲ生スル虞ナキ方法ニ依リ處置セムコトヲ請フトキハ之ヲ許可スルコトヲ得

第十五條 第二條第一項、第五條若ハ第六條ノ規定又ハ第十條ノ處分ニ違反シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十六條 第八條ノ規定、第九條ノ處分若ハ命令ニ違反シタル者又ハ當該官吏ノ臨檢若ハ検査ヲ拒ミタル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十七條 第三條又ハ第二十條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ科料ニ處ス

第十八條 賣藥營業者又ハ賣藥請賣營業者未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ之ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ其ノ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

賣藥營業者又ハ賣藥請賣營業者ハ其ノ代理人、戶主、家族同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ處罰ヲ免カルコトヲ得ス

第十九條 明治三十二年法律第五十二號ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ犯罪ニ之ヲ準用ス

第二十條 輸出又ハ移出スル賣藥ニ付テハ第二條乃至第十一條、第十四條及第十五條ノ規定ヲ適用セス其ノ取締上必要ナル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

前項ノ賣藥ヲ調製セムトスル者ハ營業所毎ニ之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

附則

第二十一條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十二條 賣藥規則ハ之ヲ廢止ス

他ノ法令中賣藥規則トアルハ本法ヲ指シタルモノト看做ス

第二十三條 從前ノ規定ニ依リ受ケタル賣藥免許ハ之ヲ本法ニ依リ受ケタル賣藥免許ト看做ス

第二十四條 本法公布ノ際現ニ賣藥營業者タル者ハ第六條又ハ第七條ノ規定ニ拘ラス賣藥ヲ調製シテ販賣シ又ハ賣藥免許ヲ讓受ケ若ハ相續スルコトヲ得但シ賣藥ヲ輸入若ハ移入シテ販賣スル者又ハ法人ハ此ノ限ニ在ラス

第二十五條 本法公布前免許ヲ受ケタル賣藥ニシテ毒藥、劇藥又ハ藥品營業並藥品取扱規則ノ指定藥品ヲ含有セサルモノニ付テハ第六條及第七條ノ規定ヲ適用セス

第二十六條 第三條及第二十條ノ届出ハ賣藥稅法ノ適用ニ付テハ之ヲ免許ト看做ス

(內務大臣原敬君登壇)

○內務大臣(原敬君) 賣藥法案ノ大體ノ説明ヲ致シマスガ、御承知ノ通り賣藥規則ハ確カ明治十年ニ制定ニナリマシテ以來、多少ノ改正ハアリマスレドモ、先ヅ此規則ヲ實行シテ居ルノデアリマスガ、之ニ付テハ今日ノ事務ニ應ジテ劇藥其他ノ調劑ニ付テ改正ヲ加ヘナケレバナラヌ點モアリマスシ、又手續ニ依テ請賣行商等ニ關スル手續等ニ於テ、如何ニモ其煩ニ堪ヘス、隨テ當業者ヨリノ申出モアルト云フヤウナ次第デ

アリマス、ソレ等ノ事情ヲ考ヘマシテ、今日ノ狀勢適シ且ツ營業者ノ便利等ヲ計ツテ、斯ノ如ク改正致スコトハ適當ナリト考ヘタ次第アリマス、十分御審査ノ上御協賛ヲ希望致シマス

○議長(大岡育造君) 日程第八

第八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○川原茂輔君 本案ハ重大ノ問題デゴザイマスカラ、議長指名十八名ノ特別委員ニ付託セラレンコトヲ希望シマス

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(大岡育造君) 川原君ノ動議ニ御異議無キモノト認メマス、仍テ本案ハ議長指名十八名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマシタ、日程第九、船舶積量測定法案ノ第一讀會ヲ開キマス

第九 船舶積量測定法案(政府提出)

第一讀會

船舶積量測定法案

第一條 船舶ノ積量ハ百立方「フット」ヲ以テ一噸トシ之ヲ測定ス

第二條 甲板一層又ハ二層ヲ備フル船舶ニ在リテハ上甲板ヲ、三層以上ヲ備フル船舶ニ在リテハ最下層甲板ヨリ第二層ニ在リテハ上甲板ヲ量噸甲板トス

第三條 甲板一層又ハ二層ヲ備フル船舶ニ在リテハ量噸甲板下ノ噸數ニ量噸甲板上被圍シタル場所ノ噸數ヲ、甲板三層以上ヲ備フル船舶ニ在リテハ量噸甲板下ノ噸數ニ量噸甲板上各甲板間ノ噸數及上甲板上被圍シタル場所ノ噸數ヲ加ヘタルモノヲ總噸數トス但シ左ニ掲グル場所ニシテ上甲板ノ噸數ハ之ヲ總噸數ニ算入セス

一 操舵機具、繫船機具、揚錨機具及主機關ト連結セサル副汽罐副汽機ニ供用セラルル場所

二 機關室、操舵室、艙室及出入口室

三 採光通風ニ要スル場所及便所

四 主務大臣ニ於テ船舶ノ安全、衛生又ハ利用上前各號ニ掲グルモノニ準スヘキモノト認ムル場所

前項ニ掲グル機關室ノ噸數ハ船舶所有者ノ申請アリタル場合ニ於テ主務大臣之ヲ相當ト認ムルトキハ其ノ全部又ハ一部ヲ總噸數ニ算入スルコトヲ得

甲板ヲ備ヘサル船舶ニ在リテハ舷端以下ノ噸數ニ舷端以上被圍シタル場所ノ噸數ヲ加ヘタルモノヲ總噸數トス

第四條 總噸數ヨリ左ニ掲グル場所ノ噸數ヲ控除シタルモノヲ登録噸數トス但シ總噸數ニ算入セサル場所ノ噸數ハ之ヲ控除セス

一 船員常用室及海圖室

二 荷足水艙

三 機關室

四 操舵機具、繫船機具、揚錨機具及主唧筒ト連結シタル副汽罐副汽機ニ供用セラルル場所

五 水夫長倉庫

六 帆船ノ帆庫

七 主務大臣ニ於テ船舶ノ安全、衛生又ハ利用上前各號ニ掲グルモノニ準スヘキモノト認ムル場所

第五條 前二條ニ掲グル場所ノ領域ハ主務大臣ノ定ムル所ニ依ル

第六條 登録噸數ノ算定ニ付機關室ノ噸數トシテ總噸數ヨリ控除スヘキ噸數ハ左ノ割合ニ依リ之ヲ定ム

一 螺旋推進器ヲ備フル船舶ニ在リテハ機關室ノ噸數カ總噸數ノ百分ノ十三ヲ超エ百分ノ二十未滿ナルトキハ總噸數ノ百分ノ三十二、外車ヲ備フル船舶ニ在リテハ機關室ノ噸數カ總噸數ノ百分ノ二十ヲ超エ百分ノ三十未滿ナルトキハ總噸數ノ百分ノ三十七

二 前號ニ該當セサル場合ニ於テハ螺旋推進器ヲ備フル船舶ニ在リテハ機關室ノ噸數ニ其ノ四分ノ三、外車ヲ備フル船舶ニ在リテハ機關室ノ噸數ニ其ノ二分ノ一ヲ加ヘタルモノ但シ船舶所有者ノ申請アリタル場合ニ於テ主務大臣之ヲ相當ト認ムルトキハ前號ノ割合ニ依ルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ算定シタル噸數カ登録噸數ノ算定ニ付總噸數ヨリ控除スヘキ機關室以外ノ場所ノ噸數ヲ總噸數ヨリ減シタル噸數ノ百分ノ五十五ヲ超ユルトキハ之ヲ百分ノ五十五ニ止ム

第七條 登録噸數ノ算定ニ付總噸數ヨリ控除スヘキ帆庫ノ噸數カ總噸數ノ千分ノ二十五ヲ超ユルトキハ之ヲ千分ノ二十五ニ止ム

第八條 石數ヲ以テ積量ヲ表示スヘキ船舶ノ積量ハ十立方尺ヲ以テ一石トシ之ヲ測定シ回漕船ニ在リテハ船梁上下ノ船艙ノ石數其ノ他ノモノニ在リテハ舷端以下ノ船艙ノ石數ヲ積石數トス

第九條 積量測定ノ方法ハ主務大臣之ヲ定ム

附則

第十條 本法ハ大正三年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十一條 明治十七年布告第十號船舶積量測定規則ハ之ヲ廢止ス

第十二條 舊法ニ依リ噸數ヲ以テ積量ノ測定ヲ受ケタル船舶ニ付テハ主務大臣ノ定ムル所ニ依リ其ノ積量ヲ改測ス

第十三條 前條ノ規定ニ依リ改測前ニ於テ船舶法第九條ノ申請ニ因リ積量ヲ改測スル場合ニ於テハ舊法ニ依リ之ヲ測定スルコトヲ得

第十四條 舊法ニ依リ測定シタル船舶ノ積量ハ本法ノ測定方法ニ依リ之ヲ改測スル迄本法ニ依リ測定シタルモノト看做ス

第十五條 本法公布前造船獎勵法ニ依リ認許證書ノ交付ヲ申請シ本法施行前其ノ交付ヲ受ケ製造ニ著手シタル船舶ノ噸數ハ造船獎勵法第二條ノ規定ノ適用ニ付テハ舊法ニ依ル

第十六條 本法施行ノ際現ニ遠洋航路補助法ニ依リ補助航海ニ使用スル船舶ノ噸數ハ同法ノ適用ニ付テハ其ノ補助年限內舊法ニ依ル

第十七條 本法施行ノ際現ニ遠洋漁業獎勵法ニ依リ遠洋ニ於ケル漁獵業又ハ漁獲物ノ處理運搬業ニ使用スル船舶ノ噸數ハ同法ノ適用ニ付テハ獎勵金下付許可期間內舊法ニ依ル

第十八條 第十二條ノ規定ニ依リ改測ヲ爲シタル爲登記又ハ登録ヲ爲ス場合ニ於テハ登録稅ヲ課セス

第十九條 所有權及船舶管理人以外ノ事項ニ付登記アル船舶カ第十二條ノ規定ニ依リ又ハ船舶法第九條ノ申請ニ因リ改測セラレタル爲登記スヘカラサル船舶ト爲リタルトキト雖仍其ノ事項ニ付登記ノ存スル間ハ之ニ關スル登記及所有權ニ關スル登記ヲ爲スヘキモノトス

(遞信大臣元田肇君登壇)

○遞信大臣(元田肇君) 船舶積量測定改正法律案提出ノ理由ヲ陳述致シマス、現行ノ測定法ハ明治十七年ニ制定セラレタモノアリマシテ、當時主トシテ英國ノ法律ヲ參酌致シテ、太政官ノ布告ヲ以テ發布致シマシタガ、當時ニ在リテハ十分ナル法制ト心得テ居リマシタケレドモ、爾來今日マデ既ニ二十年ヲ經過致シテ居ルノアリマス、此間ニ造船技術ノ進歩其他種々ナル點ニ於テ、船舶ノ改良進歩ヲ成シタコトハ一通リナリマシマス、随テ之ニ適用スベキ所ノ法律モ、明治十七年ノ制定ダケデハ差支ガ多クアリマス、外國ノ有様ヲ見マスルノ英國ニ於キマシテハ千九百九十四年アリマシタ、明治二十七年頃ニ當ルト思ヒマスガ、既ニ船舶改良進歩ノ時代ニ應ジマシテ、測定法ノ改正ヲ致シマシタ、爾來此英國ノ法律ヲ模範ト致シマシテ、泰西列國ハ悉ク改正ヲ致シテアリマシタノニ、獨リ我國ノ今日マデ殘テ居リマスノアリマス、ツレガ爲メニ諸般ノ差ハ姑ク措キマシテ、我帝國ノ船舶ニ致シマシテ遠洋航路ニ從事シテ居ルモノガ、入港上或ハ噸數ニ應ジテ課稅ヲ受ケル所ノ金ガ、餘計ニ外國ニ支拂ハナケレバナラヌト云フ不幸モ來シテ居リマシテ、概算今日ノ所デ遠洋航路ニ從事シテ居ルモノダケデモ、約二十萬位ニ爲シタルヤウデアリマス、是等ハ全ク無益ニ流出シテ居ル次第デアリマスカラ、今回審查ノ上ニ改正案ヲ調査審議致シマシテ、且ツ當業者ニ於テモ豫テヨリ希望ノアルコトデアリマスカラ、其意向ヲ取調ベマシタガ、遞信省ガ調ベマシタ所ニ依リマスレバ、總テノ船舶者ニ於キマシテモ皆希望致シテ居ルコトデアリマシテ、其希望ノ聲ニ應ジマシテ今回ノ改正案ヲ提出致シタ次第デアリマス、何卒十分御審議ノ上ニ御協賛アランコトヲ切ニ望ミマス

○議長(大岡育造君) 日程第十 川原茂輔君

第十 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○川原茂輔君 本案ハ議長指名九名ノ特別委員ニ付託セラレンコトヲ希望致シマス

(異議ナシ異議ナシノ聲起ル)

○議長(大岡育造君) 川原君ノ動議ニ御異議ナキモノト認メマス、依テ本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマシタ

加瀬禮逸君

○加瀬禮逸君 私ハ此際希望ガアルノデアリマス、今ヤ決議案ノ討論ニ入ルト云フ場合ニ際シマシタ、本案ハ其内容ハ内務大臣ノ信任ヲ問フベキコトニ係リテ居ルノデアリマス、誠ニ重大ナル案件デアリマスガ故ニ、私ハ此案ニ對シテ贊否ヲ決スルノ必要上、内務大臣ニ對シテ二ノ質問ヲ致シタイト思ウテ居リマス、故ニ討論ニ入ルニ先チマシテ質問ヲ御許シアラント希望致シマス

○議長(大岡育造君) ツレヨリ前ニ石橋爲之助君カラ通告ガアリマス

○議長(大岡育造君) 石橋爲之助君 暫ク御待チ下サイ、日程第十一、決議案ヲ議題ト致シマス

石橋君呼ブマデ御待チ下サイ、先ツ提出者ノ説明ヲ許シマス、小河源一君 濱田國松君デシタ

第十一 決議案(河野廣中君外五名提出)

決議案

警官人ヲ刃傷シ又ハ一舉數多ノ良民ヲ抑留シテ其ノ自由ヲ奪フ是レ人權ヲ蹂躪スルノ甚シキモノニテ警保ノ職責ヲ盡サス帝都ノ秩序ヲ紊リタルノ責斷シテ内務大臣ニ在リ内務大臣ハ須ラク引責處決スヘシ

右決議ス

(濱田國松君登壇)

(拍手起ル)

○濱田國松君 諸君、本員ハ此壇上ニ於キマシテ、本案提出ノ理由ヲ説明致サナケレバ相成リマセヌ、今日ノ政局ヲ深ク悲シム者デアリマス、先帝ノ御崩御ニ相成リマシタヨリ、年ヲ閱スルコト僅ニ三歲デアリマス、我等國民ハ大正ノ新政ヲシテ成ルベク光輝アラシムベク、重ネテ其基礎ノ固カルベク、國家ニ對シテ誠意ヲ拂フコトニ付キマシテハ、敢テ人後ニ落ツル者デハナイノデアリマス、故ニ本案ノ如キ内閣ノ基礎ニ對シテ動搖ヲ與ヘマスル所ノ重大ナル案ヲ議會ニ提出シマスルコトハ、固ヨリ本員等ノ事ヲ好ムニ依テ出ツル所デハナイノデアリマス、輔弼ノ大任ヲ忘レテ國民ヲ土芥視シ、非立憲的ノ行動ヲ敢テシテ憚ラザル所ノ閣臣其人ノ罪デアラウト思フノデアリマス、案ノ内容ハ二ツヨリ成立ツモノデアリマス、第一ハ本月十日議會ニ於キマシテ減稅案並ニ海軍收賄問題ノ沸騰セル當時ニ於キマシテ、其議事ノ經過ヲ憂懼致シマス所ノ國民ガ議會ノ附近ニ集合ヲ致シマシタ、其後解散スルニ及ンデ警視廳ノ官吏ハ之ヲ道ニ要シマシテ、山下町其他ノ場所ニ於キマシテ何等集會ニ關係ナキ所ノ東京日日新聞社員ノ橋本某外數名ノ人ニ對シテ拔劍ノ上背後ヨリ刃傷ヲ加ヘタト云フ所ノ不法行為ガ第一デアリマス、第二ハ同月十二日夜、安樂警視廳總監ハ命ヲ部下ニ傳ヘテ、日本橋區油町附近ニ於テ群衆ノ全部ヲ理不盡ニ容赦ナク逮捕致シマシタ事實デアリマス、其人柄ハ當時四百餘名ニ上ツタノデアリマスガ、其場所ニ於キマシテ、凡ソノ取調ベヲ致シタ結果、半數ニ近キ所ノ二百名ヲ其場ニ於テ解放ヲ致シマシテ、殘ル二百四十名ヲ大部分ハ殆ンド九割マデハ無垢ノ良民デアルト云フ事實ガ判明ヲ致シマシテ、止ムナク此多數ノ人ヲ解放ヲ致シタト云フ二ツノ事實デアリマス、此二箇ノ事實ノ中デ、第二ノ事實ニ屬シマスル所ノ日本橋區內ニ於テ、多數ノ良民ヲ理由ナク逮捕致シタト云フ事實ハ、帝都ノ大道ニ於キマシテ萬人環視ノ中ニ行ハレタル非行デアリマスカラ、如何ニ強辯ヲ弄シマスル所ノ内務當局ト雖モ、之ヲ否認スルコトハ致サナイノデアリマス、唯第一ノ新聞記者其他數名ノ者ヲ拔劍刃傷致シタリトノ事實ニ對シテハ、原内務大臣ハ本院並ニ貴族院ニ於ケル所ノ質問ニ對シテ、根本的其實實ヲ否認セラレマシテ、拔劍ノ事實モ無クハ從テ刃傷ヲ加ヘタ事實モナイト申サレテ居リマス、然ルニ此事實ノ等ノナイコトハ、第一ハ事實ト致シマシテ橋本某外數名ノ者ガ、負傷ノ爲メニ今日現ニ病床ニ臥シテ居ルト云フコトガ第一デアリマス、第二ハ此負傷ガ如何ナル性質ノ負傷デアラルカト申スコトハ、如何ニ内務大臣ガ否認ヲ致シマシテモ、當時並ニ其後ニ於キマシテ本人ガ專門ノ醫師ニ就テ受ケタ診斷書ニ依テ明カデアリマス、便宜ノ爲メニ茲ニ診斷書ノ一部ヲ朗讀ヲ致シタイト思フノデアリマスガ、負傷ノ當日デアリマス所ノ二月十日ニ於テ、報知新聞社醫局ノ千野八郎ト云ヘル醫師ノ診斷書ニ依リマス「橋本某、右ハ大正三年二月十日午後七時頃顛頂部ニ横徑二五センチメートルヲ有スル深サ骨膜ニ達スル銳利ナル刀刃ニ依リ劍

傷ヲ受ケタルモノニシテ——銳利ナル刀刃ニ依リ創傷ヲ受ケタルモノニシテ治療凡ソ三週間ヲ要スルモノト診斷候也——云フコトニナッテ居リマス、更ニ翌十一日加藤病院ノ醫師朝倉隆之介一名ノ診斷書ニ依リマシテモ、亦綿密ナル刀傷ノ調査ヲ致シマシタ結果、診斷ト致シマシテ前記ノ現象ニ依リ刀刃ニ依リ頭部切傷ト認メタト云フコトヲ明ニ診定ヲ致シテ居ルノデアリマス、尙此外ニ現場ニ於キマシテ橋本某外數名ガ警吏ノ爲ニ刃傷ヲ受ケタルコトノ事實ハ、之ヲ現ニ目撃シタルコトノ多クノ信用スベキ證人ガアルノデアリマスカラ、此有テノ事實ヲ如何ニ強辯ヲ以テ内務大臣ガ否認致シマシテモ、之ヲ隱スコトハ出來ナイデアラウト思フデアリマス、若シ此帝都ノ中央ニ於テ行ハレタル顯著ナル拔劍刃傷ノ事實ヲ、強テ内務大臣ガ御否認ニ相成ルト云フコトアルナラバ、拔劍刃傷ノ事實以外ニ於テモ、苟モ一國ノ大臣ト致シテ國民ノ模範ト致シテ、一國ノ風教ノ維持ヲ司ルベキ國務大臣ガ、政治上ノ爭ノ根本トナルベキ重大ナル事實ノ有ルコトヲ無イテ強辯セラレ、ツレ一事ニ依テモ私ハ彈劾ノ理由ガ十分アルト信ズルノデアリマス、此第一ノ拔劍ノ事ニ付キマシテハ、若シ吾々普通人ガ斯ノ如キ不法ナル刃傷行爲ヲ行ヒマシタナラバ、即チ刑法ノ重罪罪人トシテ處分セラレケンレバ相成ラヌト思フデアリマス、然ルニ内務大臣ハ根柢ヨリ此事實ヲ否認ニナッテ居ルノデアリマスカラ、之ヲ法律ノニ處分セラレルト云フ意思ノ無イコトハ明カデアリマス、又セラルベキ順序ト相成ラヌコトモ言フ用井ルマデモナイデアリマス、斯ノ如キ事柄ガ法律ノ制裁ヲ受ケズ、政路上ノ責任ヲ負ハナイト云フコトニ相成リマスナラバ、其結果ハ殆ド舊藩時代ニ於ケルトコロノ斬捨御免以上ノ私ハ暴行デアラウト思フデアリマス（ノウ）ト呼フ者アリ、斯ノ如キ行爲ガ此人權ノ尊重セラレ立憲政治ニ於キマシテ、不問ニ付ザレモノデアリカ、而シテ何人モ政治上責任ヲ負フコトハナイト云フコト止ミ得ルモノデアリマスナラバ、國家ノ法令ト云フモノハ悉ク其光ヲ失フモノデアリマシテ、立憲政體ノ根本ヨリ破壊セラレモノデアラウト思フ、ツレガ第一ノ本案提出者ノ理由ト相成ルモノデアリマス、斯ク論ジマシタナラバ或者ハ申スデアリマセウ、去月十日ノ騷擾ノ際ニ於ケル臨機ノ處分法ト致シマシテハ、斯ノ如キ行違フ生ズルコトモ亦已ムヲ得ナイ——ツノ出來事デアルト云ヘルガ如キ辯ヲ弄スル人モアルカモ存ジマセウガ、本員ハ斷ジテ斯カル說ニ從フコトハ出來ナイデアリマス、何故カナレバ警察官吏ノ拔劍若クハ行政警察の行動ノ標準ト致シマシテハ、諸君モ御承知ニ相成テ居リマス通りニ、明治ノ初年ト政官達ト致シマシテ行政警察規則ナルモノガ明ニ公布サレテ居ルノデアリマス、サウシテ更ニ此趣意ヲ明ニスベク明治十一年ニ内務省ノ法令ニ依リマシテ、警察官ノ執ルベキ標準ガ明ニ示サレテ居ルノデアリマシテ、之ヲ一々茲ニ引用致シマスルコトハ大ニ煩雜デアリマスカラ之ヲ省クノデアリマスガ、要スルニ明治八年ト明治十一年ノ警察内規其他ノ法令ヨリ鑑ミマシタナラバ、斯カル場合ニ於キマシテ、斯カル非行ヲ許スコトノ出來ナイト云フコトハ明カニナッテ居ル、次第デアリマス、尙私ハ此場合一言致シタイト存ジマスルハ、元來警視廳ト云ヘルモノハ、我國警察制度ニ對シマシテハ全ク中心ノモノ、模範的ノモノデアラウト思フデアリマス、模範的デナケレバナラヌト思フ、第二ニ此被害者ノ重ナル者デアリマストコロノ橋本某ハ、前ニ申シマシタ通り新聞記者デアリマス、凡ソ新聞記者ノ職分ト致シマシテ、社會の紛糾ノ事情ノ生シタル場合ニ於キマシテハ、一管ノ筆ヲ利劍ニ代ヘテ此場所ニ出入ヲ致シマシテ、社會ノ爲ニ耳目ノ責任ヲ盡スト云フコトハ、寧ロ新聞記者ノ天職ナリト私ハ思ヒマス、其性質ハ恰モ戰爭ノ場合ニ於キマシテ、赤十字社ニ屬スルコトノ人々ガ、全ク戰爭法規ノ外ニ立チマシテ一種ノ治外法權ヲ存シマシテ、サウシテ安全ニ其職務ヲ遂行シ得ベキ爲ニ、同一ノ便宜ヲ與ヘナケレバナラヌモノデアルト私ハ考ヘルノデアル、又第二ニハ其國ヲ見ント欲セバ其都ヲ見ヨト云ヘル古言ノ如クニ、我國ノ中心デアリマスとコロノ東京ニ於ケルトコロノ大小ノ政治ト云フモノハ、何等ノ政治タルヲ問ハズ、是ガ内國ノミナラズ一般外國ニモ認メラレマシテ、是ガ我國政治ノ標準ト致シテ大ナル注目ヲ拂ハレテ居ルモノデアルト私ハ考ヘルノデアリマス、斯ノ如キ事柄ヲ想像致シマスルナラバ、此事柄ハ第一ニハ日本ノ模範的タルベキとコロノ警視廳ガ格段ナルとコロノ警察官吏等ノ保護ヲ得ベキ新聞記者ニ對シテ、サウシテ一國ノ中心タルとコロノ帝都ノ大道ニ於テ、何等ノ非行ナキ何等ノ過失ナキニモ拘ラズ、警察官吏ノ爲ニ拔劍ヲ以テ背後ヨリ斬付ラレタト云フ意外ナルコトニ屬シマスルノデ、斯ノ如キ事ハ管ニ人權ノ侵害ヲ致シマシタノミナラズ、外國ニ對シマシテモ我憲政上ノ汚辱ト云フコトヲ暴露致シマシタモノデ、私ハ是ハ一種ノ國辱ト云フ宜カラウト思フデアリマス、尙此第二ノ不法逮捕ノ點デゴザイマスガ、此點ニ付キマシテモ細カキ法令ヲ調ベマスナラバ、諸君モ御承知ノ通り行政警察規則第四章ニ斯ウ云フコトガ載ッテ居リマス、往來ノ者ヲ取扱フニハ從順ヲ旨トシ辨別ナキ者ハ殊更穩カニ取扱ヒ、決シテ凌辱ヲ加ヘ手荒キ處置ヲ爲スベカラズト云フコトガ載ッテ居ルノデアリマス、又大ナル法令ノ點ヨリ考ヘマスルナラバ、御承知ノ如クニ憲法第二十二條ニ於テ、吾々臣民ガ法律ノ規定ニ依ラズシテ逮捕監禁ヲ受クルコトナキ章條ハ、炳シテ掲ケラレテ居ルノデアリマスカラ、何レノ點カラ見マシテモ此天下ノ公道ニ於キマシテ、其通行スルトコロノ國民ヲ法律上何等ノ權利ナクシテ逮捕スルコトノ非立憲的デアッテ不當ノ非行デアリマスとコトハ、今更喋々待ツベキ必要ガナイト信ズルノデアリマス、斯ノ如ク案ノ内容ヲ形ヅクリマスルトコロノ第一ノ拔劍刃傷事件、第一ノ良民逮捕事件、此二樣ノ事柄ハ何レノ點カラ立論ヲ致シマシテモ、吾々人民ノ自由ヲ剝奪シ、其結果ハ非立憲的ト云フコトニ終リマスルノデアリマシテ、斯ノ如キ行動ハ一面カラ見レバ或ハ數人ノ人ガ傷ケラレタ、或ハ數百人ノ人ガ一時拘禁ヲ受ケタト云フコト、シテ、一小事ナリト論セラル、諸君ガアルカモ知レマセウケレドモ、憲法ノ大趣意ヨリ見マシタナラバ、立憲主義ノ大體ヨリ論下ヲ致シマスレバ、斯樣ナルコトヲ責任ヲ負ハナイモノデアリマシタナラバ、今日ノ立憲政治ノ國務大臣ト云フモノハ、殆ド憲法上ノ責任ト云フモノヲ毫モ盡サナイコトニ立至ルノデアリマシテ、甚ダ痛歎スベキコトデアラウト思フデアリマス、故ニ本員等ハ此二樣ノ趣旨ニ依リマシテ、内務大臣ガ責任ヲ負ハレ、快然引責セラル、コトヲ求ムル趣旨ニ於キマシテ、本案ヲ提出シタ次第デアリマス、尙詳細ノ理由ハ贊成演說ヲサルベキ諸君モゴザイマスカラ、此諸君カラ御述ベニナルコトト存ジマス（拍手起ル）

○議長（大岡育造君） 石橋爲之助君

○石橋爲之助君登壇

○石橋爲之助君 本案ニ關シテ内務大臣ニ質問致シタイコトガアリマス、第一ハ去月十日ノ夜警察官ガ拔劍シテ新聞記者ヲ斬ツタト云フ事實、是ハ唯今本案提出者ヨリノ説明ニ依テ事實ハ明カデアリマス、其事實ニ對シテ貴族院ニ於テハ既ニ其ノ現場ヲ目撃セラレタ所ノ柳澤伯ヨリシテ、明確ナル證言ガアリマシタニ拘ラズ、内務大臣ハ是ヲモ否認致シマシテ、巡查ガ拔劍シタ事實ハナイ、是ハ鞘ヲ以テ打タナラウト云フ曲解デアリマス、其事實ヲ誤シテ居ルコトハ申サマデモナイコトデアリマスガ、假リニ鞘ヲ以テ毆打シタ者ガ斯ノ如キ傷ヲ負ハシタト致シマシテモ、鞘ヲ以テ毆打シタ結果ガ拔身ヲ以テ斬ツタ傷以上ノモノヲ負ハシ得ルトスルナラバ、此鞘ヲ以テ打ツト云フコトハ拔劍ヲ以テ斬付ケタヨリモヨリ危險ナルトコロノ人物デアリマス、左スレバ是等ノ者ニ對シテ

相當ナル處分ヲ爲シ、其危險ヲ將來ニ於テ防遏スルコトノ手段ヲ講ズベキガ至當ナルニ未ダ何等サウ云フヤウナコトヲモテ居ラヌノハドウ云フ譯アルカ、是ガ第一ノ質問アリマス、ツレカラ第二ハ去十五日ノ午後、其前夜過ク本會ガ散會ニナリマシテ、其散會後內務大臣ハ歸邸ノ途中ニ於テ暴漢ノ爲ニ襲ハレタト云フ風説ガ立チマシタカ、其實否ヲ質サンガ爲ニ東京朝日新聞記者ガ內務大臣ノ私邸ヲ訪問致シマシテ、執事ニ就テ其事情ヲ聞イタノデアリマス、其時ニ傍ニ壯士體ノ者ガ立ッテ居テ、始終威嚇ノ言ヲ弄シテ居テ、併ナガラ其任務ヲ終ヘテ同人が其家ヲ去ルニ當リテ、後ヨリ追跡致シマシテ其門外一二町ノ所ニ於テ、十二三名ノ暴漢ヲ驅使シテ、サウシテ此ノ記者ニ對シテ暴行ヲ加ヘシメタ事實デアリマス、此事實ニ對シテ本員ハ去十六日成規ノ手續ヲ經テ質問書ヲ提出致シテ置キマシタ、其實問ノ趣旨ヲ説明致シマス前二一昨日此處ニ於テ內務大臣ハ答辯ヲ朗讀セシメラレタノデアリマス、其答辯ハ單ニ質問ノ如キ事實ヲシト云フガケデアリマス、斯様ナ事實ハ蔽フベカラザルトコロノモノデアッデ、現ニ其被害者ガ病院ニ呻吟シテ居ルノデアアルニ拘ラズ、ツレニ事實ガ無シトハ抑モ何タルコトデアアルカ、即チ其事實ヲシト言ハレルノ理由ヲ承リタイノデアアル(笑聲起ル)

○議長(大岡育造君) 靜肅ニ
○石橋爲之助君 サウシテ斯様ナ壯士ヲシテ自宅ノ護衛ヲセシムルト云フ如キハ、自カラ統轄シテ居ルトコロノ警察力ニ信賴スルコトガ出來ナクシテ、左様ナ無賴ノ徒ニ依戀スルト云フガ如キハ、果シテ內務大臣シテ責任ヲ解スルモノデアアルヤ否ヤ、ツレカラ斯ウ云フ事實ガ現ニアッテ被害者ガ病院ニ横ッテ居ルト云フコトデアアルニ拘ラズ、今日マデ其ガ加害者ヲ檢舉シタト云フコトガナイ、之ヲ放棄シテアルト云フコトハ怠慢モ甚シイコトデアアルカ、何故ニ之ニ對シテ檢舉ヲ行ハナイノデアアルカ、此三箇條ニ付テ答辯アラントヲ希望スルノデアリマス

(內務大臣原敬君登壇)
○內務大臣(原敬君) 石橋君ノ唯今ノ御質問ニ御答致シマス、巡查ガ拔劍致シタコトニ付テ、柳澤伯ガ之ヲ見タト證言ヲ致シタト云フニ拘ラズ云々ト云フコトデアリマス、是ハ事實問題デアリマス、左様ナルコトハ貴族院ニ於テ問答ガゴザイマセヌ、貴族院ノ豫算會議ニ於テ柳澤伯ハ、自分ハ當時此附近ニ行キカケタ所ガ、今巡查ガ拔劍シテ居ルカラ危ナイカラ御出ナサルナト言ッタカラ自分ハ行カナカッタト云フコトデアアル、此事ハ豫算總會ノ速記録ニモ明示シテアル、又今日貴族院ノ議場ニ於テ、柳澤伯ガ速記録ニ記載ノ通りノ辯明ヲ致サレマシタ、是ハ事實ガ相違致シテ居リマスカラ問題ニナラヌノデアリマス、ツレカラ朝日新聞記者ガ私ノ宅ノ附近ニ於テ毆打セラレタト云フコトニ付テノコト、是ハ既ニ書面ヲ以テ答辯致シタノデアリマスガ、其答辯ニ御満足ニナラズシテノ御尋デアリマス、事實ガ無イト答辯致シタノハ、拙宅ニ居ルトコロノ者ガ出テ行ッテ、追跡シテ之ヲ打ツタト云フコトハ無イト云フコトヲ申上ゲタ、打タレタ人ハアルノデアリマス、病院ニ居ルノデアリマス、故ニ問題ニナッテ居ルノデアリマセウガ、ツレハ私ノ所ニ居ッテ者ガ左様ナルコトヲ致シタト云フ事實ガナイト云フノデアリマス、從テ私ハ警察力ヲ信用シナイデ或人ヲ雇ウテ置イタナドト云フコトモ亦無イ、是ハ答辯ヲ誤解セラレタノカ何カ知リマセヌガ、事實ガ甚シキ相違デアリマス、檢舉ヲシナイデ置ク云々ト云フ話ハ、無論是ハ內務省ノ所管デアリマセヌガ、併ナガラ司法官ニ於テ是ハ調ベツ、アルノデアリマス、ツレハ先般武藏金吉君モ其宅ノ附近ニ於テ毆打セラレマシタ、朝日新聞記者モ芝公園ニ於テ毆打セラレマシタ、ツレ等ハ當該官廳ニ於テ相當ナ調査ヲセシメツ、アルト云フコトニ承リマス、ツレテ御質問ニ對スル答辯ハ終ッタト記憶致シマスガ、何カアリマスナラバ又御

問ニ御答致シマス(拍手起ル)
○議長(大岡育造君) 加瀬禮逸君
(加瀬禮逸君登壇)

○加瀬禮逸君 私人內務大臣ニ質問ヲシャウト思ヒマシタ事項ハ、先刻本案ニ關シテ提出ノ理由ヲ説明セラレマシタル濱田君ノ御演説ノ中ニ引用セラレマシタル事項ニ係ッテ居リマス、併ナガラ唯私ハ此事實アリト推斷ニ馳セタト云フコトノ非難ヲ避ケンガタメニ、內務大臣ニ御確メヲシタイト云フ趣意デ此處ニ立チマシタ次第デアリマス、今般ノ出來事ニ付キマシテ、巡查ガ拔劍ヲシテ通行人ヲ傷害シタカ否ヤト云フコトニ付キマシテハ、先刻來濱田君ガ詳細ニ述べラレタアルノデアリマス、而シテ此事ニ對スル當局者ノ辯明ハ拔劍シタルコトナシト云フノデアリマスカラ、私ハ更ニ拔劍シタルベシト云フ押問答ヲ致シタコトデア、同ジコトデアリマスカラ其點ノ間ハ茲ニ之ヲ止メマシテ、然ラバ時ノ巡查ハ二月十日ノ日ニ於テ通行人ヲ傷ケタル事無シヤ、之ヲ問ヒタイノデアリマス、拔劍タルト雖ト論ジマセヌ、免モ角モ傷ケタルコトアリヤ其事ノ御問ヲシタイノデアリマス、此間ヲ發シマス理由ハ、一面ニ於キマシテ先刻來濱田君ニ依テ此壇上ニ紹介セラレマシタルガ如ク、診斷書等ニ依レバ切傷タルコトハ明カニ斷定サレタ居ルノデアリマス、尙被害者ニ就キ其他當時ノ事情ヲ見聞シタル幾多ノ人ニ質シマスレバ、免モ角モ巡查ニ斬ラレタリト言明スル人モアルノデアリマス、然ルニ他面ニ於テ民衆中ニ刀ヲ揮フテ民衆ヲ斬付ケタル者アリヤ否ヤノ點ニ思ヒ至リマスルコトニ付テ、此點ニ於テハ全ク無イノデアリマス、監視廳ニ就テ試ミニツレヲ質シマシタ、巡查ガ斬付ケタルヤ當時ノ民衆斬付ケタルヤ不明デアリマスガ故ニ、而シテ傷ケラレタル人ガ刀傷デアルト云フコトノ確實シタル事實アリマスガ故ニ、試ミニ民衆中刀ヲ揮フテ他ノ民衆ヲ斬付ケタルモノアリヤ監視廳ノ辯明ヲ求メタコトデア、無シト云フコトデアリマス、此民衆中刀ヲ持ッテ而シテ他ノ民衆ヲ斬付ケタル者無シトハ、監視廳等ハザル所ナリトスレバ、而シテ他面ニ於テ傷ケタル者ガ是レ刀傷ナリトスルナラバ、傷ツケタル人ハ更ニ巡查タルベシト云フ推定ハ下シ得ルト思ヒマスガ故ニ、私ハ刀ヲ拔イタルヤ否ヤハ姑ク之ヲ別トシテ、免モ角モ巡查通行人ヲ傷害シタルヤ否ヤニ付テ問フ發シタイノデアリマス、是ガ第一問デアリマス、第二問ハ是ニ關聯ヲ致シテ居リマスガ、內務大臣ガ貴族院ニ於テ辯明スルコトコロヲ聽キマスレバ、刀ヲ拔イタルコトハ否定サレテ居リマス、併ナガラ鞘ノ儘ニ之ヲ打ツタリト言フカ、打ツタカモ知レヌト云フコトノ御辯明ハ致シテ居ルノデアリマス、而シテ巡查ガ拔劍規則、巡查ニ對シテ拔劍ヲ制止スル規定ヲ設ケマシタル趣意ニ御一考ヲ願ヒタイノデアリマス、巡查ガ拔劍規則ニ於テ巡查ガ拔劍ヲ爲シ得ベキ場合ヲ特ニ限定シテ、濫リニ劍ヲ拔ク可ラズト規定シマシタル趣意何處ニアルノデアリマセウ、之ヲ拔ケバ還ニ民衆ニ對シテ危害ヲ加ヘ、或ハ殺傷等ノ害ヲ被ラシムルト云フノ危險ヲ戒メンガ爲デアリマス、而シテ內務大臣ガ言フガ如ク鞘ノ儘ニ之ヲ打揮ウタ威嚇シタト云フヤウナコトガアリマシテ、其威嚇ハ還ニ威嚇ダケニ止マラズ、人ノ頭部ニ觸レマシタラ如何デアリマセウ、刀ヲ拔ク事ハ人ニ危害ヲ與ヘルノ危險ガアル、故ニ之ヲ不可ナリトスルナラバ、鞘ノ儘ニ於テ民衆ニ向ヒ還ニ之ヲ傷ケタル場合ニ於テハ、等シク不可ナリトデアリマセヌカ、拔劍ナル二字ニ拘泥ヲ致シマシテ、劍ヲ拔カザレバ可ナリト云フガ如キ字句ノ末ニ走ッテ、法制ノ趣旨ヲ沒却スルニ忍ビマセヌガ故ニ、鞘ノ儘ニ打ツナラバ敢テ國法ヲ許サル所ニ非ズト內務大臣ハ思惟セラルルヤ否ヤ、是ガ第二問デアリマス、ツレカラ第二問ニ付キマシテハ專ラ十二日ノ出來事ニ係ッテ居ルノデアリマス、此二月十二日ニ於キマシテ淺草橋附近、竝ニ日本橋ノ通町附近ニ於キマシテ、市民ノ逮捕セラレタ其數二百四十有餘人ニ互ル

日本橋ノ通町附近ニ於キマシテ、市民ノ逮捕セラレタ其數二百四十有餘人ニ互ル

ト云フコトハ、警視廳ノ言明スル所デアリマス、而シテ聴クガ如クンバ此二百四十有餘人中ノ多クノ部分ハ、偶々其邊ヲ通行シタルニ過ギザリシ人、若クハ騷擾或ハ喧嘩ニ加ハラズシテ、唯其邊ヲ見物シテ居タルニ過ギヌト云フ者ノ多カッタト云フコトヲ、後ニ警視廳ガ此事實ヲ檢事局ニ送致スルニ當リマシテ、僅ニ二十有五人ヲ送テ、其他ヲ悉ク放還シタル事實ニ對照シマスレバ、一點ノ疑ナキ事實デアラウト思フデアリマス、恰モ彼ノ「トロール」漁業ノ方法ヲ以テ、海底ノ魚族ヲ一掃シ去ル漁法ノ如ク、人民ノ路上ニアルモノヲ一網打盡ニ此網ノ中ニ掬上ケテ、之ヲ拉スルト云フコトハ果シテ警察官ノ爲シ得ベキ適法ナル所爲ナリト御認メニナルデアリマセウカ、憲法二十三條ハ先刻濱田君ニ依テ引用セラレマシタガ、法律ニ依ラズシテ逮捕監禁審問處罰ヲ受クル事ナシト宣明セラレテ居ル、即チ故ナク逮捕セララル、事ナシト云フコトノ保障ヲ、明カニ與ヘテ居ルデアリマセウカ、然ルニ通行人中ニ於キマシテ敢テ此暴動ニ參加シタルニ非ズ否喧嘩ニ加ハタルニ非ズ、偶々其處ヲ通行シタルニ過ギザルモノ、若クハ其邊ノ光景ヲ見物シテ居タルニ過ギザル者マデモ、此網ノ中ニ入レテ拉スルト云フコトハ、果シテ警察官ノ行動ニ合法且失當ナシト信ゼラル、ヤ否ヤ、是ガ第二問デアリマス

○内務大臣(原敬君) 議長
○議長(大岡育造君) 原内務大臣

(内務大臣原敬君登壇)

○内務大臣(原敬君) 加瀬君ニ御答致シマスル前ニチヨット伺ヒタイ事ガアル、何レノ場所ニ於テ鞆ノ儘ナラバ打ッテ宜シト云フコトヲ、私ガ申シタト云フコトヲ言ハル、ノデアリマスカ、之ヲ伺ヒタイ

○加瀬禮逸君 斯ウ云フコトデス、アナタガ貴族院ニ於テ、鞆ヲ以テ威嚇シタカラ當ッタカモ知レヌ、其意味合ニ御答ニナッタデアリマス

○内務大臣(原敬君) 何時申シマシタ、速記録ニテモアリマシタカ

○加瀬禮逸君 新聞デ私が見マシタ

○内務大臣(原敬君) 新聞デハ(笑聲起ル)責任ハ負ハレヌ

○加瀬禮逸君 新聞ニモアリマス、更ニ警視廳ハ鞆ノ儘威嚇シタカラ當ッタカモ知レヌト言ッテ居リマス

○内務大臣(原敬君) ヲレハ御質問ガ變ッテ居リマス、警視廳ノ事ナラ能ク調ベテ見マス、警視廳ノ役人ガ如何ニ申シタカ承ハッテ居ラナイ、新聞ニ付テハ責任ハ持タヌ

○加瀬禮逸君 新聞デハアナタガ貴族院ニ於テ、鞆ノ儘威嚇シタト云フコトヲ……

○内務大臣(原敬君) 衆議院ニ於テ何時此事ヲ御話シタカ、何時デアリマスカ

○加瀬禮逸君 衆議院トハ申シマセヌ貴族院ト申シマシタ

○内務大臣(原敬君) 貴族院ノ何處デ……

○加瀬禮逸君 委員會カ何カデ……

○内務大臣(原敬君) 何カデハ分リマセヌ速記録ニテモアリマスカ

○加瀬禮逸君 速記録ハマダ見マセヌケレドモ……

○内務大臣(原敬君) ヲレハ加瀬君ニ御答致シマスルガ、諸君御聴キノ通り、加瀬君ハ是ハ風説ニ依テ御質問デアリマスルカラ、私ハ之ニ答辯スル責任ハ有チマセヌ(勿論「ト呼フ者アリ」ヲレカラ通達町デ多クノ人ヲ捕ヘテ、往來ノ人ヲ逮捕シタガ相成ヲスト云フ、無論往來ノ人ヲ逮捕致シマシテハ相濟マヌコトデアリマス、併ナガラ斯ウ云フコトハ風説ヲ其他ノ感情ナドハ問題ハ極マラヌ、此油町ニ於テ多クノ人ヲ調ベマシタル事柄ハ何デアルカ、時刻ガドウ云フ時デアルカ、時刻ハ夜ノ十一時五十分——十二

時デアリマス、夜ノ十二時ハ深夜ナリト申スコトハ何人モ否定スルコトハ出來ナイ、深夜ニシテ而シテ是等ノ群衆ガ各地ニ何百人ト云フ者ガ押寄セテ、或ハ石ヲ投ゲ、或ハ其附近ノ家屋ニ害ヲ加ヘツ、各地ニ參ッテデアリマス、而シテ此油町ノ交番ヲ襲フガタメニ是ガ參ッテデアリマス、無論此交番所ヲ防禦致シテ居タルデアリマスルガ、之ヲ取卷イテ大層ナル人ガ夜ノ十二時ニ此處ニ又集ッテ參ッテデアリマス、故ニ警察官ハ治安ヲ保ツガタメニ是等ノ人ヲ悉ク調べ、全ク通り掛リノ者ハ無論放免致シ、稍疑ハシク調ベナケレバナラヌ者ハ調べテ、關係ノナイ者ハ皆放免致シテ、騷擾罪ニテモ問ハルベキ嫌疑ノ者二十幾人ヲ檢事局ニ送ツタ、是ハ安寧ヲ保ツ上ニ於テ當然ノコトデアルト私ハ信ズル(「ヒヤ」ト呼ビ拍手起ル)若シ斯様ナル場合ニ於テ、群衆ノ爲スガ儘ニ交番所モ襲ハセテ之ヲ傍觀致シテ置キマシタナラバ、數多ノ良民ガ如何ニシテ其堪ニ安シブルコトガ出來マスカ(拍手起ル)之ヲ致シテ警察上始メテ其職責ヲ盡シタリト信ズルデアリマス、圖ラザリキ是ガ問題ニナルトハ實ニ意外ノ感ニ打タレルデアリマス(「ヒヤ」ト呼ビ拍手起ル)

○加瀬禮逸君 チヨット尙ホ伺ヒタイ、關係ナキ者ヲ逮捕シタノハ、故ナクシテ逮捕シタノデアリマセウカ

○内務大臣(原敬君) 逮捕デアリマセヌ

○議長(大岡育造君) 小河源一君——小河君チヨット順序ヲ誤リマシタ(能ク誤ルナ「ト呼フ者アリ」翠川鐵三君)

○粕谷義三君 粕谷義三ガ通告ニナッテ居リマス

○議長(大岡育造君) 通告ハ其順ニ改メテ參ッテ居リマスガ、粕谷君ニ改マツンデアリマスカ、改マツナラバ更ニ粕谷義三君ヲ呼ビマス

(粕谷義三君登壇)

(拍手起ル)

○粕谷義三君 諸君、私ハ唯今問題トナッテ居リマスルコロノ此決議案ニ對シマシテ、絶對反對ヲ表スル者デゴザイマス、此決議案ガ如何ナル理由ニ依テ提出セラレマシタカト云フコトニ付キマシテハ、唯今濱田君ヨリ續々提出ノ御説明ヲ拜聴致シタルデアリマス、併ナガラ甚ダ遺憾デハゴザイマスルガ、私ハ此御説明ノ中ニ於テ殆ド彈劾ノ理由何レニ在ルカラ發見スルニ苦シムデアリマス(「ヒヤ」ト呼ビ拍手起ル)殊ニ又此決議案ガ三派聯合ニ依テ御提出ニナッテ居リマスニモ拘ラヌ、提出者諸君ノ中ニハ此案ニ付テ甚ダ疑問ヲ拂ンデ居ラル、方ガアルデアリマス、現ニ加瀬君ノ如キハドウデアルカ、提出者デハゴザイマセヌケレドモ、即チ二派ノ中ノ有力ナル御方デ、而シテ贊成者トシテ茲ニ立派ニ署名ヲ致サレテアルノデゴザイマス、自ラ此案ヲ提出シテ置キナガラ、而シテ先ヅ内務大臣ニ向ッテ其事實ヲ聞カケレバ贊成ヲ決スルコトガ出來ナイヤウナコトハ(拍手起ル)此一事實ヲ以テ見マシテモ如何ニ此提案ガ薄弱ナル證據、薄弱ナル事實ノ上ニ組立テラレテアルコト云フコトガ明カニ分ルデアリマス(拍手起ル)斯様ナル理由ノ無イトコロノ彈劾案ニ向ッテハ、私共ハ遺憾ナガラ絶對ニ反對ヲ表サナケレバナラヌデアリマス、先ヅ本案御提出ノ御趣意ヲ承ッテ見マスルコト云フ、濱田君ノ御説明ニモゴザイマシタシ、又此決議案ノ案文ニモ書イテゴザイマスルガ、第一ノ點ハ即チ去三月十日(二月十日)「ト呼フ者アリ」二月十日デス、二月十日ノ騷擾ノ際ニ於テ、警察官ガ人ヲ刃傷シタ、是レハ人權ヲ蹂躪スルノ甚ダシキモノデアルト云フコトガ是ガ即チ第一點デアリマス、第二點ニ付キマシテハヤハリ是ハ確カニ二月十二日デアッタラウト思フデアル、或ル交番ノ焼打ノ際ニ於テ、是モ警官ガ一舉ニ數多ノ良民ヲ抑留シテ、其自由ヲ奪ツタ、是亦人權ヲ蹂躪スルノ甚ダ

シキモノデアル、此二箇ノ事實ノ上ニ此決議案ノ論據ト云フモノガ置カレタルノデア
リマス、此二箇ノ事實ニ依テ當該即チ其當局者ガ職責ヲ怠ラセタルノ結果トシ
テ内務大臣其實ニ任シナケレバナラヌト云フノガ、即チ本案ノ趣意デアルノデアリマス、惜
イカナ此二箇ノ事實ト云フモノガ一ハ甚ダ不確力ナル事實デアル、而シテ又一ツノ方ハド
ウデアルカト云ヘバ、立派ニ法律ガ認メテ居ルコトノ行動デアル、一ツハ不確力ナル事
實、一ツハ法律ガ認メテ居ルコトノ事柄ニ對シマシテ、茲ニ内務大臣ノ責任ヲ問ハントセ
ラル、コトハ、餘リニ諸君ノナサレ方ト云フモノハ輕率ニ失テ居ルコトノ嫌ガアルノデア
ル(ヒヤ)「ノウ」ト呼フ者アリ「斯ノ如キ薄弱ナル何事理由ノナイトコロノ彈
劾案ヲ出サレマシタト云フコトハ、或ハ或ル黨派ノ御方々ノ何等カ爲ニスルコトコロノ
(ノウ)「ト呼ビ拍手起リ聴取スル能ハス」……シタノデハナイカト思フノデア
リマス、先ツ此問題ハ事實ヲ攻究致スコトガ頗ル必要デアル、即チ此二點トモ事實ノ上
ニ組立テラレテ居ルノデアリマスカラシテ、事實ガ果シテドウデアツカト云フコトヲ研究
致シテ見ルコトガ最も大切デアラウト思ヒマス、先ツ第一ノ點ニ付テ少シク攻究ヲ試ミテ
見マスレバ、先刻來濱田君ノ御説明ニナリマシタ如ク、二月十日ニ於キマシテ帝都ノ下
ニ於テ甚ダ悲シムベキトコロノ騷擾ガアツタノデアリ、此場合ニ於テ警官ガ劔ヲ抜イテ民
民ヲ傷害シタ、斯ウ云フコトガ當時ノ新聞ニモ盛ニ傳ヘラレテアツテ、吾々モ之ヲ讀ンダ
ノデアリマス、併ナガラ此記事ガ——此新聞ノ報道ガ果シテ一點ノ疑ヲ容レルコトコロガ
ナイカドウカト云フコトハ、頗ル疑問デアラウト思フ、近來新聞ノ筆調ハ往々——動
モスレバ舞文曲筆、又針小棒大ニ此事實ヲ報道スルコトコロノ傾向アルノデアリ(拍手起
ル)此事ハ私ノ一家言デハナイノデアリ、諸君ガ親シク日々ノ議會ニ於ケルコトコロノ出來
事ヲ虚心坦懷新聞ニ就イテ御覽ニナリマシタレバ、如何ニ近來ノ新聞記事ト云フモノガ事
柄ヲ誇大ニ報道シタ、アルカト云フコトヲ、一日瞭然知ラル、デアラウ(拍手起ル)新聞
ノ近來ノ筆調即チ筆ノ調子ト云フモノガ斯様ニ此頃ハ變テ來テ居ルノデアリマス、ソレ
故ニ斯ノ如キトコロノ新聞ノ報道ノミヲ以テ、斯ノ如キ事實ガアツタ、警官ガ劔ヲ抜イテ民
民ヲ斬ツタト云フコトノ事實ヲ斷定スルコトハ出來ナイト思フノデアリマス、是ガ事實ニ
付テハ御承知ノ如ク監視廳側ニ於テハ、絕對ニ否認シテ居ル、當時監視廳ニ於テハ其部
下ノ巡查ニ對シテ嚴命ヲ下シテ、容易ニ劔ヲ拔クベカラザルコトノ命令ヲ下シテ居ル、又
私ノ承ルトロニ依リマシタレバ、其當時ノ警察官ハ悉ク皆麻繩ヲ以テ其劔ノ鏢ノコトヲ
縛シテシマツテ、容易ニ拔クコトノ出來ナイヤウニシテアツタト云フコトモ承テ居ルノデアリ、
是ガ故ニ警官ガ此騷擾ノ場合ニ於テ、劔ヲ抜イタト云フヤウナ事實ハ、吾々ハ大ニ首
肯スルコトガ出來ナイノデアリ(「ノウ」ト呼フ者アリ)若シ假リニ劔ヲ拔イタノガ事實
ナリトシマシタナラバ、此騷擾ノ際ニ於テ其負傷ガ僅カニ一八二八ト云フ少數ニ止マ
ルベキ筈ハナイノデアリ(拍手起ル)又此拔劔ト云フヤウナ場合ニ於キマシタレバ、決シテ
此一人ノ巡查ガ拔クコトカ何ト云フヤウナコトデ済ムベキモノデハナイ、斯様ナ危急ナ場
合ニ於キマシタレバ、必ズ隊ヲナシテ居ルコトノ警官ガ悉ク拔劔スベキ筈デアル、若シ果シ
テサウデアリマシタナラバ、是ガタメニ生ズルコトコロノ負傷者ト云フモノモ、決シテ一人ヤ二
人ニ止ル筈ハナイト思フノデアリマス(「一八二八人デナイ」ト呼フ者アリ)何レニシマシテモ
デス、此事實ト云フモノハ甚ダ疑ハシイノデアリ(「ノウ」ト呼フ者アリ)「明白デアル」ト呼フ者アリ
或ハ先刻モ御話ノアリマシタ如ク、或ル御醫者ガ此負傷者ヲ診テ、是ハ確ニ刀ヲ斬ツタ
モノデアルト云フ診斷ヲサレタト云フコトデアルガ、其御醫者様ハ果シテドレダケノ信用ヲ
拂ツテ宜イ人デアルカドウカ、私ハ斷言スルコトハ出來ヌ、併ナガラ是ト同時ニ又反對ナ
ルトコロノ診斷モアルノデアリ、又或信ズベキトコロノ有力ナル方面ニ於テモ、ソレハ決シ

テ刃傷アラズシテ裂傷デアルト云フコトコロノ診斷ヲ致シテ居ル者モアル、斯様ナ事實ガゴザ
イマシテ、免ニ角警官ガ劔ヲ抜イテ人ヲ斬ツタト云フコトコロノ事實ハ、決シテ此ニ容易ニ
斷定スルコトハ出來ナイ(「ノウ」ト呼フ者アリ)而シテ此事件ニ付キマシテ即チ彼ノ
東京朝日新聞——東京日日新聞記者ノ事件ニ付キマシテ、今檢察局ニ於テ調査中
デアラサウデゴザイマス、此調査ノ結果ヲ待チマシタナラバ、必ズヤ事件ハ明瞭スルデア
ウト思ヒマスガ、免ニ角此調査ノ結果ヲ待チマシタナラバ、必ズヤ事件ハ明瞭スルデア
ラナク、打ツタノデアリト云フ、是ハ事實ヲ捉ヘルコトガ出來ナイノデアリ(「良心ニ問ヘ」
レニ問ヘ)其他發言スル者アリ

○議長(大岡育造君) 靜肅ニ
○粕谷義三君 免ニ角斯ノ如クニ諸君ガ此彈劾案ノ唯一ノ論據トシテ擧ゲラレマシタ
トコロノ事實ガ、誠ニ曖昧ナル洵ニ不確力ナ事實デアルト云フコトハ、以上申述ベタコト
デ御了解ニナツタデアラウト思フ(「ノウ」ト呼フ者アリ)「分ツタ」ト呼フ者アリ「斯様ニ誠ニ不確
力ナ事實ヲ論據トセラレマシテ、内務大臣、責任ヲ問ハントセラルルコトハ、是ハ餘リニ諸
君ノ遣方ガ大膽ニ過ギハセヌカト思フノデアリマス(拍手起ル)ソレカラ假リニデス、此拔
劔ノ事實ハ何ント致シマシタトコロデ、當日ノ出來事トシテ數方ノ群衆ノ中ニ八名バカ
リノ負傷者ヲ出シタト云フコトハ、是ハ事實デアル、是ハ私共モ確カナ事實デアルト認メ
テ居リマス、其負傷者果シテ何人ノタメニ負傷セシメラレタカト云フコトハ、甚ダ是ハ明カデ
ハナイノデアリマス、縱シ諸君ノ主張セラル、如ク、此負傷者ハ警察官ノタメデアルト斷定
致シテ見マシタトコロデ、此事實ガ果シテ不信任ノ理由トナルベキヤ否ヤ(拍手スル者アリ)
リ諸君ハ此群衆ヲ以テ所謂抵抗ヲシナイトコロノ良民デアツテ(「其通り」ト呼フ者アリ)
ソレハ警官ガ負傷セシメタト云フコトハ、甚ダ宜シクナイト云フコトヲ頗リニ論ジテ居ラル、
ノデアリマスガ、其群衆ガ果シテ御覽ニナルガ如クニ悉ク皆良民デアツタカ否ヤ、果シテ抵
抗セザルトコロノ良民デアツタカ否ヤ、諸君ハ此場合ニ於テ冷靜ナル判斷ヲ下サレシコト
ヲ望ムノデアリ(「足下冷靜ナレ」ト呼フ者アリ)此騷擾ノ場合ニ於テ群衆側ニ於テハ八
名ノ負傷者ヲ出シマシタガ、是ト同時ニ警察官側ニ於テハ幾名ノ負傷者ヲ出シテ居ル
カト云ヘバ、實ニ百有餘名ノ多キニ達シテ居ル(仲間同士ヤツタノガ)ト呼フ者アリ「斯
ノ如ク警官ニ於テ多數ノ負傷者ヲ出シタト云フ事實ハ、明カニ此數方ノ群衆ガ悉ク無
抵抗ノ良民デアルト云フコトハ申スコトガ出來ナイト思フノデアリ(拍手起ル)而已ナラズ
此群衆ハ果シテ如何ナル行動ヲ取ツタカ、諸君ハ御記憶ニナツテ居リマセウ、即チ二月
十日ニ衆議院ノ門前ヘ押寄セ來ツテ、將ニ衆議院ノ正門ヲ破ラントシタデハゴザイマセヌ
カ(「拍手起リ」破ツタデハナイカ)ト呼フ者アリ或ハ又此群衆ノ中ニハ兇器ヲ携帯シテ
居ツタ者モアツタト云フコトデアル、或ハ又此群衆ハ轉ジテ某々新聞社ヲ襲撃シ、或ハ自
働電話所ヲ破壞致シタリ、或ハ又通行ノ電車ニ向ツテ瓦礫ヲ投ジ、而シテ通行人ニ危
害ヲ與ヘントシタ事實ガアルノデアリ、是等ノ事實ヲ以テシテモ、諸君ハ尙且ツ是等多
數ノ者ハ悉ク良民ト云フコトヲ斷定セラルルデアリマセウカ(拍手起リ發言スル者アリ)「馬
鹿言フナ」ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 靜肅ニ願ヒマス、殊ニ言葉ヲ慎シテ貴ヒタイノデアリマス
○粕谷義三君 我ハ此多數ノ者ハ念フニ無辜ノ良民デアルニ相違ナイト思フ、併ナガ
ラ悉ク皆良民ナリト云フコトハ斷定ガ出來ナイノデアリ、願フニ斯様ナ大騷擾大紛亂ノ
場合ニ於キマシテ、能ク是等群衆ヲ取締ルト云フコトハ、是ハ警官トシテ實ニ容易ナラヌ
事柄デアラウト思フノデアリ、動モスレバ直キニ人権蹂躪デアルト云フ、イヤ干渉デアルトカ
云フヤウナ非難ガ起ルノデゴザイマスカラ、警察官ガ是等ノ群衆ニ對シマスルコトハ、實ニ

時警察が執ツタコロノ行動ト云フモノハ、此行政執行法ニ依テ執ツタコロノ處置デアリマスルカラシテ、之ニ向ッテ何等一點ノ非難ヲ加ヘルトコロノ餘地ハ無イモノデアルト思フノデアリマス（拍手起ル）此事柄ヲ以テ諸君ガ人權蹂躪ナリトシテ之ヲ非難セラレ、更ニ進シテ内相ノ責任ヲ問ハントセラル、ノデアリマスケレドモ、私ハ甚ダ其謂レナキヲ思ハナケレバナラヌノデアリマス、提案者ハ大體ニ於キマシテ以上申述ベタトコロノ此二ツノ事實ト云フモノヲ根據トシテ、而シテ此論據ヲ立テラレタルノデアアル、即チ此二ノ事實ト云フモノガ、人權ヲ蹂躪スルトコロノ甚ダシキモノデアアル、而シテ警保ノ職責ヲ盡サナイ其タメニ帝都ノ秩序ヲ紊ツタモノデアルカラシテ、内務大臣其責任シナケレバナラヌト云フトコロノ結論ニ列著サレタルノデアリマス、此第三點ガ即チ此警保ノ職責ヲ盡サズ、帝都ノ秩序ヲ紊ツタト云フコトヲ仰ツシヤテゴザイマスケレドモ、私ハ此點ニ於テハ餘リニ此諸君ガ事理ヲ轉倒セラル、ノ甚ダシキニ驚カナケレバナラヌノデアリマス（拍手起ル）帝都ノ秩序ヲ紊ラントシタ者ハ即チ彼ノ群衆デアアリマセヌカ、（ノウウ）「ヒヤ」ト呼フ者アリ）而シテ此秩序ヲ恢復シテ此騷擾ヲ鎮撫シタモノハ、即チ警察官デアアルノデアアル（拍手起ル）然ルニ此事實ヲ轉倒シテ、警察官ガ其職責ヲ誤ツタカラ終ニ此ノ如キ騷擾ガ出來テ、帝都ノ秩序ヲ紊ルニ至ツタト云フコトヲ仰シタルハ、洵ニ是ハ事實ヲ誣ウルノ甚シキモノト言ハナケレバナラヌ（拍手起ル）「ノウウ」ト呼フ者アリ）ドウウ此事實ニ付キマシテハ諸君ニハ最モ冷靜ニ御判斷ヲ請ヒタイノデアアル、試ニ諸君御考下サイ、若シ此時ニ於キマシテ、當局即チ此警保ノ責任ズルトコロノ當局者ニシテ、若シモ此騷擾ヲ取締ルコトガ出來ナカッタ致シマシタナラバ、果シテ如何ナル結果ヲ來シタゴザイマセウ（ヒヤ）「ト呼フ者アリ）輦轂ノ下ハ必ズバ騷擾ノ巷ト化シ、二百万ノ市民ハ殆ド枕ヲ高ウシテ寢ト呼フ者アリ）輦轂ノ下ハ必ズバ騷擾ノ巷ト化シ、二百万ノ市民ハ殆ド枕ヲ高ウシテ寢ルコトモ出來ナイト云フヤウナ危難ニ陥ルデアッタデアラウト云フコトハ、私ノ玆ニ豫言シテ憚ラヌトコロデアリマス（拍手起ル）昨年ノ政變ハ如何ン「昨年トハ違フ」敵打チカ「ト呼フ者アリ）若シ當局者ガ取締ヲ怠ツテサウシテ此帝都ノ巷ヲ——帝都ヲシテ騷亂ノ巷ニ化セシメタナラバ、其時ニハ諸君ノ力ヲ俟タズシテ吾々自カラ進テ内務大臣ノ責任ヲ問フノデアリマス、併ナガラ幸ニシテ當局者ノ努力ハ其效ヲ奏シマシテ、此騷擾モ忽チ鎮撫シテ、市民ヲシテ初メテ安堵ノ思ヒヲナサシメタト云フ此警察官ノ努力ニ對シテハ、吾々大ニ感謝シナケレバナラヌト思フノデアリマス（拍手起ル）「簡單」「默」ト呼フ者アリ）假リニ幾多警官ノコトデアリマス、即チ二千ニ近イ警察官デアリマスカラ、或ハ是等ノ警察官ノ中ニハ多少ノ心得違フアツタ者ガ無イトモ言ヒ切レナイ、或ハ又多少間違フ仕出來シタト云フコトガナイイトモ言ヒ兼ネル、私ハ全然過失ノナイコトハ保證致シマセヌカ、免ニ角多少ノ過ガアツタ致シテ見タ所デ、此警察官ノ努力ガ善ク帝都ヲ騷擾ノ衝ノ外ニ救ヒ出シタト云フ此功績ト相對シマスレバ、功罪相償ウテ尙餘リアルモノト謂ハナケレバナラヌ、然ルニ諸君ハ此當時ノ警察ノ行動ニ對シテ頻ニ非難ヲ試ミマシテ、或ハ人權蹂躪デアルトカ、イヤ憲法上ノ自由ヲ奪ツタモノデアルトカ云フ所ノ、種々ノ非難ヲ試ミラレマスケレドモ、諸君ガ若シ此當時ニ於テ警察ガ果シテ此ノ如キ勦ヲスルコトガ出來ナカッタナラバ、ドウ成ルデアラウ（ドウモ成ラヌ）ト呼フ者アリ）我帝都ハ無論無警察ノ狀態ニ陥ルデアラウ（ノウ）「聲起ル」社會ハ無論無秩序ノ狀態ニ陥ルデアリマセウ、斯様ナ譯デアリマシテ吾々ハ實ニ警察ノ當時ニ於ケル勦ニ對シテハ、多大ノ感謝ヲ禁ズルコトガ出來ナイノデアアル、此ノ如ク論シ來ッテ見マスレバ、當時保安ノ責任シテ居リマシタ所ノ當局者ガ、其措置ハ誠ニ好ク機宜ニ適シテ居ルノデアアル、何等非難ヲ加フベキ所ノ點ガナイノデアッデ、從ッテ内務大臣ノ責任ヲ問フト云フヤウナコトハ、殆ド理由ノ無イモノト謂ハナケレバナラヌノデアリマス、諸君、私ハ常ニ密ニ思ウテ居リマス、我國民性ハ免

角此熱易ク又激シ易イ所ノ一ノ弱點ヲ持チ居ルと思フ、殊ニ近來ノ傾向ヲ見マス、或ル事件ガアリマス、忽ニシテ群衆相集リ、而シテ不穩ノ行動ニ出デントスル所ノ惡傾向ガアルノデアリマス、若シ此勢ヲ以テ推進シマシタラバ、我帝國ノ前途ハ果シテ如何ナルデアリマセウ、終ニハ我憲法政治モ彼等暴民ノタメ蹂躪セラレ、我社會ノ秩序ハ既ニ彼等ノタメ、(海軍收賄問題ハ如何)ト呼フ者アリ)紊亂セラレ、ニ至ルデアラウト思ヒマス、之ヲ思ヒ彼ヲ思ヘバ吾々ハ實ニ寒心セザルヲ得ヌデアル、苟モ社會ノ先覺者ヲ以テ任ゼラレ、又國士ヲ以テ任ゼラレ、諸君ハ、須ク言動ヲ御慎ミナツテ、而シテ此社會ノ惡傾向ヲ矯正スルコトニ御努メニナラナケレバナラヌト思フデアル(拍手起ル)然ルニ何事ガ、此ノ如キ所ノ決議案ヲ御提出ニナツタ、此決議案ヲ裏カラ見マス、二月十日ノ騷擾ヲ暗ニ是認スルガ如キ決議デアル(拍手起ル)此騷擾ヲ鎮撫スルガタメ盡シテ警官ノ行爲ヲ非難シ而シテ此騷擾ヲ暗ニ是認スルヤウナ茲ニ勸ヲ持テ居ル所ノ此案デアルデアル、若シ不幸ニシテ此決議案ガ通過致シマスヤウナコトガゴザイマスレバ、我憲政ノ將來ハ果シテドウナルデアリマセウ、實ニ是ハ深ク考ヘナケレバナラヌ點デアリマス、即チ私共ハ我カ此憲法政治ヲ擁護スルガタメニ、將タ社會ノ安寧ヲ維持スルガタメニ、諸君ノ御提出ニナリマシタ所ノ此決議案ニ向ッテハ、斷々乎トシテ反對ヲ表スル者デアリマス

○議長(大岡育造君) 水野君、數、不穩ノ評言ヲ挾マル、ガ御慎ミナサイ——小河源一君

○小河源一君登壇

○小河源一君 諸君、私ハ此決議案ニ賛成ヲ致ス者デゴザイマス、二月十日ハ御承知ノ如ク内閣彈劾決議案ヲ本議會ニ於テ議スルノ日ニ當テ居ッタノデアリマス、其以前「シメンス」會社ノ事ガ現ハレマシテ、ツレヨリ海軍ノ醜職事件ナルモノニ付テ世間ハ大ニ驚キ、又衆議院ニ於キマシテハ此不都合ニ對シマシテ種々攻撃ヲ致シ、アッタ時デゴザイマス、而シテ其甚ダ思ヘキ事件ニ付キマシテ、國民ハ大ニ憤怒ヲ致シ、此帝都ニ於キマシテ有志相會シテ國民大會ヲ開クト云フヤウナル始末ニナツテ居ッタノデアリマス、又勿論各有志政客ニ於キマシテハ、東京市內ニ於キマシテモ此不始末ニ對シマシテ演說ヲ致シテ居ッタコトモ相違ナイ事實デゴザイマス、故ニ政府當局者ニ於キマシテ此十日ノ日ニ國民大會ガアルト致シマシタラバ、或ハ騷擾ヲ惹起スルコトナリハ致サヌカト憂慮セラレ、コトハ、是ハ尤モコトデ、此點ニ付テハ非難ハ致サヌノデアリマス、故ニ此時ニ於キマシテ相當ノ警備ヲ致スカ、適當ノ警備ヲ致スコトハ是亦適當ノ處置デアリマス、然ルニ其當日ニ於キマシテハ、地方ノ警察官マデ集メマシテ、唯今相合君ノ御演說ニ依リマス、三千人ノ警官ヲ集メテ警戒ヲシテ居ルデアル、勿論警察廳ナルモノハ此人民ノ種々ナル事情ヲ洞見スルコトニハ、餘程銳敏ノ眼ヲ以テ居ラナケレバナラヌデアリマス、故ニ此度集會スル所ノ其人民ナルモノニ對シテ、果シテ如何ナル行動ヲ執ルベキモデアアルカト云フコトハ、豫テ探知シテ置カナケレバナラヌノデアリマス、相合君等ノ御演說ニ依リマスレバ之ヲ一圖ニ暴民ナリト稱ヘマシタモ、吾々ノ見ル所決シテ暴民デハナイノデアリマス(ノウ)「ト呼フ者アリ」成程大勢ノ者ガ集會ヲ致シマスレバ、其大勢集會中ニ於テ多少ノ過ヲ生ジ、惡戯ヲ致スト云フ者ノ出來マスコトハ何處ニ於テモアルノデアリマス、此國事ヲ憂ヘテ集會ヲ致シ、若クハ如何ナル結果ヲ得ルカ之ヲ見タイト云フコトハ、言フ者ノ言葉ガ私ハ暴言デアルト信スルデアル(拍手起ル)此集會タルトコロノ集團ハ果シテ當時如何ナルコトヲ致シタカ、昨年ニ於ケルコトノ國民大會ニ於

キマシテハ甚ダ惡性ナモノヲ多ク含シテ居リマシテ、或ハ警察ヲ燒打フシ、或ハ交番ヲ燒キ、種々ナル暴行ヲ致シテ居リマスルガ、此度ノ集團ニ於キマシテハ先刻相合君ハ燒打ト申シマシタガ、蓋シ言葉ノ過テデアラウト思ヒマス、僅ニ交番ヘ石ヲ投ゲタ、若クハ電車ニ石ヲ投ゲタト云フ位ノコトガアル、又ハ衆議院ノ前ニ大勢集會デ、人數ノ大勢集會タガタメニ後カラ押シテ、衆議院ノ門ヲ幾分力押壞シタト云フコトガアッタ位ノ事柄デゴザイマス、決シテ危險ヲ生ズベキトコロノ兇器ヲ持テ居ッタト云フコトモナイデアル、又昨年春ノ如ク燒打ナドト云フガ如キ大騷擾ヲ來シタノデアリマス

○議長(大岡育造君) 靜肅ニ

○小河源一君 此有様ヨリ見マシテモ、本年ノ此集團ハ眞ノ事柄ガ違ヒマシテ、此海軍醜怪問題ナドト云フコトハ國民ガ少シモ看過スルコトノ出來ナイトコロノ事件デアリマス、爲メニ之ニ憤慨スルガタメニ集タルトコロノ大部分ニ於テハ、良民デアルノデアリマス(ヒヤ)「ノウ」ト呼フ者アリ)此良民ニ對シマシテ警察ハ如何ナル處置ヲ執ッタカ、警察ハ此十日ノ夜山下門若クハ櫻田本郷町等ニ於テ巡查ガ拔劔ヲ致シ、殊ニ山下門附近ニ於キマシテハ、刃傷ヲ加ヘテ居ルデアル、抑、此行政警察官ハ諸君御承知ノ如ク、如何ナル平素心得ヲ致シテ居ルベキモデアアル、故ニ國家ノ安寧ヲ亂ル者アリ、幸福利便ヲ保全スルコトヲ目的ト致シテ居ルデアアル、故ニ國家ノ安寧ヲ亂ル者アリ、騷擾ヲ致ス者ガアリマスナラバ、適當ノ方法ヲ以テ之ヲ檢束致シ、若クハ之ヲ防止スルト云フコトニ付キマシテハ、私決シテ異存ノアルベキ筈ハナイ、斯ク致シマシテコソ社會ノ安寧ヲ保チ得ルデアリマス、誰カ之ニ反對スル者ガゴザイマス、併ナガラ此社會ノ安寧秩序ヲ圖ルコト云フコトニ付キマシテ、其方法ハ如何ナル方法ヲ執ッテモ宜イト信ズル行政警察官ノ本務ト致シマシテ、人民ノ幸福ヲ祈ルベキトコロノ人民ノ保護者デアル者ハ、人民ニ對シマシテハ常ニ慈母ガ愛兒ヲ愛スルガ如キ心ヲ持テ居ラナケレバナラヌデアル、故ニ若シ暴行若クハ騷擾ヲ致ス者ガアルト思ヒマシタラバ、能ク事前ニ於テ之ヲ説諭シ、之ヲ防止スルノ策ヲ執ルガ最モ宜シイ、若シ事ノ起リマシタトキニ於テ力ヲ以テ抵抗シマシタラバ、亦最良ノ方法ヲ以テ此方モ力ヲ用ウルモ宜シイ、之ヲ防止スルニ適當ナカラ用ウルハ宜シイノデアリマス、併ナガラ兇器ヲ持タナイ又ハ刃傷スルヤウナル不都合モ致サナイ唯一ノ集會、若クハ集團ナルモノニ過ギナイモノニ對シマシテ、直チニ拔劔シテ之ヲ刃傷スルト云フコトハ果シテ如何デアリマセウ、諸君ノ先刻ヨリ述ベマスル所ニ付テ考ヘマスレバ、此拔劔ト云フコトニ付テ内務大臣ヲ初メトシテ、其事實ノ無イコトデアルト云フコトヲ以テ唯一ノ抗辯トセラレテ居ル 諸君此拔劔ノ事實ナシト云フ此言葉ハ、果シテ天下之ヲ承認スベキトコロノ言葉デアルト思ハレマセウカ、巡査ノタメニ斬ラレタト云フ人間ハ幾人デアル、其人ハ如何ナルデアリマス、現ニ東京日日新聞社員橋本繁君ノ如キ、或ハ帝國通信社員松澤澤壽平君ノ如キ、是ハ社會ノ水鐔トナリマシテ新聞社ニ對シテ事實ノ真相ヲ過チナク傳フベク採訪ノ任務ニ就キテ居ルデアル、即チ自己ノ天職ヲ十分ニ盡サンコトニ努メツ、アルモノデアル、此者ニ對シテ直チニ傷害ヲ致シテ居ルデアリマセウカ、其他ニ於キマシテモ 杉田又吉、或ハ牧野徳次郎、或ハ岡田又一、若クハ安藤順一等ノ者ニ對シテ傷害ヲ加ヘテ居ルデアリマセウカ、而シテ其創ハ悉ク刃傷デアル、即チ鋭キ刃ヲ以テ斬付ケタモノデアルト云フコトハ、先刻濱田君ノ讀上ケマシタトコロノ診斷書ニ於テモ其一端ガ證セラレテ居ルデアル、唯之ヲ爭フニ、併ナガラ左様ナ診斷ガアッデモ監視廳ノ醫師ノ言フ所ニ依レバ、是ハ裂傷デアル、切傷デアリナイト云フコトデアルカラ、何方ガホンマデアルカ分ラナイ、斯様ナ御言葉デアル(今日ツナナ馬鹿ナコトハナイ)ト呼フ者アリ)監視廳ハ申スマデモナク此事件ニ

付キマシテハ常ニ其事實ヲ隠蔽セシコトニ努メツ、アルト云フコトハ歴然タル事實アル
(「ノウ」)「ヒヤ」ト呼フ者アリ諸君若クハ一人ノ所爲ト考ヘテ見ナサレ、或
ル一人ガ甲ヲ傷ケ若クハ乙ヲ傷ケ、丙ヲ傷ケテ丁ヲ傷ケテハ皆切傷アル、其斬ラレタ
人ハ何ノ某ヨリ此傷ヲ受ケマシタ、即チ警察官ナルモノ一ノ人間ト見マシタナラバ、
何ノ某カラ此傷ヲ受ケマシタ、山下門ノ所デ此傷ヲ受ケマシタ、斯ウ云フコトヲ數人若
クハ數十人ノ人間ガ異口同音ニ其事ヲ以テ之ヲ訴ヘタトキニ、警視廳ハ左様ナル事實ノ
アルベキ筈ナリ、本人ガ斬ラレタコトハナリト云フカラ、ソレハ皆言フコトガ嘘アルト云フ判
斷ヲ致スデアリマセウカ

○議長(大岡育造君) 靜肅ニ

○小河源一君 斯様ナコトハ強辯、即チ曲辯アルト云ハナケレバナラヌ、而シテ尙ホ警
視廳或ハ内務大臣ニ於テモ安シザル所アルト見エマシテ、一面ニ於テハ或ハ正當防衛
デアッタカモ知レナイ、巡查ハ斯ル場合ニ於テ劊ヲ拔キ得ルノデアル、正當防衛ノ場合デ
アッタナラバ劊ヲ拔キ得ルノデアル、唯劊ヲ拔ケト云フ命令ハシナカッタ、併ナガラ豫テ劊
令ニ依テ劊ヲ拔クコトハ豫テ言ウテ居ルガ、劊ヲ拔ケト云フコトハ唯命令セナカッタデ
アル、或ハ正當防衛アルカモ知レナイト云フ、一面ニハ斯様ナル言葉ヲ以テ所謂兩道
ヲ掛ケテ主義ト致シテ居ルノデアル(拍手起ル)諸君如何ニ此言葉ガ若シキ言葉デゴザイ
マセウカ、若シ正當防衛トシテ辯解ノ十分出來得ベキ事柄デアリマシタナラバ、此拔劊
シタル事實ヲ何故ニ隱蔽スルノ必要ガアルカ(拍手起ル)此時此手段ニ對シテ當夜ノ模
様、當夜ノ事情ニ照シテハ如何ニモ拔劊シ得ベキ時ニアザラズトキニ於テ拔劊シタルモ
デアルカラシテ、飽迄モ一面ニハ拔劊セナイト云フコトヲ言フデハアリマセウカ、此拔劊
セナイト云フテ抗辯スルノガ、即チ拔劊セベカラサル時デアリタルトキデアルト云フコトヲ證明ス
ルモノデアルト云ハナケレバナラヌ(拍手起ル)而シテ此拔劊ノ事實ハ多クノ證人ガアル、
私ハ一々此處デ其名ヲ列舉致シマセウカ、此拔劊ヲ見タルコトノ多クノ證人ガアル、
ルノデアル、今此處ニ舉リマシタコトノ一例ヲ舉ゲマシテモ、内務大臣ノ答辯ニ依リマ
シテモ、其一端ヲ窺フニ足ルノデアリマス、加瀬君デアリマシタカ誰カノ問ニ對シテ、貴族院
ニ於テ柳澤伯ガ拔劊シタルコトヲ見タルト云フコトヲ以テ内務大臣ニ問フ起シタレバ、
内務大臣ハ左様ノ事實ハ無イト云フコトヲ答ヘラレタ、斯ウ云フ事ガアルカト云フ尋デア
リマシタガ、内務大臣ハツレハ間違デアリマス、速記ニモ左様ナコトハナリ、誰ガソナコ
トヲ言ッタト云フテ迫リマシタ、併ナガラ内務大臣ノ御答ハドウデアッタカト云ヘバ、柳澤
伯ハ左様ニハ申サナイ、唯今警官ガ劊ヲ拔イタト云フ聲ヲ自分ガ現場ニ於テ聞イ
タト云フコトヲ言ハレタノデアル、左様ナ事柄ハ皆劊ヲ拔イタカラシテ早く遁ケナケレバ
イカヌト云フコトヲ道ダタト云フコトヲ、此斬ラレタ人ガ皆言ウテ居タルノデアル、斬ラレタ
人ノ言フコトハ是ハ信用ガ出來ナリト云ウテ、唯今迄ハ排斥サレテ居ルノデアル、然ルニ
貴族院議員タルコトノ柳澤伯ガ、此言ヲ聞カレタ事實ガアルト致シマシタナラバ、柳澤
伯ガ其當時聞カレタ其言葉ハ捏造ノ言葉デアリマセウカ、事實デアリマセウカ、柳澤伯ノ
耳ニ入リタル其言葉ハ正シク劊ヲ拔イタル事實ガアルカラ、群衆ハ劊ヲ拔イタト云フコト
ヲ言ウタノデアル、即チ見タル同様ノコトデアルノデアル(拍手起ル)諸君唯其被害者ノ舉
テ居ナイ所ヨリシテ證據ガナリト呼バリ、此警官ガ劊ヲ拔イタノハドノ警官デアルカ人ヲ
傷ケタノハドノ警官ガ傷ケタノデアルカ、劊ヲ拔イタト云フ警官ヲ見付ケ出スコトモ出來
ナイ、刃傷ヲ加ヘタト云フ警官ヲ見付ケ出スコトガ出來ナリト云フ點ヲ以テ、證據ガ不
十分デアルト云フコトヲ言ハレタノデアル、即チ證據ノ舉ラナイノハ警視廳自ラガ舉ゲヌノ
デアル(「ヒヤ」)「ト呼フ者アリ拍手起ル」此證據ノ舉ラナイト云フコトハ、内務大臣

ノ責任ヲ益々重クスル所以デアル(拍手起ル)若シ普通ノモノデアッタナラバ、疾ノ昔ニ
證據ガ舉ゲテ處分セラレテ居ラナケレバナラヌ、然ルニ斯様ナ事ヲ曲辯シテ、劊ヲ拔イタ
者ガナイ、警官ハ一人モ人民ヲ傷ケタ者ガナイ、ツレハ無根デアルトシテ跳付ケテシマッデ
取調モ致サナカッタ、而シテ此警官ノ犯罪ヲ其儘放任致シテ置ケト云フコトハ、内務大
臣ノ其責任ハ益々重キ次第デアリマス(拍手起ル)又十日十二日ノ此二大逮捕ノコト
ニ對シマシテ、是ハ事實ハ爭ハレナイ、事實ハ爭ハレナイケレドモ其時ノ模様ニ依テ、斯
ノ如キ逮捕ヲ致スノハ事情已ムラ得ヌ當然ノ處デアルト云フ議論アル、諸君、事
情已ムラ得ヌ當然ノ所作デアルト云フコトヲ、若シ放漫ニ言ヒ得ルモノトシタナラバ、如
何ナル場合ニ於テモ言ヒ得ルノデアリマス、群衆ニ優ルダケノ警官ヲ備ヘ若クハ兵隊ヲ備
ヘ、而シテ集メテ居ル者若クハ道路ヲ通行スル者幾萬ト云フ人間ヲ悉ク羅致シ、尙且
是ダケノ人ヲ捕ヘテ取調ベナケレバ分ラヌカラ取押ヘタ、故ニ適當ノ所作デアルト云フコ
トモ放漫ニ言ハバ言ヒ得ルノデアル、唯十日ノ晚ニ數百人ヲ逮捕シタ、十二日ノ晚ニ
於キマシテモ亦數百人ヲ逮捕シタ、而シテ取調ノ結果其十分ノ一二モ足ラヌダケノ人
ガ殘サレテ、其他ハ歸サレテ居ルノデアル、唯取調ノタメニ之ヲ警察署ヘ喚出シタト云フ
ノデアリマセウカ、各犯罪者ト致シテ即チ公力ヲ以テ引致シタルノデアル、斯ノ如ク誰彼
ノ區別ナク或ハ騷擾ヲ惹起スカモ知レナイト云フ、斯様ナ豫斷ヲ以テ良民亂民ノ區別
ナク、如何ナル犯罪行為アリヤ其事蹟ヲ認メズシテ、而シテ多クノ人ヲ逮捕スルコトヲ云フ
トハ、之ヲ適當ノ處置ナリト云フカ(拍手起ル)勿論斯様ナ時ニ於テ一人モ間違ヲ生
ゼナイト云フコトハ、人間ニ於テ期スベキコトデアリマセウカ、或ハ百人逮捕シタナラバ其
中ノ十八若クハ二十人ハ間違デアッタト云フコトハ、是ハ生ズベキコトデアル、又斯様ナコト
ハ往々アルコトデアリマス、併ナガラ數百人ヲ逮捕致シテ僅ニ今殘サレテ居ル者數十
ノモ今司法裁判所ニ於テ裁判ノ結果幾人ヲ殘スカ知レヌノデアル、其逮捕致シタルコ
ロノ中ニハ風呂歸リノ人モアル、石鹼ヲ持チ手拭ヲ提ゲタコトノ風呂歸リノ人モアル、
ツレハ捕ヘタ、又親ノ病氣ガ危篤デアルト云フノ其見舞ニ行カウト云フノデ、行キカケ
ル人ヲ捕ヘテツレハ放サナイガタメニ歸ッテ見レバ其親ガ死ンデ居ルト云フヤウナコトガアル、
斯ノ如ク何者ヲモ構ハズシテ手當次第ニ捕ヘルト云フコトガ、果シテ適當ノ處置ナリト
云フコトヲ言ヒ得ルヤ、之ニ對シマシテ柏谷君ノ御議論ヲ承レバ、警官ガ餘程能ク働
イタルデアル(「其通り」ト呼フ者アリ)國家ノ安寧ヲ保ツガタメニハ斯ノ如キ騷擾ヲ惹
レバナラヌデアル、ツレハ故ニ此騷擾ヲ惹起スコトガ出來ナカッタ、昨年ノ如キ騷擾ヲ惹
起スコトノ出來ナカッタノハ、是ハ一ニ警察ノ力デアルト云フノデ、大ニ警官ノ議論ヲ與ヘラ
レタ(「其通り」ト呼フ者アリ)此論法ヲ以テシマスルナラバ日本ノ人民ハ皆騷擾ヲ起スカ
モ知レナイカラ、悉ク之ヲ縛ッテ置ケト云フ縛ッテ上デ皆動カヌデアリカ、是デ安寧デア
ルト云フモ同様ノ議論デアル(「拍手起ル」)「ト呼フ者アリ」諸君、殊ニ政友會
ノ諸君ニ違ハマスルガ、警視廳ハ如何ナル辯解ヲ致シタカ、新聞記者團ノ代表者ニ對
シテ、成程多クノ者ヲ羅致致シマシタ、是ハ今度ノ事柄ハ嚴酷ニヤリマシタ、ナゼナレバ
昨春ハ餘リニ緩慢ニアッタカラシテツレガタメニ燒打等ノ大騷擾ヲ惹起シタルデアル、故
ニ本年ハ事前ニ於テ能ク禦ギ、又事起ルノ時ニ於テハ用拾ナク峻酷ニ檢舉ヲ致ス手段
ヲ執ッタノデアル、即チ昨年ノ事ニ鑑ミテ本年ハ斯様ナ手段ヲ執ッタノデアルト辯解シテ
居ル(「其通り」ト呼フ者アリ)「其通り」ト仰セラレマスガ、諸君其通りト仰セラレ所ノ諸
君ハ、昨年ハ如何ナル御議論ヲサツタカ、昨年アレダケノ大騷擾ノ起ッテ、燒打ノ起
タツレニ對シテ其當時ニ於ケル警視廳ノ所爲ニ付テ、警視廳ガ人權ヲ蹂躪シタルト云フ
デ諸君ハ大ニ警視廳ヲ詰メタハナイカ、ツレハ本年ハ斯ノ如キ大騷擾ヲ惹起シタルコト

デ、惡性ノ集團デナイノ、ソレニ向テ峻嚴ナル手續ヲ取ツテ、ソレニ對シテ尙適當ノ所置ナリト論ズルハ何事アルカ(昨年ハ警視廳ガ挑シテ打ガ起ツタノ「謹聽々々」議長注意ヲ願ヒマス)ト呼フ者アリ)諸君、諸君ハ警官ガ劔ヲ拔イタコトニ付テ事實ヲ否認スルコトガ出來ナイ、唯、口デ否認スルダケアル、而シテ其劔ヲ拔イタルコトガ適當ナルヤ否ヤト云フコトハ、此拔劔ノ心得ニ依リマス、劔ヲ持シテ人ノ身體財產ニ對シテ暴行ヲ爲シ拔劔スルニアラサレハ保護スルノ術ナキト云フ場合アル、向フガ兇器ヲ持テ追ツテ、コナラガ拔劔シテハ保護スルコトガ出來ナイト云フ場合、暴行人ガ兇器ヲ持テ拔劔スルニアラサレハ防禦スルノ術ナキト云フ場合、暴行人ガ民ナリ何ナリ相手方ガ兇器ヲ持テ掛カリ、之ニ對シテコナラガ劔ヲ拔クニアラサレハ防ギ得ザル場合ノ外ハ、劔ヲ拔クコトハ出來ナイノアル、然ルニ山下門ニ集タル者ガ如何ナル兇器ヲ持テ居リマシカ、現ニ其斬疵ハ如何ナル模様アルカ、或ル一二ノ者ハ頭ヲ斬ラレテ居リマスガ、其他ノ多クノ人ハ皆後頭ヲ斬ラレテ居ルデアリマセヌカ、新聞記者ガ斬ラレタ人ノ説明ヲ聞キマスレバ、或ハ轉シテ人ノ頭ニテ轉シテ斬ラレタ、若クハ逃ゲル所ヲ背カラ斬ラレタト云フコトニナツテ居ルデアリマス、其事實ハ傷其モノガ證明シテ居ルデアアル、而シテ劔ヲ拔イタ場合ト雖モ、如何ナル規定ガアルカト申シマスレバ「前項已ムヲ得サル場合ニ際シテ拔劔スルト雖モ兇人畏服ノ模様アルニ於テハ穩カニ取押シテ」ト云フコトデ、假令已ムヲ得ズシテ劔ヲ拔イテモ向フガ畏レテ抵抗スルコトガナイト云フ、穩カニ取押シテ、逃ゲル者ハ躍イテ轉ゲタ者ヲ背カラ斬ルト云フコトハ、果シテ此規則ニ背カヌデアリマスカ、斯様ナル事實ガアツテモ警視廳ニ於テハ唯事實ナシト云フ一點張リデ、少シモ調査ヲシナイ、内務大臣ハ之ヲ放任シテ知ラヌ顔ヲシテ居ルト云フコトハ、甚ダ不都合千萬ナルコトアルト思フ、又原内務大臣ハ特ニ一ノ責任ガアル、内務大臣ノ邸宅ノ門前ニ於テ東京朝日新聞記者芳賀榮造君ハ、内務大臣宅ニ居リマスルコトヲ壯士ノ爲メニ毆打セラレタノアル、此事實ハ内務大臣ガ或兇漢ノ爲ニ襲撃ヲ受ケタト云フコトガ、中央新聞ノ夕刊ニ出タト云フコトデ、果シテ左様ナキ事實ガ有ルカ無イカト云フコトヲ確メルガ爲メニ、芳賀榮造君ガ内務大臣ノ官舎ヲ訪ウテ、書生ニ面會致シテ其事實ヲ尋ネテ居タ、所ガ書生ガ左様ナクハ無イト云フガ、中央新聞ニ斯様ナコトガ出テ居ルカラ、ヒョットシタラ有ルデアリマセヌカト念ヲ押シテ居タ所ヘ、壯士體ノ者ガ側ニ居ッテ、何ヲ言フカモウ歸レ、斯ウ云フコトデアツタカラ直グニ歸リカケタ、歸リカケテ門ヲ出ヤウトシタ所ガ、其壯士體ノ人ガ何カ一聲合圖ノ音ガシタガ、十數名ノ壯士ガ現レ出テ、車ヲ引提ヘテ、手拭ニ石ヲ包シテ以テ毆打シ、若クハ棍棒ヲ以テ毆打シタ、尤モ其指揮ヲ致シタ壯士ハ一面諷モナイ人デハナイ、政友會本部ニ於テ一度見タコトアル壯士デアルト云フコトヲ明言シテ居リマス、斯様ナキ數名ノ壯士ガ即チ新聞記者、是ハ如何ニシテモ暴民トハ言ハレナイデアリマセウ、此暴民トハ言ハレザル新聞記者ニ對シテ此暴行ヲ加ヘテ居ルデアリマス、抑、内務大臣ハ何故ニ斯ノ如キ壯士ヲ以テ自己ノ警衛ノ任ニ當テルデアリマスカ、内務大臣ハ警察官ヲ以テ自分監督ノ下ニ於テ、十分自己ヲ護ラシメルコトガ出來ルデアアル、内務大臣ハ自己ノ部下ヲ自己ノ監督スルコトヲ警察官ヲ以テ、己レヲ護ルニ足ルノ能力ナキモノデアルト思フデアアル、果シテ己レヲ護ルダケノ能力ガナイヤウナ警察官ナラバ、尙以テ人民ヲ護ル能力ハ無いモノト云ハレバハナラヌ、是デ内務大臣ハ警察官ヲ不信任致シテ居ルデアアル、而シテ此毆打セラレマシタコトヲ記者ハ、其時ニ門前ニ警官ガ立ッテ居タカラ訴ヘヤウト思フテ見タラ、モウ其時ハ影ヲ隠シテ居ナイ、斯ウ云フヤウナ有様アル、是ハ獨リ

此ノ新聞記者ノ言葉ノミデアリマセズシテ、車ヲ挽イテ居リマシタコトノ近藤宗太郎ト云フ車夫ガ、能ク其事實ヲ知ッテ居ルノデ、其車夫ニ對シテモ其壯士ナル者ガ(噓ヲ言フナ)ト呼フ者アリ)噓ガ眞カ取調ベレバ分ル(「默ッテ居レト」呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 靜肅ニ……

○小河源一君 遂ニ芳賀榮造君ハ身ヲ以テ免レタ、其後ニ於テ此車夫ヲ捉ヘテ、是カラ新聞記者ナドヲ乗セテ來タラ此通りニスルカラ、是カラ來ルナ、其方ノ同僚ニモ來ルナト云フコトヲ言フテ恐喝シタト云フコトアル、原内務大臣ハ曩ニ此處ニ於テ御答辯ニナリマシタ、私ハ其御答辯ニ對シテ驚入ッタノアル、ウレハ私ノ方ノ構内ノ出來事デハナイ、構外ノ出來事デアルカラ知リマセヌ、其者何カ取調ヲ致スニ付テ、取調ヲスルノハ私ノ方ノ管轄デアリマセヌ、ウレハ司法省ノ方ニ於テ適當ノ取調ヲスルデアラウト云フ御答辯アル、原内務大臣ハ苟モ自己ノ邸内ヲ訪フタル新聞記者ヲ、自己ノ邸内ヨリ出デタ壯士ガ門前ニ於テ毆打シタルト云フコトヲ、露々ト新聞ニ揭ゲテ居ルデアアル、假令取調ヲ爲ストコロノ管轄ハ司法官デアリマセウトモ、假令自己ノ構外デアリマセウトモ、自分ノ方ニ來タ客ニ對シテ斯様ナル暴行ヲ加ヘタコトガアツテハ濟マナイコトアルト云ウテ、自ラ其事實ヲ取調ベ、若クハ警視廳ニ命ジテ此事實ヲ取調ベサセルト云フヤウナコトハ當然ノコトデハナイカ、然ルニ構外ノコトアルカラ知ラナイ、ウレハ司法官ガドウカスルデアラウト云フコトデ、之ヲ放任シテ置ク、斯ノ如キ自己ノ内ノ出來事ニ對シ人民ニ對シ、被害者ニ對シテ一片ノ同情モ與ヘナイト云フ、此仕事ハ即チ一事ガ萬事、此心ヲ以テ致シマスルガ故ニ警視廳ノ警察官全部ガ十日或ハ十二日ノ晩ニ於テ不都合ヲ致シタコトハ、即チ原内務大臣ノ意ヲ受ケタモノデアルト疑ハレテモ仕方ガナイノデアアル(「ノウ」)「邪推デ」議長注意ヲ願ヒマス(「ト呼フ者アリ」)

○議長(大岡育造君) 許シテ受ケズ左様ナコトヲ仰シヤルノガ一番惡ルイデアリマス

○小河源一君 此十日ニ内務大臣ガ出兵ヲ致シタト云フ事實ニ對シテ責任ハ如何デアアルカ、即チ二十ト云ヘル警官ヲ集メテ居リマス、尙ホ更ニ足ラナケレバ憲兵ト云フモノガアリマス、而シテ日中ニ於ケル所ノ衆議院附近、或ハ日比谷公園ニ於ケル所ノ集團ガ惡性ノモノデナイ、亂暴ノ者デナイト云フコトハ既ニ十分明瞭致シテ居ルデアアル、此時ニ二千ノ警官アリ尙ホ足ラサレバ……

○議長(大岡育造君) 靜肅ニ願ヒマス——御著席ヲ願ヒマス

○小河源一君 憲兵ノ助ケヲ受ケルコトガ出來ル、此場合ニ於テ軍隊ノ出動ヲ要求スルト云フハ抑、何事デアアル、勿論要求ヲシタノハ内務大臣御自身デアリマス、聞ク所ニ依レバ警視廳總監ト宗像知事ト相談ノ上、宗像知事ガ要求致シタト云フコトデアリマス、併ナガラ是等ニ對シテ内務大臣ノ責任ガアルデアアル、抑、斯様ナ場合ニ兵隊ノ出動ヲ要求スベキモノデアリマセウカ、非常事變ノ時ニ方リマシテ、兵員ノ出動ヲ要求スル權利ハアリマセウ、併ナガラ其權利ナルモノハ輕々シキモノデナイト云フコトヲ知ルニ足ルコトハ、如何ニモ警察ノ力若クハ憲兵ノ力ヲ以テ、ドウシテモ暴民ヲ取鎮ムルコトノ出來ナイ狀況ニ追ツタ時ナラバ、ウレハ適當デアリマセウ、唯、想像ヲ以テ或ハ人ガ集マダカラシテ亂暴ナ事ヲスルカモ知レナイト云フ、想像ヲ以テ軍隊ノ出動ヲ請求スルト云フコトハ法ノ許サヌ所デアアル、之ニ參照スルニ戒嚴令ヲ一讀致シテ見ルナラバ、戒嚴令ノ「平時土寇ヲ鎮定スル爲メ臨時戒嚴ヲ要スル場合ニ於テハ其地ノ司令官速カニ上奏シテ命ヲ請フ可シ若シ時機切迫シテ通信斷絶シ命ヲ請フノ道ナキ時ハ直ニ戒嚴ヲ宣告スルコトヲ得」此戒嚴ヲ布クコトニ付テハ斯ノ如ク嚴重ナル規定ガアル、上奏ヲシテ勅許ヲ

得た上デナケレバ出来ナイノデアル、是ハ直チニ此案件ニ用ユルノデハアリマセヌケレドモ、此法ノ精神ヨリ見マシテモ兵員ノ出動ト云フコトハ、人民ニ對シテ兵員ヲ以テ鎮撫スルト云フガ如キ策ヲ執リマスコトハ、萬止ムヲ得ザル場合ニ非ザレバ、爲スベカラザルモノデアルト云フコトハ、當然知リ得ヘキ事柄デゴザイマス、唯是ハ甚ダ恐怖心ニ起ツタノデハナキカト思フ、疑心暗鬼ヲ生ジテ斯ノ如キ所作ニ至タツノデハナキカト思フ(拍手起ル)

「シメメン」事件ナルモノハ成程不都合ノ事件デアル、國家ノ一大事件デアル、此事件ト云フコトガ如何ニモ政府ノ弱點デアル、此弱點ニ對シテ人民ガ大ニ怒ヲ爲シテ居ル所デアル、故ニ如何ナル亂暴ヲ致スカモ知レナイト云フ良民ヲ亂暴民ノ如ク、自己ノ弱點ガアルガ爲メニ疑心ヲ生ジ、此疑心ヲ生ジタル結果トシテ、良民ヲ夜叉ノ如ク、鬼神ノ如ク、魔物ノ如ク視タノデアラウト思フ(拍手起ル)コレ故ニ是ガ亂暴ヲ致スデアラウト云フノデ、此要求ヲ致シタモノデアラウト私ハ推察スルノデアル、若シ左様デナカッタラバ、甚ダ著ナル勇氣ガ缺ケテ、餘リ卑怯ニ在ルガ爲メニ此用意ヲ致シタノデハアルマイカト思フ、國家ノ軍隊ヲ自己ノ恐怖心ヲ慰ムル所ノ用ニ供シ、若クハ人民ヲ威喝スル所ノ用ニ供スルト云フガ如キハ、是レ職權ヲ濫用シテ國兵ヲ玩弄スルモノデアルト言ハナケレバナラヌ(拍手起ル)斯様ナ無責任ナ不都合ナル非立憲ナル事ガアリマシテモ、内務大臣ハ尙其責任無シト信ズルモノデアリマセウカ、諸君、立憲政治ノ完備ト云フコトハ如何ナル事ヲ言フノデアリマスカ、諸君、原内務大臣ハ政友會ノ頭目ト致シテ大正ノ一新ヲ致サナケレバナラヌト云フコトヲ唱道セラレタノデアル、大正ノ一新ハ巡查ガ拔劔シテ良民ヲ斬ルト云フノガ大正ノ一新デアリマスマイ、憲政完備ノ功ヲ立デントスルノガ即チ内務大臣ノ希望デアッタラウト思フノデアル、憲政完備ト云フコトハ德義アリ誠意アリ責任アルコトヲ知ル者ノ間デナケレバ行ハレヌノデアリマス、自己ノ權勢ヲ維持スルガ爲メニ多數黨ヲ恃シテ、而シテ事ノ善惡ヲ辨ヘズ、自己ノ恣ニ事ヲ爲スト云フコトハ、決シテ政治家ノ德義ハナイノデアリマス、又著シクハ警官ガ劔ヲ拔イテ人ヲ斬リ、内務大臣ノ宅前ニ於テ壯士ニ毆ラレ、斯ノ如キ顯著ノ事實ニ對シテ強辯シ曲辯シテ、而シテ其實ヲ免レントスルガ如キハ政治家ノ德義ハナイ、是亦誠意デアリマセヌ、是亦眞ニ責任ヲ重シズル人ノ爲スベキ事デアハ無イノデアル、政府者ハ——殊ニ現内閣政府者ガ常ニ申シマスニハ、吾ノ責任ハ重イモノデアアル、大政ヲ補弼スル重職ニ在ルモノデアアル、オ前方ノ左様ナ言議ニ依テ責ヲ引クモノデナイト云フコトヲ口癖ノ如ク言フガ、大政補弼ノ大任ヲ負テ居ル者デアリマスルガ故ニ、己レ自ラガ不正ノ疑ヲ受ケ、若クハ己レ自ラガ非立憲ノ疑ヲ受ケ、然モ其疑タルヤ其人ヨリ出テタリト信ズベキ程度ニ在ル場合、今日ノ騷擾事件ニ於キマシテモ、單ニ警視總監ノ所作デアアル、單ニ警官ノ所作デアルト云フコトガ出来マスカ、數日以前ヨリ協議ヲ疑シテ爲シタル事柄ヲ、内務大臣之ヲ聞知セスト云フコトハ表ノ言葉デハ言ヒ得ルノデアリマセウガ、事實人ヲ信セムルコトハ出来ナイノデアアル、斯様ナ責任ノ地位ニ立テ居ル者ガ、斯ノ如キ非立憲ノ行動ヲ爲シナガラ、其行動ニ對シテ曲辯シ、而シテ自己ノ責ヲ避ケントスルガ如キハ正シク憲政ノ美ヲ濟ス資格アル政治家デハナイト信ズルノデアアル(拍手起ル)政友會ノ諸君、諸君ハ餘程私ノ此演說ガ御氣ニ副ハナカッタヤウニ思ヒマスガ……

○議長(大岡育造君) 靜肅ニ……

○小河源一君 私ハ諸君ガ苦節ヲ守ツテ其黨ノ爲メニ忠勤セラル、コトニ付キマシテハ、頗ル敬意ヲ表スルノデアリマス、併ナガラ賢明ナル所ノ諸君ハ、黨ニ忠勤ナルヨリ尙更國ニ忠勤ナルコトガ大事ト云フコトハ無論御承知デアリマセウ、又御承知無カラザルベカラザル事デアアル、然レバ此所デ御一考ナサレテ、斯ノ如ク憲政ヲ根本ヨリ破ル所ノ政治家ガ

アリマスナラハ、其政治家ガ自己ノ黨員デアラウト何デアラウト、國家ノ爲メニ忠勤ヲ勵マレテ、此案ニ贊成セラレシコトヲ希望致シマス(拍手起ル)

○議長(大岡育造君) 翠川鐵三君

(翠川鐵三君登壇)

○翠川鐵三君 諸君、私ハ演說ハ餘リ上手デモナイ、從ツテ好キデモナイノデ、常ニ諸君ノ御演說ヲ拜聴致スコトニ努メテ居リマス、併ナガラ此議會ノ開ケマシテ以來、議會内ノ風潮ニ鑑ミ、議場外ノ趨勢ニ鑑ミテ心竊ニ此惡風潮ハ如何ニシテ矯メ得ルカ、此惡氣運ハ如何ニシテ救フコトガ出来ルカト、衷心甚ダ憂ヘテ居リマシタノデアリマス、然ルニ本日内務大臣ノ彈劾案ガ出テ、而モ此提出者ヲ見マスルト最モ本員ノ平素敬愛致シテ居リマスル河野君廣中翁ノ名前ガ筆頭ニ書カレタル、誠ニ一驚ヲ喫シタ次第デアリマス、他ノ諸君ノ事柄ハ姑ク措キマシテ、河野廣中君ニシテ此案ニ署名セラレト云フニ至リマシテハ、一層國家ノ前途ニ寒心ヲ致シマシタ次第デアリマス、故ニ本員ハ黨ノ異同ニ依ッテ判斷致スベキ問題ニ非ズシテ、此問題ハ憲政將來ノ爲ニ、君國前途ノ爲ニ願クハ撤回アラント切望シテ已マナイノデアリマス(ノウウ)「ヒヤ」「ヒヤ」「ヒヤ」

言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、此ノ提案ハ暴民擁護ノ意味ヲ爲ス(ヒヤ)「ヒヤ」「ヒヤ」ト呼フ者アリ(暴政ヲ助成スル所ノ形ヲ爲スモノデアリマス(拍手起ル)言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ帝國存立ノ基礎ヲ危殆ナラシムル案件デアアルト斷言致シマス(拍手起ル)故ニ本件ハ帝國ノ爲ニ撤回セラレント望ム切ナリデアリマス(拍手起ル)第一ニ此案ヲ提出シテ内務大臣ノ引責ヲ求ムルト云フコトデアリマスルガ、果シテ此案中ニ眞ニ帝國ノ將來、憲政ノ前途ヲ思フ誠ガ潛シテ居ルカドウカ、本員之ヲ見マスルノニ秋毫ダニ同胞ヲ愛シ國家ヲ憂フル誠ハ、此提案中ニ潛シテ居ラザルモノナリト斷言致シマス(拍手起ル)諸君

ハ今日騷擾ニ際シテ此取締方ニ警察官ガ拔劔シタトカ、或ハ無辜ノ者ヲ捕縛シタト云フコトヲ最前ニ陳列シテ喋々セラレテ居ル(其ノ通リト呼フ者アリ)併ナガラ此顛末ノ關係如何ト云フコトハ、柏谷君ヨリモ縷々言ハレテ居リマスルカラ、本員再ビ之ヲ繰返ス必要ハゴザイマセウガ、二三ノ點ヲ數字ニ示シテ述ベ置ク必要アリト思フノデアリマス、警察官ノ此騷擾ニ於テ負傷致シマシタ者ガ百八人アル、警察署巡査派出所ハ破損セラレタモノガ十二箇所アル、民屋破損箇所ガ二十五箇所アル、電車ノ破損ヲセラレタモノガ六十四臺アル、斯ノ如キ暴狀ヲ極メ、而シテ此暴狀ノ爲ニ、或ハ引致セラレ、或ハ此衆團ノ中ニ於テ拘引セラレタ、是等ノ者ヲ以テ無辜ノ良民ヲ警察ガ橫暴ニ之ヲ連來ツタト云フガ如キ事ヲ以テ本建議ヲ出スハ、取モ直サズ暴民ヲ煽動スベキ、又暴民ニ加擔スベキ本案ナリト解シテ少シモ差支ハナイノデアアル(拍手起ル)又諸君ハ口ニ致シマスルヤ直ニ此比喩原頭ノ民論ハ如何ニ、國論ハ如何ニト云フコトヲ言ハレテ居ル、彼處ニ集ツタ者ハ如何ナル結果ヲ得タカト云フコト、唯今ノ如キ結果ヲ得テ居ルノデアリマス、之ヲ以テ國論ナリ、眞ノ民論ナリト云フガ如キニ至ツテハ、實ニ諸君ノ心事ノ存スル所ヲ解スルニ苦ムノデアリマス(拍手起ル)殊ニ唯今ノ展、御演說ヲ承ヘテ居リマスルノニ、新聞記者ガ云々ト云フコトヲ頻リニ叫バレテ居ル、所ガ現在騷擾罪及教唆煽動者トシテ送付セラレタ其被告人ノ職業ヲ見マスルト、對支聯合會員ガ四名、黑龍會員ガ二名、會社員ガ七名、新聞記者ガ二名アリマス、其他種類ヲ舉ゲタラハ澤山デゴザイマスガ、先ツ姑ク是ハ略シテ置キマスルガ、免ニ角此騷擾ノ事件ニハ新聞記者ハ必ズ忠良ナリト云フコトハ斷定ガ出来ナイ、(拍手起ル)斯ノ如キ騷擾ヲ長レ多クモ疊敷ノ下ニ於テ惹起シ、而シテ却テ之ガ取締ニ對スル警察官ヲ責ムルト云フガ如キニ至ツテハ、殆ド妄狀ノ極デアアル、當時警察官ノ苦心ハ如何デアリマス、三晝夜モ四晝夜モ殆ド寢食ヲ

アリマスナラハ、其政治家ガ自己ノ黨員デアラウト何デアラウト、國家ノ爲メニ忠勤ヲ勵マレテ、此案ニ贊成セラレシコトヲ希望致シマス(拍手起ル)

○議長(大岡育造君) 翠川鐵三君

(翠川鐵三君登壇)

○翠川鐵三君 諸君、私ハ演說ハ餘リ上手デモナイ、從ツテ好キデモナイノデ、常ニ諸君ノ御演說ヲ拜聴致スコトニ努メテ居リマス、併ナガラ此議會ノ開ケマシテ以來、議會内ノ風潮ニ鑑ミ、議場外ノ趨勢ニ鑑ミテ心竊ニ此惡風潮ハ如何ニシテ矯メ得ルカ、此惡氣運ハ如何ニシテ救フコトガ出来ルカト、衷心甚ダ憂ヘテ居リマシタノデアリマス、然ルニ本日内務大臣ノ彈劾案ガ出テ、而モ此提出者ヲ見マスルト最モ本員ノ平素敬愛致シテ居リマスル河野君廣中翁ノ名前ガ筆頭ニ書カレタル、誠ニ一驚ヲ喫シタ次第デアリマス、他ノ諸君ノ事柄ハ姑ク措キマシテ、河野廣中君ニシテ此案ニ署名セラレト云フニ至リマシテハ、一層國家ノ前途ニ寒心ヲ致シマシタ次第デアリマス、故ニ本員ハ黨ノ異同ニ依ッテ判斷致スベキ問題ニ非ズシテ、此問題ハ憲政將來ノ爲ニ、君國前途ノ爲ニ願クハ撤回アラント切望シテ已マナイノデアリマス(ノウウ)「ヒヤ」「ヒヤ」「ヒヤ」

言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、此ノ提案ハ暴民擁護ノ意味ヲ爲ス(ヒヤ)「ヒヤ」「ヒヤ」ト呼フ者アリ(暴政ヲ助成スル所ノ形ヲ爲スモノデアリマス(拍手起ル)言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ帝國存立ノ基礎ヲ危殆ナラシムル案件デアアルト斷言致シマス(拍手起ル)故ニ本件ハ帝國ノ爲ニ撤回セラレント望ム切ナリデアリマス(拍手起ル)第一ニ此案ヲ提出シテ内務大臣ノ引責ヲ求ムルト云フコトデアリマスルガ、果シテ此案中ニ眞ニ帝國ノ將來、憲政ノ前途ヲ思フ誠ガ潛シテ居ルカドウカ、本員之ヲ見マスルノニ秋毫ダニ同胞ヲ愛シ國家ヲ憂フル誠ハ、此提案中ニ潛シテ居ラザルモノナリト斷言致シマス(拍手起ル)諸君

ハ今日騷擾ニ際シテ此取締方ニ警察官ガ拔劔シタトカ、或ハ無辜ノ者ヲ捕縛シタト云フコトヲ最前ニ陳列シテ喋々セラレテ居ル(其ノ通リト呼フ者アリ)併ナガラ此顛末ノ關係如何ト云フコトハ、柏谷君ヨリモ縷々言ハレテ居リマスルカラ、本員再ビ之ヲ繰返ス必要ハゴザイマセウガ、二三ノ點ヲ數字ニ示シテ述ベ置ク必要アリト思フノデアリマス、警察官ノ此騷擾ニ於テ負傷致シマシタ者ガ百八人アル、警察署巡査派出所ハ破損セラレタモノガ十二箇所アル、民屋破損箇所ガ二十五箇所アル、電車ノ破損ヲセラレタモノガ六十四臺アル、斯ノ如キ暴狀ヲ極メ、而シテ此暴狀ノ爲ニ、或ハ引致セラレ、或ハ此衆團ノ中ニ於テ拘引セラレタ、是等ノ者ヲ以テ無辜ノ良民ヲ警察ガ橫暴ニ之ヲ連來ツタト云フガ如キ事ヲ以テ本建議ヲ出スハ、取モ直サズ暴民ヲ煽動スベキ、又暴民ニ加擔スベキ本案ナリト解シテ少シモ差支ハナイノデアアル(拍手起ル)又諸君ハ口ニ致シマスルヤ直ニ此比喩原頭ノ民論ハ如何ニ、國論ハ如何ニト云フコトヲ言ハレテ居ル、彼處ニ集ツタ者ハ如何ナル結果ヲ得タカト云フコト、唯今ノ如キ結果ヲ得テ居ルノデアリマス、之ヲ以テ國論ナリ、眞ノ民論ナリト云フガ如キニ至ツテハ、實ニ諸君ノ心事ノ存スル所ヲ解スルニ苦ムノデアリマス(拍手起ル)殊ニ唯今ノ展、御演說ヲ承ヘテ居リマスルノニ、新聞記者ガ云々ト云フコトヲ頻リニ叫バレテ居ル、所ガ現在騷擾罪及教唆煽動者トシテ送付セラレタ其被告人ノ職業ヲ見マスルト、對支聯合會員ガ四名、黑龍會員ガ二名、會社員ガ七名、新聞記者ガ二名アリマス、其他種類ヲ舉ゲタラハ澤山デゴザイマスガ、先ツ姑ク是ハ略シテ置キマスルガ、免ニ角此騷擾ノ事件ニハ新聞記者ハ必ズ忠良ナリト云フコトハ斷定ガ出来ナイ、(拍手起ル)斯ノ如キ騷擾ヲ長レ多クモ疊敷ノ下ニ於テ惹起シ、而シテ却テ之ガ取締ニ對スル警察官ヲ責ムルト云フガ如キニ至ツテハ、殆ド妄狀ノ極デアアル、當時警察官ノ苦心ハ如何デアリマス、三晝夜モ四晝夜モ殆ド寢食ヲ

アリマスナラハ、其政治家ガ自己ノ黨員デアラウト何デアラウト、國家ノ爲メニ忠勤ヲ勵マレテ、此案ニ贊成セラレシコトヲ希望致シマス(拍手起ル)

○議長(大岡育造君) 翠川鐵三君

(翠川鐵三君登壇)

○翠川鐵三君 諸君、私ハ演說ハ餘リ上手デモナイ、從ツテ好キデモナイノデ、常ニ諸君ノ御演說ヲ拜聴致スコトニ努メテ居リマス、併ナガラ此議會ノ開ケマシテ以來、議會内ノ風潮ニ鑑ミ、議場外ノ趨勢ニ鑑ミテ心竊ニ此惡風潮ハ如何ニシテ矯メ得ルカ、此惡氣運ハ如何ニシテ救フコトガ出来ルカト、衷心甚ダ憂ヘテ居リマシタノデアリマス、然ルニ本日内務大臣ノ彈劾案ガ出テ、而モ此提出者ヲ見マスルト最モ本員ノ平素敬愛致シテ居リマスル河野君廣中翁ノ名前ガ筆頭ニ書カレタル、誠ニ一驚ヲ喫シタ次第デアリマス、他ノ諸君ノ事柄ハ姑ク措キマシテ、河野廣中君ニシテ此案ニ署名セラレト云フニ至リマシテハ、一層國家ノ前途ニ寒心ヲ致シマシタ次第デアリマス、故ニ本員ハ黨ノ異同ニ依ッテ判斷致スベキ問題ニ非ズシテ、此問題ハ憲政將來ノ爲ニ、君國前途ノ爲ニ願クハ撤回アラント切望シテ已マナイノデアリマス(ノウウ)「ヒヤ」「ヒヤ」「ヒヤ」

言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、此ノ提案ハ暴民擁護ノ意味ヲ爲ス(ヒヤ)「ヒヤ」「ヒヤ」ト呼フ者アリ(暴政ヲ助成スル所ノ形ヲ爲スモノデアリマス(拍手起ル)言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ帝國存立ノ基礎ヲ危殆ナラシムル案件デアアルト斷言致シマス(拍手起ル)故ニ本件ハ帝國ノ爲ニ撤回セラレント望ム切ナリデアリマス(拍手起ル)第一ニ此案ヲ提出シテ内務大臣ノ引責ヲ求ムルト云フコトデアリマスルガ、果シテ此案中ニ眞ニ帝國ノ將來、憲政ノ前途ヲ思フ誠ガ潛シテ居ルカドウカ、本員之ヲ見マスルノニ秋毫ダニ同胞ヲ愛シ國家ヲ憂フル誠ハ、此提案中ニ潛シテ居ラザルモノナリト斷言致シマス(拍手起ル)諸君

ハ今日騷擾ニ際シテ此取締方ニ警察官ガ拔劔シタトカ、或ハ無辜ノ者ヲ捕縛シタト云フコトヲ最前ニ陳列シテ喋々セラレテ居ル(其ノ通リト呼フ者アリ)併ナガラ此顛末ノ關係如何ト云フコトハ、柏谷君ヨリモ縷々言ハレテ居リマスルカラ、本員再ビ之ヲ繰返ス必要ハゴザイマセウガ、二三ノ點ヲ數字ニ示シテ述ベ置ク必要アリト思フノデアリマス、警察官ノ此騷擾ニ於テ負傷致シマシタ者ガ百八人アル、警察署巡査派出所ハ破損セラレタモノガ十二箇所アル、民屋破損箇所ガ二十五箇所アル、電車ノ破損ヲセラレタモノガ六十四臺アル、斯ノ如キ暴狀ヲ極メ、而シテ此暴狀ノ爲ニ、或ハ引致セラレ、或ハ此衆團ノ中ニ於テ拘引セラレタ、是等ノ者ヲ以テ無辜ノ良民ヲ警察ガ橫暴ニ之ヲ連來ツタト云フガ如キ事ヲ以テ本建議ヲ出スハ、取モ直サズ暴民ヲ煽動スベキ、又暴民ニ加擔スベキ本案ナリト解シテ少シモ差支ハナイノデアアル(拍手起ル)又諸君ハ口ニ致シマスルヤ直ニ此比喩原頭ノ民論ハ如何ニ、國論ハ如何ニト云フコトヲ言ハレテ居ル、彼處ニ集ツタ者ハ如何ナル結果ヲ得タカト云フコト、唯今ノ如キ結果ヲ得テ居ルノデアリマス、之ヲ以テ國論ナリ、眞ノ民論ナリト云フガ如キニ至ツテハ、實ニ諸君ノ心事ノ存スル所ヲ解スルニ苦ムノデアリマス(拍手起ル)殊ニ唯今ノ展、御演說ヲ承ヘテ居リマスルノニ、新聞記者ガ云々ト云フコトヲ頻リニ叫バレテ居ル、所ガ現在騷擾罪及教唆煽動者トシテ送付セラレタ其被告人ノ職業ヲ見マスルト、對支聯合會員ガ四名、黑龍會員ガ二名、會社員ガ七名、新聞記者ガ二名アリマス、其他種類ヲ舉ゲタラハ澤山デゴザイマスガ、先ツ姑ク是ハ略シテ置キマスルガ、免ニ角此騷擾ノ事件ニハ新聞記者ハ必ズ忠良ナリト云フコトハ斷定ガ出来ナイ、(拍手起ル)斯ノ如キ騷擾ヲ長レ多クモ疊敷ノ下ニ於テ惹起シ、而シテ却テ之ガ取締ニ對スル警察官ヲ責ムルト云フガ如キニ至ツテハ、殆ド妄狀ノ極デアアル、當時警察官ノ苦心ハ如何デアリマス、三晝夜モ四晝夜モ殆ド寢食ヲ

忘レ、身體縮小如クニシテ此取締ノ爲ニ苦心ヲ致シテ居ルデハナキカ、苟モ血アリ涙アル者ナラハ是等ニ向テハ相當ノ謝意ヲ表スルト同時ニ、當然同情スベキガ日本國民ノ性質デアル(拍手起ル)然ルニ一部ノ事柄ヲ捉ヘ、警察官ニ責任アリ、内務大臣此責ヲ引クベシト迫ルニ至ッテハ、其不謹慎驚クニ勝タル次第アリマス、諸君畏レ多クモ内大臣ハ(内務大臣)「呼フ者アリ」内務大臣ハ申ス迄モナク、陛下ノ御信任ニ依テ帝國ノ政務ヲ執ルモノデアル、此政務ヲ執ルトコロノ閣臣ニ向ッテ、引責ヲ求ムルト云ハニハ須ク確ナル明白ナル證據ト事實ヲ無クテハナラヌデアル、(ヒヤノ)「證據アリ」ト呼フ者アリ然ルニ諸君ノ言フ所ハ何デアル、第一根本ニ於テ此提出案其モノガ誠意ヲ缺イテ居ル、苟モ斯ノ如キ問題ヲ論斷スルニ當ッテハ、ナセ此提案ノ署名者ガ一人モ演壇ニ立テナイノデアル(拍手起ル)此點ニ於テ誠意ヲ缺キタルコトハ明カデアルト同時ニ、此騷擾ヲ惹起シタルコロノ者ヲ以テ善良ノ人デアル、良民デアルト云フニ至ッテハ殆ド諸君ノ此案ヲ提出シタル趣旨ノ存スル所ヲ知ルニ苦ムノデアル、若シ之ヲ政權爭奪ノ具ニ供セントスルナラバ、抑ハ拙ノ拙ナルモノデアル(拍手起ル)諸君ガ此議會ニ於ケル總テノ問題ニ付テ、議論ヲセラルトコロノ態度及其論旨ニ付テハ、本員甚ダ常ニ帝國ノ爲ニ憂慮ヲ致シテ居ル者デアル、本案蓋シ此軌道ヲ逸シナイトコロノモノデアラウト思フ(「ノウノ」)「呼フ者アリ」例ヘバ其總テニ誠意ヲ缺イテ居ルト云フ一ツノ例ヲ舉ゲテ申シマスレバ、島田君ガ總理大臣ニ對シテ、帝國有事ノ時ニハ之ニ對スル實力有リヤ否ヤト云フ質問是ナリ、是等ヲ數ヘ來リ舉ゲ來レバ一モ誠意ヲ本トシテ居ルトコロノ提案ナインデアリマス、故ニ此問題ノ如キハ先程小河源一君ヨリ種々細カク御話ガアタマカ、斯ノ如キ細カク裁判的ノ議論ニ依テ是ハ決スベキ問題デハナイ、根本ニ於テ此問題ハ事實ナリヤ否ヤト云フニ、事實デナイコトハ明デアルガ、斯ノ如キ問題ヲ以テ責ヲ閣臣ニ歸セントスルト云フコトハ抑ハ非立憲的デアル、況ヤ其爲ストコロ總テ斯ノ如キデアリマス、本員ハ多クハ論ジマセヌ(「何ガ斯ノ如ク」)「呼フ者アリ」事態此暴動ニ關スル事柄デアリマスガ故ニ、他ノ種々ナル方面ニ依テ本件ニ對スル詳細ノ事實ハ能ク知レ渡ッテ居ルコトデアル、故ニ多クハ申シマセヌガ、唯今提案ノ理由ノ御説明ヲ承リ、又是ガ贊成演説ノ理由ヲ承ルノニ、一モ據所ガナク、唯一個人ノ言葉ニ聞クトカ、若クハ一私人ノ陳述若クハ傳聞證據ニ依テ閣臣ヲ進退ヲ決セヨト迫ルト云フコトニ歸著スルノデアル、由來斯ノ如キ事ハ帝國憲政ヲ治ノ將來ニ對シマシテ、又議會ガ自カラスノ如キ案件ヲ提ケテ閣臣ニ辭職ヲ迫ルトカ、引責ヲ求メルトカ云フコトハ、偶ハ以テ議員自ラガ議院ヲ輕シズル所以デアル、若シ眞面目斯ノ如キ事ヲ實行致シマシタラバ、帝國議會ノ威信ハ何ニ依テ維持スルコトガ出來ルナル御考ニナッテ居ルカ、是レ故ニ本員ハ此議案ハ衷心十分ニ御反省アッテ、御撤回ニナルガ然ルベキ案件デアラウト思フ、若シ頑トシテ撤回セラレザレバ、大多數ヲ以テ君國ノ爲ニ速ニ否決セラレンコトヲ望ム(拍手起ル)

○議長(大岡育造君) 菊池武徳君

○菊池武徳君 本員ハ茲ニ立憲政友會ノ首領タル原内務大臣ニ對シテ、引退ヲ要求スルノ已ムヲ得ザルニ至ッタコトヲ遺憾トスルノデアリマス、殊ニ此問題ハ既ニ政友會ノ部内ニ於テ起ルベキ管デアルモノヲ

○議長(大岡育造君) 靜肅ニ願ヒマス

○菊池武徳君 却テ黨外ノ吾々ヨリシテ此聲ヲ發セシムルニ至ッタト云フコトヲ遺憾トスルノデアリマス、先刻來既ニ委細ノ問答贊否ノ議論ハ承リマシタガ、唯今翠川君ノ御

説ニ依テ稍、其議論ノ精神ニ觸レタ、即チ此處ハ裁判所デハナイ、原内務大臣ハ陛下ノ信任セラレタル大臣デアル、是等ノ御言葉ハ流石ニ翠川君ノ著眼トシテ吾々モ大ニ同意スル所デアリマス、私モ亦此點ニ於テ已ムヲ得ズ一言セネバナラヌコトニナッタデアリマス、過日都下ニ於テ國民ノ示威運動ノタメニ騷擾ヲ醸シタ、此騷擾ノ場合ニ成ベク法律規則ニ觸レシメザルヤウニ取締ヲ爲スコトハ困難ナルコトハ、吾々モ諒察スルデアリマス、唯其御苦心ノ程ハ十分ニ諒察致シマスケレドモ、吾々ハ裁判的デナク政治的ニ之ヲ考ヘテ見マスルト云フト、此取締ヲ爲シタルコロノ原内務大臣ハ、其精神ニ於テ第一著ヲ誤リ、其手段ニ於テ第二著ヲ誤ッタト私ハ論斷セナケレバナラヌデアリマス、此精神ニ於テ誤ッタト申スノハ今回ノ國民的運動ガ何ノ必要アッテ起ッタノデアルカ、是ヲ内務大臣ガ如何ハ御觀察サツタノデアルカ、此觀察ガ一番必要ナ論點デアルト思フデアリマス、私ハ此問題ハ御承知ノ通り此海軍部内ニ於テ腐敗ノ事件ガアル、是ハ多年來ノ宿題デアリマシテ、此海軍ハ薩摩ノ根據地デアル、此惡弊ヲ如何ニシテ一掃スベキカト云フコトハ、言フマデモナク多年國民ノ胸ニ懷イテ居ッタコロデアル、其問題ガ偶「リヒテル」事件ノタメニ導火線ヲ與ヘラレテ、世ノ中ニ爆發スルニ至ッタノデアル、故ニ此事タルヤ薩摩ノ根據地タル海軍ノ惡弊ヲ一掃シヤウト云フ、多年來ノ國民ノ公憤ガ勃發シタルデアリマシテ、必ズ起ルノ日ニ起ッタコロノ騷動デアイト云フコトハ、何人モ異議ナイトコロデアアラウト思ヒマス、此由來ハ餘程遠クシテ且ツ深イモノデアルト云フコトハ私ノ申スマデモナイ御同意デアラウト思フ、之ヲ強イテ一時的ノ或ル野心家ガ煽動シタト云ヒ、或ハ又世間デ申スニ、昨年ノヤウニ一度昨年ノ癡ガ附イテ居ル、今年モ亦例ノ騷動ヲ以テ何事ヲカ爲サントスルヤウニ論告スル人モアルノデアリマス、併シ是ハ此點モ公平ニ考ヘテ見マスレバ、昨年長閑ガ自ラノヤウナル惡事ヲ爲シテ自滅ヲ招イダ、今年薩摩ガ又天ノ制裁ヲ受ケテ遂ニ今日ノ大問題ヲ惹起シタルコトハ、是ハ歴史上ニ於ケル稀ニ見ルトコロノ稀有ノ事變デアリマス、唯昨今ト今年ト引續イテ此稀有ナル大事變ガ起ッタガ爲ニ、恰モ冷眼ニ之ヲ觀ルトキハ昨年ノ癡ガ附イテ又今年モ騷動ト云フヤウニ一概ニ言フ者モアリマスケレドモ、斯ウ云フ事實ガ昨今ト今年ト引續イテ出タノデアリマス、此事變ハ決シテ大事變デナイトハ言ヘナイノデアル(問題外)「呼フ者アリ」是ガ問題、此問題ヲ問題外トスルト論點ガ甚ダ散漫ニナッテ來テ、裁判的ニ流レノデアリマス、故ニ私ハ決シテ斯ノ如キ國民ノ運動ハ暴民ノ暴動デナイト、暴民ノ暴動デナイト云フコトデハ御承知ヲ願ヒタイノデアル、若シ是ガ尙ホ御了解ニナラズシテ、飽マデモ暴民デアルト考ヘルナラバ、ソレハ何ヲ論點トスルカ、ソマリ其群衆ノ中ニハ下等ノ人民ガ多カッタカラ、是ハ暴民ノ暴動デアルト云フコトヲ云フ人モアリマスケレドモ、私ハ眞正ノ國民性ハ寧ロ下等社會、下流社會ニ於テ其高潔ナル分子ヲ留メテ居ルト信ズルノデアリマス、私ハ此國民的運動ト云フコトハ決シテ惡イコトデハナイ、コナ稀有ノ大事變ニ際シテ必ズ發動シナケレバナラヌモノデアルト云フコトヲ私ハ主張スル者デアリマス、若シ此今年ノ國民ノ示威運動ニ對シテ、之ヲ暴民ノ暴動デアルト云フナラバ、昨年ノ行動モヤハリ暴民ノ暴動ト云ハナケレバナラヌ、吾々ハ昨年ノ行動ハ決シテ暴民ノ暴動デ無カッタト云フコトヲ、政友會ノ諸君ト共ニ飽迄モ主張スルノデアリマス、是ハ御同感デアラウト思フ、(同感)「呼フ者アリ」然ラバ昨年ニ於テ是認シタル所ノ國民ノ示威運動ガ、今年ニ於テ現レテ居ッタ場合ニ、是ガ暴民ノ暴動ニ變ハルト云フコトハ是ハドウ云フ譯デアルカ、ドウシテモ論理ノ徹底セザルトコロデアル(拍手起ル)故ニ昨年ノ事タルヤ國民ニ責任無クシテ長閑ニ責任ガ有ッタノデアル

(此時私語スル者多シ)

○議長(大岡育造君) 靜肅ニ

○菊池武徳君 今年モ亦薩關責任ガアツテ國民ニ責任ガ無イト云フコトハ、論理ノ當然デアリマス、サウシテ見ルト此場合ニ於テ又山本内閣ナルモノハ詳ニ其事件ノ真相ヲ觀破シテ、引退スルノ唯一途アルノミデアツテ、是ガ其地位ヲ維持セシガためニ、國民ノ反抗ヲ無理ニ抑壓スルト云フ場合ニナルト云フト、抑壓スル方ガ惡イコトニナルデアリマス、其原因ヲ逆マニシテ強イテ暴民政治ナリトシテ之ヲ抑壓スルト云フノハ何ノためデアルカ、是ハ私ハ一番了解ニ苦ムデアリマス、原内務大臣ハ斯ノ如キ腐敗セル——内閣腐敗ノ論告ヲ受ケテ居ル所ノ山本内閣ヲ、官權ヲ濫用シテマデモ鎮壓ヲ試ミナケレバナラス、維持シナケレバナラスト云フノハ如何ナル理由デアルカ、是ハ恐ラクハ政友會諸君ニ於テモ必ズ御考ニナタメ問題デアラウト私ハ思フデアリマス(拍手起ル)若シサウデナクシテ飽マデモ無理無體ニ之ヲ抑壓シテシマフト云フナラバ、原内務大臣ノ精神ト云フモノハ、全ク專制的官僚的デアツテ、吾ハ殆ド今日マデ信シテ居タル所トハ全然反對ノ人デアルト云フコトヲ言ハナケレバナラスコトニナルデアリマス(聽ヘマセヌ)サウシテ何デカ分リマセヌト呼フ者アリ)故ニ原内務大臣ガ果シテ憲政ノ前途ヲ思フナラバ、國民ト意思ヲ共ニシテ斯ノ如ク腐敗セル山本内閣ヲ擁護セントハセズシテ、之ニ引退セシムルヤウナ方法ヲ取ルノガ當リ前デアル、之ヲ保護セントシタナラバ、全ク國民ニ對シテ殆ド官民ノ間ニ大ナル溝渠ヲ設ケテ、益々阻隔セシメントスルトコロノ行動デアルト言ハナケレバナラスデアリマス、私ハ此點ニ於テ今日ノ事件トシテ現ハレタルコロノモノヨリカモ、其事件ヲ喚起スニ至ッタコロノ原内務大臣ノ精神ト云フモノガ、此間責ト云フコトニ初メテ力アルデアリマスシテ、彼ノ一場ノ事件ヲ以テ直チニ大臣ノ責任ヲ論ズルト云フコトハ少シク輕キニ過ギルデアル、私ハ斷斷テ内務大臣ノ精神ガ果シテ吾人ト同ジヤウニ、憲政ノ完備ヲ計ルノ目的デアルトスルナラバ、私ハ少々ノ間違ガアツテモ之ヲ看過スルデアリマス(責任論ヲ去ルト遠シト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 靜肅ニ

○菊池武徳君 其精神ニ於テ吾ハ原内務大臣ノ茲ニ明言セラレシコトヲ希望スルノデアリマス(分ラナイト呼フ者アリ)今日原内務大臣ガ斯ノ如キ内閣ヲ無理ニ助ケンシ、無理ニ助ケンタル結果國民ニ對シテモ亦無理ナル抑壓ヲシヤウト云フコトガ、是ガ即チ今日ノ事件ノ真相デアルデアリマスシテ、原内務大臣一人ノ心ニ依テ、立憲政治ガ光ヲ放ツカ暗クナルカト云フコトノ大切ナル場合ニ、原内務大臣ガ御心得違ガアルト云フコトハ如何ニモ残念、又原内務大臣ニ一任シテ置イテ——全部ヲ舉ゲテ總務ニ一任シタトコロノ政友會諸君ガドウニテ御考デアルカ、甚ダ了解ニ苦ムデアリマス、私ノ言フコトヲ以テ諸君ハ必ズ脱線シタ如ク問題外ノ如ク思フデアリマセウ、ケレドモ決シテサウデハナイ、此點ガ大事デアル、ドウシテモ今日ノ問題ハ政黨ノ勢力ヲ維持スル、或ハ政權ヲ取ルトカ云フコトガ多クノ人ノ腦髓ノ過半ヲ埋メテ居ルデアリマス、此思想ヲ一掃シテ眞ニ國家ノ爲ニ取ルベキ所ヲ取ツタナラバ、初メテ我輩ノ言フコトガ理解セラル、モノデアラウト思フデアル、私ハ却テ自己ノ非ヲ徹ハンガ爲ニ罪ヲ國民ノ行動ニ嫁スルト云フ此問題ガ頗ル非立憲デアル、其非立憲ナルコトヲ總テ一任セラレタル所ノ原内務大臣ガ、強イテ斷行シタト云フコトニ就テハ、如何ニシテモ其責任ヲ問ハナケレバナラスト云フ論結ガ茲ニ初メテ出テ來ルデアリマス(論據薄弱ト呼フ者アリ)是デ此内務大臣ノ精神ト云フモノハ如何ニモ責任ヲ問ハレルニ價スルト云フコトハ、御了解デアラウト思ヒマスガ、

第二ノ其手段ヲ誤ツタト云フコトノ點ニ於テハ、先刻來屢々辯論ノアツタ所デアリマス、私ハ此手段ニ就テハ餘リ多ク言フコトヲ好マヌデアリマスケレドモ、此際ニ私ハ自邸ニ護衛ヲ置イタト云フコトノ事實、原内務大臣ガ否認シテ居リマスケレドモ、此護衛ニ就テハ原内務大臣ノ知ラヌ間ニイロ／＼ナ護衛ガ附イテ居ッタト云フコトハ事實證明サレテ居リマス、サウシテ殊ニ此ノ議院内ニ至ルマデモ護衛ノ巡查ヲ附シテ來テ居ルト云フコトガ、是亦確カナル證據モアルデアリマスガ、私ハ立憲政治下ノ内務大臣ハ、縱令如何ナル危難ニ逢ツテモ仕方ガナイ(笑聲起ル)是ハ仕方ガナイ、私ハ何處マデモ公明ナル政治ヲ執ツテ、斯ノ如キ危難ヲ加フル者ハ世ノ中ニ無イト云フコトヲ確信スルトコロノ大確信ガ無ケレバ内務大臣ノ椅子ニ坐ツテ居ルベキモノデナイト信ズルデアリマス、モウ一ツハ先程小河若ヨリ出兵ノコトヲ言ヒマシタガ、此出兵ノ事モ、是ハ原内務大臣モ亦其責任ヲ免ル、コトガ出來ヌデアリマス、其出來ヌトハドウ云フコトカト云フト、朝廷ト國民ノ間ニ大ナル阻隔ヲ來スト云フコトガ、私ハ憲政ノ爲ニ一番憂トスルトコロデアリマスカラ、此意味ニ於テ困ルデアリマス、若モ昨年ノ政變ノ際ニ於テ、桂内閣ガ陸軍ノ兵ヲ今日ノ如ク出シタトシタナラバ、諸君ハ何ト言フデアリマセウ、一個師團問題ノ爲ニ非常ナ激怒ヲ起スニ違ヒナイ、又今年ノ場合ニ於テ陸軍ノ衛戍兵ニアラズシテ海軍ノ兵ガ上陸シ來タトシタラドウスルカ、是ハ容易ナラヌ國民ノ反感ヲ招クデアリマセウ、戰爭以來國民ト軍隊トノ間ニ大ナル親和力ヲ保ツテ來タノガ、斯ノ如キ場合ニ於テ無理ナル抑壓手段ノ爲ニ、兵隊ヲ國民ノ前ニ曝スト云フコト、其事ガ既ニ憲政ノ爲ニ憂ヘナケレバナラス事柄デアルデアリマス、此點ニ於テ内務大臣ハ御氣ガ附カレヌデアルカ(御氣ガ附カレタト呼フ者アリ)附カレタナラバ斯ノ如キコトヲ爲サラヌガ宜シイデアル、ドウシテモ諸君ハ飽マデモ原内務大臣ノ行動ヲ辯護スルデアリマスケレドモ、内務大臣ノ精神ハ確ニ私ハ強イテ惡評ヲ好ムデアリナイ、常ニ尊敬ヲ拂フ居ルデアリマスケレドモ、昨今確ニ惡魔ニ魅ラレテ居ルト私ハ思フデアリマス(笑聲起ル)

○議長(大岡育造君) 靜肅ニ

○菊池武徳君 笑聲デハナイ、今ハ政友會ニ於テ松田元老既ニ病ミ、原内務大臣一人殘ツテ居ル、此大臣ガ多數黨ヲ率ヘテ居ッテ、大ニ憲政ノ爲ニ盡スベキ場合ニ於テ、斯ノ如ク惡魔ニ魅ラレタト云フコトハ如何ニモ私ハ遺憾デアル、モウ一ツ私ハ原内務大臣ニ向ッテ、大臣トシテドウシテモ遺憾ナカラ引退ヲ言ハナケレバナラスト云フノハ、内務大臣ハ今年ノ御即位式ニ於ケル大禮使長官デアルデアリマス、是ハ私ハ餘程考ヲ要スルトデアラウト思フデアリマス、斯ノ如キ大典ニ際シテハ臣子ノ道トシテ些ノ不祥不吉ノ事ガアツテモ、自ラ其身ヲ遠慮シテ謹慎ヲ表スルト云フコトガ臣子ノ禮デアリマス(拍手起ル)ノウウト呼フ者アリ)今日ハ確ニ原内務大臣ハ無理ナル抑壓ノ手段ヲ執ツタガためニ、國民ノ怒ヲ買ウテ居リマス、(ノウウ／＼ト呼フ者アリ)確ニ買ウテ居リマス、先キ三桂公ガ内大臣侍從長トナツタ時ニ諸君ハ何ト言ハレタ、彼ノ如キ——彼桂ノ如キ國民ノ怒ヲ買ウテ居ルトコロノ者ガ、君側ニ常侍シテ行幸行啓ニモ御供ヲスルガ如キハ不謹慎ノ至リデアル、臣子ノ禮ニ於テ謹慎ヲ缺クモノデアルトシテ、是ガ桂公ニ對スル主モナル非難トナリマシタ、吾モ非難シタノデアリマス、然ラバ今日ノ如ク原内務大臣ガ無理ナル抑壓ノためニ國民ノ怒ヲ買ウタト云フナラバ、桂公ノ例ニ願ミテモ此大禮使長官タルコトヲ御辭退申サナケレバナラス、強テ恬然トシテ其職ニ在ルト云フナラバ、日本ノ臣子タル者ノ道ニ背クモノデアルト私ハ考ヘルデアリマス(拍手起ル)モウ止メ給ヘト呼フ者アリ)私ハ願クハ原内務大臣ヲシテ斯カル臣子ノ道、立憲大臣ノ態度、斯ノ如キ政治的ノ意

味ニ於テ此場合ニ於テ引責セラレルト云フコトハ、原内務大臣ノ公的生涯ノ益、長カラシムル所以デアアル(「ノウ、」ト呼フ者アリ)今日強テ吾々ノ言フコトニ從ハナケレバ、是ハ甚ダ悲ムベキ結果ニ終ルモノト信ズルノデアリマス(拍手起ル)私ハ此事ヲ言フニ當ッテ確カニ第四議會ノ頃デアッタト思ヒマスガ、時ノ總理大臣伊藤伯ガ、今日ノ如ク衆議院ニ於テ彈劾セラレ、何故ニ處決セザルヤ、何故ニ所信ヲ明言セザルヤト喧々囂々ト迫マラレタルトキニ、伯ガ此壇ニ進ミツ、博文不肖ナレドモ大臣進退ノ儀ヲ思ウテ既ニ辭表ヲ奉ッテ今ヤ聖鑑ヲ待ッテ居ルノデアル、此騷動ハ何事デアアルカト叱咤シタノデアリマス、其時ノ伊藤公ノ態度ハ誠ニ立派ナモノデアリマシテ、サシモニ沸騰シタル議論モ水ヲ打ッタル如ク公ノ態度ニ對シテ敬意ヲ拂ッタノデアリマス、私ハ其時ニ傍聽席ニ在ッテ笑聲起ル)親シク其形勢ヲ觀テ居ッタノデアリマス、誠ニ立派ナ態度、ソレ以來私ハ伊藤公ニ對シテ心竊ニ敬慕ノ情ヲ傾ケタノデアリマス(ソレト是トハ違フ)ト呼フ者アリ)故ニ私ハ願クハ原大臣モ、立憲大臣ノ大義ト云フコトニ省ミテ、伊藤公ノ例ヲ追ウテ此場合進退ノ儀ヲ明言セラレタナラバ、吾々ノ目的ガ誠ニ是ニ於テ立ツノデアリマス(笑聲拍手起ル)「本懷ダラウ」ト呼フ者アリ)若シモ此場合ニ於テ此伊藤公ノ如ク其辭意ヲ明言セラレタナラバ、内務大臣ノ態度ハ伊藤公ト少シモ變ルコトナクシテ「ナカ、」ト呼フ者アリ笑聲起ル)私ハ是ガ明日トナルト既ニ手遅レニナリマスカラ、此場合ニ於テ公ノ態度ニ倣ッテ斷然本案ニ服従スルト云フコトヲ、御明言アラムコトヲ誠心ヲ披瀝シテ希望スルノデアリマス(拍手起ル)

○議長(大岡育造君) 板倉中君

〔板倉中君登壇〕

〔拍手起〕

○板倉中君 本問題ニ付キマシテハ、既に數多ノ論者ガ細論シ盡シマシテ餘蘊ナシト考ヘマス(「オ止メナサイ」ト呼フ者アリ)然ルニ唯今菊池武徳君ガ此處ニ上ラレマシテ、大分脱線シタル御論議ガアツタノデアリマス、併ナガラ氏ノ明辯ヲ以テ遂ニ原内務大臣ニ肉迫セラル、マデニ至リマシタノデゴザイマスルカラシテ、其妄ヲ一一辯ジマス、又前ニ我黨ノ諸氏ガ論ジ殘サレマシタ主要ナル點ニ付テ一二ノ辯明ヲ加ヘテ、サウシテ止メヤウト思ヒマス、簡單ニ要ヲ述ベヤウト思ヒマス、菊池君ハ今回ノ騷擾事件ヲ昨年ノ騷擾ト同ヤク國民公憤ノ致ストコロノ結果デアル(「ヒヤノ」ト呼フ者アリ)斯ク申サレマシタ、若シモ假ニ君ニ一步ヲ譲リマシテ公憤ノ結果、暴動ガ起リマシタト假定メマシタ場合ニ於テ、即チ昨年ノ場合ヲマルツキリ之ヲ採用致シマシタト假定メマシタ場合ニ於テ、結果ガ人ヲ傷ケ、家ヲ燒キ、電車ヲ破リ、或ハ衆議員ノ議員ガ其議院ニ出入スルノヲ途中ニ要撃シテ車ヲ顛覆シテ、之ヲ傷ケ、一黨ノ首領タル河野大石武富等ノ諸君ハ、表門ヲ出アルコトガ出來ナクシテ裏門カラコソノ出ラレタト云フヤウナ事柄マデモ保護セズニ、暴民ノ爲スニ任カセテ置クガ相當デアルト言ハレルノデゴザイマスルカ(拍手起ル)昨年ノ事ハ本年ノコトトハ全ク其性質ヲ別ニシ、其基因ヲ異ニスルトハ雖モ、殊ニ昨年ニアツデモ其事ガ若シ内務ノ當局ニ在ル者ガ之ヲ抛ジテ居タナラバ、緩慢ナリ不都合ナリト非難セント欲スルノデアリマス、既に昨年私ガ——本員ガ此議院ヲ退出シヤウトシマスル時分ニ、今島田君ト武富君トガ裏門カラコソノ道ケルヤウニ歸タト言ウテ嗤フ人ガアリマスカラ、私ハ手ニシタルトコロノ書冊ヲ地上ニ抛ジテ憤慨シタノデアリマス、彼ノ人ミハ本院ノ主モナル「マンブル」デアル、アノ人ミガ正門ヲ出ツルコトガ出來ナイマデニナツタノヲ、何故ニ公力ヲ以テ此暴民ヲ退ケナイモノデアラウカト、斯クマデニ言ウテ、却ジテ憤

激致シテ居リマシタ、同志ノタメニ非難セラレタ位デアリマス、併ナガラ私ノ言ハ決シテ非
デハナイト思フノデアル、本年ニ於テモ亦サウデア、吾々ノ退出セントスル場合ニ於テ「簡
單」ト呼フ者アリ）私ハ一日デモ掛リマス——私ハ議院ヲ退イテ左ニ曲リ、サウシテ（「右
ニ曲リ」ト呼フ者アリ笑聲起ル）中央新聞ノ鄰ニ居ラ占メテ居リマスル故ニ、之ニ入ラン
トシタノデアリマス、然ルニ警察官ハ曰ク今左ノ方ニ御曲リニナツテハ君ヲ保護スルコトガ
出來ナイト、是レ果シテ何故デアルカ、苟モ予ガ其家宅ヨリ議院ニ通行スル此道路ヲ遮
ル者アラバ、予ハ此手ニセルトコロノ仕込杖ヲ以テ片ッ端カラ斬薙グルモ差支ナイト云フコ
トヲ放言シタノデアリマス、然レドモ警察官ハ無理ニ貴族院ノ前ヨリシテ私ヲ擁シテ櫻田
町ノ方、即チ新シ橋ノ方面ニ赴カシメタノデアリマス、此時分ニ私ハ非常ニ昨年島田君等
ノ表門ヲ出入スルコト能ハザリシヲ追懷致シタルト同時ニ、事身ニ適切ナルガ故ニ非常
ニ憤慨致シタノデアリマス、議會ノ——議員ガ議院ノ門ヲ出入スルコトサヘモ妨害ヲスル
ノヲ、ツレヲ抛ッテ置イテ良イト云フ譯ニ行キマス、議院ノ鐵門ヲ打破ルホドノ暴行者
ガアルノニ、之ヲ如何ニスレバ宜シイノデアリマス、警察官ヲ擧ケテ力ヲ盡シテ、近縣ノ警
察官マデ頼ミ來ッテ之ヲ防ガナケレバ防ギ切レナイ此場合ニ於テ、ドウシレバ宜シイノデア
ル、ドウシテモ鎮壓セザルベカラズ、力足ラズンバ兵力ヲ用ウルノハ當然ナ話デアル（「ヒ
ヤ／＼」ト呼フ者アリ）執達吏ガ其職務ヲ執行スル場合ニ於テサヘモ、警察官ノ力デ或
ハ鑛山トカ何トカ云フ所デ鑛夫ナド多數ノ者ガ之ニ抵抗スル場合ニ於テ、警察官ガ之ヲ
制スル能ハズンバ執達吏ノ仕事ヲスルニモ兵力ヲ用ヒテ亦可ナリ、裁判官、警察官ガ己
レノ力及バザル場合ニ於テ兵力ヲ用ウルノハ當然ノ結果デアリマス、公力ハ斯クシテモ亂
暴ヲ止メナケレバナラナイノデアリマス、然ルニ菊池君ヤ小河君ハ何ヲ間違ヘラレタノデアリ
マス、殊ニ小河君ハ法律ヲ御了解爲スデ居ル方ト私ハ信ジテ居リマスルガ、戒嚴令ノ場
合ヲ引キ來ッデ、此公力執行ノ妨害者ヲ排斥スルニ警察官ノ力足ラザル場合ニ於テ、兵
力ヲ藉リタルコトヲ彼ノ戒嚴令ト御間違ニナツデ居ル、戒嚴令ハ一部ノ公力執行妨害
ノ起ッヤウナ場合ニ布クモノデハナイノデゴザイマス、其場合ヲ混同セラレテ、濫リニ兵ヲ
弄シタナドト言ハレマスルガ、菊池君ハ昨年ハ兵ヲ用井ナカッタト言ハレマシタガ、是ハ非
常ニ間違デア、昨年モ兵力ヲ桂内閣ハ藉リタデハアリマセヌカ、全クノ事實デア、ツレ
バ即チ私ハ當然ト思フ、警察官ノ力足ラズンバ兵ヲ用ウルノハ當リ前デア、何が是ガ
不都合デアリマセウカ、サウシテ君等ハ此新聞記者ガ其中ニ這入ッデ居ルトカ、或ハ傷ヲ
後ロカラ負ハセラレテ居ルトカ云フコトヲ、唯一ノ證據氣ニ論ゼラレマスルケレドモ、新聞
記者ガ若シ事實騷擾ノ際ニ探偵セントスルナラバ、必ズシモ其暴民ト共ニ、警察官ガ見
テ以テ暴民デアルト間違ヘルヤウナ處ヘ混ジテ居ル必要ハナイノデアリマス（「ノウ／＼」ヒ
ヤ／＼）「ト呼フ者アリ）彼ノ中央新聞ノ前ニ於ケル騷擾ハデス、此時分ノ能ク真相ヲ知ッ
テ居ル者ハ本員ノ家ニアルトコロノ書生等ガ——其鄰ニ獨立通信ト稱スルトコロノ通
信社ガアリマス、此二階ト中央新聞ノ家ニアル者ニハ誠ニ能ク分タ、アノ橋ノ上カラ川ヘ
突落サレナケレバナラナイ危險ナ位置ニ押シ押サレテ居ッテ、ドウシテ實際ノ事柄ガ觀察
シ得ルデゴザイマセウ、果シテ新聞記者ニシテ事實觀察ニ行ツタト云フノナラバ、同業者
ナル中央新聞社ヤ獨立通信社ニ話ヲシテ、ソコニ平穩ナル場所ガアル、其處デ之ヲ御
覽ニナツタナラバ宜カッタデアラウ、觀察セラレタラ宜カッタデアラウ、然ルニ攻撃群衆タルト
コロノ暴民ト共ニゴタ／＼押込ンデ行カレタノハ如何デアリマス、新聞記者ト云フ特別
ノ印シモゴザイマセヌ、暴民ト同ジ姿ヲシテ同ジ所ニ押合ヒヘシ合ヒワイ／＼ヤツテ行キマ
シタナラバ、是ハ暴民ト見ラレテモ其人所居ル所、其人ノ行動トニ依テ致方ガナイデハゴ

辯論ヲ費スノ必要ハナイト思ヒマスルガ故ニ、卽チ菊池君ノ御望ミノ如ク、將來ニ於

ヤヒヤ^{ハヤ}ト呼^ヨフ者アリ^{ハヤ}又油町ニ於テ深夜——夜ノ十二時頃普通ノ人ハ餘リサウ云フ

群衆ヲ爲サス時期ニ、交番所ヲ襲フガタメニ多クノ者ガ參タ、固ヨリ其中ニハ煽動者モアラウ、雷同者モアラウ、ソレヲ一應調ベマシテ、調ベテ其罪ナキ者ヲ、嫌疑ノナイ者ハ放還致スノハ警察官當然ノ職務ト私ハ思フ、斯様ナル場合ニ如何ニ致セバ諸君ハ満足スルカ、交番所ハ勝手ニ襲ハレ、公衆ニ危害ヲ勝手ニ與ヘサセテ宜シト云フマサカニ諸君ト雖モ斯様ナコトハ言ハレマイ、尤モ昨年ノ騷動ヨリシテ今年ノ騷動モ公憤ノ發スルコトデアルト言ッテ、恰モ彼等ノ群衆ノ爲スガ儘ニスレバ宜シト云フヤウナル議論ヲ爲サレタ人モアルケレドモ、是ハ常識ヲ以テ左様ナルコトノ出來ベキモノデナイ、デ警察官ハ當然ノ職務ヲ盡シテ居ルト私ハ思フ、若シモ多數ノ警察官中ニ不當ナル處置ヲ爲シタ者ガアルナラバ、取調ベノ結果、又は是ガ舉ガルナラバ私ノコトニ少シモ躊躇セヌ、奈何セン左様ナルコトハ見當ラヌノデ、諸君ガ若シモ確カナル證據ヲ舉ゲルナラバ是ハ別モノデアルハ、一一ノ醫師ノ診斷ガ斯ウデアル、公衆ガ皆見テ居ルト云フヤウナル漠然タルコトデハ責任ノ取リヤウガナイ

〔ノウ〕「下呼フ者アリ議場騒然」

○議長(大岡育造君) 此際注意シテ置キマスガ、今日ノ重要ナル問題、殊ニ原內務大臣ヲ彈劾セラレ、譯デアリマスカラ、原內務大臣ノ言フコトヲ裕カニ御聞キニナルダケノ雅量ハ御持チニナルコトヲ希望シマス

〔御互ヒ様々「下呼フ者アリ」〕

○議長(大岡育造君) 黒須君、發言ヲ禁止シマス

○內務大臣(原敬君) 之ヲ要スルニ是ハ決シテ一個ノ、個人ノ問題デモナケレバ一黨一派ノ問題デモナイ、斯様ナル場合ニハ如何ニシテ安寧秩序ヲ保ツモノデアルヤ、又內務大臣ノ職責トシテ安寧秩序ヲ保チ得タルデアルカ、保チ得ナイデアルカ、若シ安寧秩序ヲ保チ得ナダトスレバ、諸君ノ言フ俟タズシテ其責ヲ引クト云フノハ當然ノ話デアル併シ私ハ種々ノ方法ヲ用井、成ルベク無輩ノ人民ヲ罰セザルヤウニ有ラン限リノ注意ヲ以テ、安寧秩序ハ保持シ得タリト信ズルデアリマス、既ニ安寧秩序ヲ保チ得タリト信ズル以上ニハ、責ヲ引クノ必要ハナイデアリマス(ヒヤ)「下呼ヒ拍手起ル」サリナカラ若シモ一ニ心得違ヒノ警察官等ガアリマシタナラバ、之ヲ處分スルニ躊躇シナイ、奈何セン其證據ガ舉ラヌデアリマス、舉ゲ得ルナラバ如何ナル方法ヲ以テ諸君ハ舉ゲルデアルカ、諸君ト雖モ是ハ唯風説ニ聞キ、人ノ言ニ聞イテ、甚シキハ新聞ヲ基礎トシテ議論サレルハマデアルト云フニ至ッテハ、甚ダ是ハ驚カザルヲ得ナイ、今日ノ場合ハ段々人智モ發達致スト共ニ、公衆ノ議論ナルモノモ相當ナル力ヲ持ッテ居ル、故ニ之ニ對シテハ慎重ナル注意ヲ拂ハナケレバナラヌ、成ルベク言論ヲ以テ國政ガ動クヤウニ致サナケレバナラヌ、群衆集テ當局者其他議員ニ對シテモ脅迫ガマシキコトヲ致スト云フニ至ッテハ、之ヲ放任致シテ居ラハ所謂暴民政治ノ端ヲ啓クデアリマス(拍手起ル)是ハ獨リ政府ニ對シテモ議員ニ對シテモ、動モスレバ脅迫セントスルデアル、此ノ如キコトハ治安ノ責任ヲ保タントスル者ニ於テハ相當ナル注意ヲ以テ、是ガ鎮壓方法ヲ執ラナケレバナラヌ、斯様ニ致シテ幸ニ甚ダシク騷擾ヲ致サズ、安寧秩序ヲ保チ得タリト信ズルデアリマスガ、諸君ハ諸君ノ聞イタ所、諸君ノ認メタルコトヲ確實ナリト致シテ責任ヲ執レト云フコトハ、是ハ實ニ無理ナル注文、私ハ此職責ヲ盡スニ於テ此職務ニ戀々致シテ居ル次第デナイガ、斯様ナル薄弱ナル基礎ニ向ッテ以テ人ニ責任ヲ執レト云フコトハ、實ニ言語道斷、立憲政治ハ此ノ如キコトヲ發展致スマイト考ヘル(拍手起ル)故ニ是ハ國家ノためニ、憲政ノためニ、此ノ如キ決議案ニハ絶對反對致シマス、諸君ハ篤考ヘテ、是ハ憲政ノため、黨派ノ

消長デモナケレバ爭奪ノ問題デモナイ、冷靜ニ判斷セラレテ、此決議案ガ適當デアルヤ不適當デアルヤハ篤考ヘ、冷靜ナル判斷ヲ俟タナケレバナラヌ、徒ニ辯ヲ弄シテ反對黨諸君ト鬪フヤウナル考ヘナイノデ、無論其言フコトニ道理ガアレバ傾聴スルニ差支ナイ、併シ如何ニモ諸君ノ議論ハ、薄弱ナル基礎ヲ以テ人ニ引責ヲ迫ルノハ、出來得ザル問題デアル、國家ノため憲政ノため此ノ如キ無理ナル決議案ニハ、絶對ニ反對致シマス(拍手起ル)

○議長(大岡育造君) 阪本彌一郎君

〔討論終結「下呼フ者アリ」〕

○阪本彌一郎君 內務大臣ノ唯今ノ御辯論ニ付テ……

〔此時「討論終結」下呼フ者アリ發言スル者多シ〕

○議長(大岡育造君) 討論ノ終結ハ出デ居リマスケレドモ、討論終結ノ動議ハ內務大臣ノ發言ヲ求メタルニ依テ遮ギラレテ居リマス(ノウ)「下呼フ者アリ」唯今阪本君ニ發言ヲ許シデアリマス

○阪本彌一郎君 內務大臣ノ唯今御述ベニナタタコロニ依リマス、第一ノ點ニ付テハ警官ガ刃傷ヲシタト云フ證據ガ充分ナラヌデアル、其證據ガ充分ナラザルトキニ當ッテ內務大臣ニ責任ヲ負ヘト云フコトハ、無理デアルト云フコトノ理由ト、今一ツハ第二ノ點ニ付テハ深夜群衆ガ公衆ニ危險ヲ及ボス憂アルト云フコト、警察官ガ之ヲ制止シタト云フハ適當ノ處置デアル故ニ、此點ニ付テ責任ヲ負ハヌト云フヤウニ言ハレタコトノヤウニ私ハ拜承致シタデアリマス、併ナガラ第一ノ點ニ付テハ證據ガ無イト云フコトハ、內務大臣ノ御取調ニ依テノ證據ガ無イトデアルマイカト私ハ考ヘル、內務大臣ノ是ガ證據ガナイト言ハレノハ、果シテ如何ナル御調ヲナスッテ、而シテ如何ナル手續ニ依テサウ云フ御判斷ヲナサル、デアルカ、此御辯明ヲ願ヒタイ、若シ其御辯明ニシテ當ヲ得ザルニ於テハ、內務大臣ハ唯今御述ベニナタタコロニ依テ責任ヲ御負ヒニナランケレバナラヌト考ヘマス、第二ノ點ニ付キマシテ群衆ガ夜分多數歩リタイ、歩リタイコトニ付テ之ヲ制止スルハ適法ノ處置デアルト仰シヤッタガ、若シ此中ニ幼年ガアリ、或ハ誰ガ見テモ決シテ暴行ヲスル者デナイト云フコトヲ認メラレタ者ガアリマス、其多數ガ監視廳ハ引張ッテ行カレマシテ、監視廳ニ一夜若クハ二夜ヲ抑留セラレタ事實ガアル、而モ其引張ッテ行カレタ事柄ガ法律上適法ト見得ベカラザル事實デアルト致シマスレバ、內務大臣ハ是ニ向ッテ責任ヲ負ハル、決心アルヤ否ヤ、而シテ此事ハ多數ノ民衆ガ暴行シタト云フ事柄ハ、如何ナル點ニ於テ如何ナル事實ニ於テ之ヲ御判斷ニナタタデアリマスカ、此點ニ付テ詳シク御答辯ヲ願ヒマス

〔討論終結「質問デアル」下呼フ者アリ〕

○內務大臣(原敬君) 唯今阪本君デアリマシタカ御質問デアリマスガ、劔ヲ抜イテ斬

タト論ゼラル、方ノ證據物ハ何カト云ヘバ、或ル新聞社ノ醫者ガ診斷致シタト云フコトト、ソレカラ今一ハ或醫員ガ診斷致シタト云フコトデアリマス、併シ監視廳ヨリ參ッテ同シ醫員ノ手ア同シ人ヲ診斷致シテ、之ヲ切傷デナイト言ウタ、此同シ人ヲ當座療治シタトコロノ救護班ニ於テモ之ヲ切ッタ傷ト認メナイ、吾々ハ一二ノ人ノ言ヲ聽イテ、此ノ如ク當該官廳ノ報告ヲ非認スルコトハ出來ナイ、若シ御入用ナレバ診斷書モアルケレドモ、左様ナル末節ノ爭ハ此議場ニ於テ執ル所デナイ、併シ診斷書ハ悉ク在ルノデアル、故ニ是ハ證據ナシ此ノ如キコトヲ言フデアナイ、併ナガラ民間ノ人モ斬ッタト頻リ言ハ

レカ、事實ヲ調査シテ斯様ニ申シタルアル、ツレカラ油町多ク人ヲ押シテ調ベテ、罪ナ
キモノハ放免致シタルコトニ付テ、大層公衆ノ自由ヲ害シタルハレハシタガ、ケ
レドモ是其場合ハ三百人四百人ト群集シテ、方々ヘ石ヲ擲ケ、往來ヲ妨ケ、種々ナル
危害ヲ加ヘ、方々横行致シテ、而シテ油町ノ交番ヲ襲ヒニ參ツタ故ニ、之ヲ皆押ヘテ、
無論ハ通リカ、ツタ者ハ直ニ放免ヲ致シ、尙嫌疑アル者ハ相當ノ調ヲ致シテ放免シテ、
併ナガラ其中二十幾人カハ如何ニモ騷擾罪ニモ問ハンケレバナラヌ行動アル、故ニ之ヲ
檢事局ニ送付シタルカ、此裁判ニ依テ果シテ騷擾罪アルヤ否ヤ判明致シマス、免
ニ角警察署ノ取締シテハ當然アル、是ハ先刻何方カノ質問ニ依テ答ヘタコトアル
ガ、折角御尋デアルカラ重ネテ……

○川原茂輔君 議長

○議長(大岡育造君) 質問ノ通告ガアリマスガ……

○川原茂輔君 議事ノ進行ニ對シ一言シタイ

○議長(大岡育造君) 川原君

○川原茂輔君 先刻緊急動議トシテ討論終結ノ動議ヲ提出致シマシテ、定規ノ賛成
ガアリマス、其後ニ内務大臣ノ御發言ガアリマシタケレドモ、政府委員ハ何時タリトモ發言
スルコトヲ得ルト云フ議院法ノ明文デアリマスカラ、討論終結ノ動議ヲ出シタルハ即チ成
立シテ居ルモノト私ハ認メル、内務大臣ノ答辯ガ濟ミマスレバ、何レ討論終結ノ動議ガ
成立シテ居リマスカラ、直ニ議長ハ採決セラレンコトヲ望ミマス、併ナガラ議長ノ解釋ニシ
テ若シ本員ノ解釋ト違フテ、政府委員ハ何時タリトモ發言スルコトヲ得ルト云フコトガア
ルケレドモ、其内務大臣ノ發言ノタメニ討論終結ガ中止セラレタリト云フ御見解ガ相當
ナリトスレバ、更メテ討論終結ノ動議ヲ提出致シマス

〔賛成々々〕(聲起ル)

○議長(大岡育造君) 討論終結ノ動議ガ出マシタ、併ナガラ先刻ハ未ダ定規ノ賛成
アルホド正シク請取ツテ考ヘル暇ガナイ中ニ、内務大臣ノ發言要求ガアツタカラ之ヲ許シタル
デアリマス、唯今川原君カラ更メテ求メラレタツレニハ非常ニ多數ノ賛成ガアルヤウニ思
ヒマス、討論終結ノ動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 多數

○議長(大岡育造君) 多數デアリマス、依テ討論ハ終結トナリマシタ、此場合採決ノ
方法ヲ記名投票ニ依リタイト思ヒマス

〔異議ナシ異議ナシ〕(聲起ル)

○議長(大岡育造君) 閉鎖

〔投票ノ方法ハ如何シマス〕(ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 投票ノ方法ニ付テ一言致シマス、此決議案ヲ可トスルノ諸君
ハ白票、否トスル諸君ハ青票、唯今ヨリ氏名點呼ヲ命ジマス

〔書記氏名ヲ點呼ス〕

○議長(大岡育造君) 投票漏ハアリマセスカ——投票漏ハ無シト認メマス——開鎖

〔書記官投票ノ數ヲ計算ス〕

○議長(大岡育造君) 投票ノ結果ヲ書記官長ヨリ朗讀致シマス

〔林田書記官長朗讀〕

出席總員二百五十五

可トスル者 百五十二

否トスル者 二百三

〔拍手起ル〕

〔決議案ヲ可トスル議員ノ氏名左ノ如シ〕

石田 仁太郎君	伊藤 英一君	伊東 知也君	市川 文藏君
犬養 毅君	濱田 國松君	西村 丹治郎君	豐福 泰造君
奥山 寬平君	大口 喜六君	大内 暢三君	柏原 文太郎君
金尾 稜嚴君	吉田 圓助君	高木 益太郎君	高木 正年君
高柳 覺太郎君	中山 梅治郎君	中小路 與平治君	村松 恆一郎君
紫安 新九郎君	野添 宗三君	山谷 虎三君	增田 義一君
的野 半介君	古島 一雄君	小西 和君	相島 勘次郎君
青地 雄太郎君	有森 新吉君	清水 仁三郎君	柴田 源左衛門君
平野 龜之助君	人見 米次郎君	土方 千種君	守屋 此助君
關 直彦君	關 和知君	鈴木 梅四郎君	石橋 爲之助君
早速 整爾君	八田 裕二郎君	橋本 太吉君	花井 卓藏君
林 毅君	岡部 次郎君	大西 五一郎君	大竹 貫一君
小田 知周君	尾崎 行雄君	尾崎 元次郎君	加瀬 禧逸君
風間 禮助君	高野 金重君	田中 善立君	田中 清文君
田川 大吉郎君	中島 行孝君	中川 虎之助君	村田 虎次郎君
安田 伊左衛門君	松本 恆之助君	小山 谷藏君	阿由 葉鎗三郎君
有田 溫三君	才賀 藤吉君	菊池 侃二君	菊池 武德君
三輪 信次郎君	平出 喜三郎君	森田 小六郎君	井上 廣居君
井手 三郎君	石田 孝吉君	早川 龍介君	原 脩次郎君
原田 赴城君	半谷 清壽君	本田 恆之君	富田 幸次郎君
奥田 柳藏君	岡崎 久次郎君	大森 與三郎君	大原 義剛君
小河 源一君	渡邊 國重君	川合 直次君	川上 淳一郎君
河野 廣中君	加藤 政之助君	賀 卯之吉君	片岡 直溫君
狩野 雄一君	横田 孝史君	横尾 輝吉君	高橋 久次郎君
津村 欽次郎君	武内 作平君	武富 時敏君	辻 貫一君
村松 龜一郎君	根津 嘉二郎君	中安 信三郎君	中野 實一君
山宮 藤吉君	鶴澤 宇八郎君	野村 嘉六郎君	矢島 浦太郎君
松宮 治君	山道 襄一君	矢島 時次郎君	町田 忠治君
眞館 貞造君	福家 德二君	松村 善三郎君	藤澤 幾之輔君
小泉 又次郎君	福田 謙吉君	小林 勝民君	肥塚 龍君
秋田 清君	安達 謙藏君	綾部 物兵衛君	荒川 仁一郎君
淺羽 靖君	齋藤 隆夫君	阪本 彌一郎君	坂口 仁一郎君
坂本 金彌君	榎 軍之佐君	阪本 彌一郎君	水村 良君
木下 謙次郎君	目黒 孝平君	箕浦 勝人君	水野 正己君
清水 隆德君	島田 三郎君	神藤 才一君	平井 熊三郎君
森丘 覺平君	鈴木 萬次郎君	鈴木 寅彦君	鈴置 倉次郎君
須藤 嘉吉君	杉山 東太郎君	西 英太郎君	星野 錫君

〔決議案ヲ否トスル議員ノ氏名左ノ如シ〕

稻茂登三郎君	岩崎	岩崎總十郎君	岩本平藏君
岩岡伊代治君	岩田大中君	井深彦三郎君	井上篤太郎君
井上敏夫君	井上角五郎君	伊藤祐一君	石川甚作君
石黒磐君	飯田新右衛門君	一坂俊太郎君	伊東要藏君
板倉中君	濱本義顯君	長谷川敬一郎君	濱名信平君
濱田政壯君	葉住利藏君	原眞澄君	長谷場純孝君
早川六三郎君	林永太郎君	板東勸五郎君	原田十衛君
春日祐清君	本出保太郎君	帆足準太郎君	西谷金藏君
西風重遠君	法橋善作君	友常毅三郎君	細梅三郎君
堀切善兵衛君	戸水寛人君	富安保太郎君	友枝梅次郎君
戸狩權之助君	奥繁三郎君	奥田榮之進君	飛岡卯一郎君
長晴登君	岡崎三郎君	大島寛爾君	岡田泰藏君
岡田榮君	岡崎三郎君	小山田信藏君	大橋松二郎君
大久保弁太郎君	太田直次君	若杉喜三郎君	小川平吉君
小川藏次郎君	改野耕三君	川村新次郎君	渡邊祐策君
渡邊修君	加藤勝彌君	橫山寅一郎君	川眞田德三郎君
川原茂輔君	横田千之助君	吉田虎之助君	吉植庄一郎君
笠原忠造君	吉原正隆君	高橋光威君	吉田定之助君
吉原祐太郎君	高鍋篤郎君	高嶺朝教君	高橋直治君
米田鑲君	高田露君	高橋光威君	高津仲次郎君
高島茂平君	田中隆三君	武市熊一君	田村順之助君
田中敬之助君	武部其文君	鶴原定吉君	根岸岨太郎君
田代進四郎君	恒松隆慶君	中村啓次郎君	永見寛二君
津島源右衛門君	中倉萬次郎君	植野常右衛門君	村井善四郎君
根本正君	長島繁太郎君	植場平君	則元由庸君
永江純一君	漆島昌巖君	野田卯太郎君	工藤善太郎君
武藤金吉君	内山吉太君	工藤吉次君	山本梯二郎君
上埜安太郎君	日下義雄君	申本康三君	山本宗吾君
藏内治郎作君	熊谷直太君	八木逸郎君	松本吉三郎君
熊谷五右衛門君	安村竹松君	松浦五兵衛君	松田三郎君
山本七朗君	松本孫右衛門君	松浦五兵衛君	松田三郎君
松本源治君	丸尾光春君	福井豐治郎君	福井三郎君
福岡精一君	小泉策太郎君	小出源藏君	小久保喜七君
麓純義君	小坂順造君	小出源藏君	小久保喜七君
小山完吾君	江藤哲藏君	阿部德三郎君	有馬秀雄君
遠藤其吉君	相川久太郎君	齋藤圭次君	佐野喜平太君
安藤新太郎君	齋藤安雄君	佐々木仙一君	佐藤信古君
東藤武君	齋藤安雄君	佐々木仙一君	水津太郎平君
佐竹作太郎君	澤來太一郎君	柳田清兵衛君	
指田義雄君			

木下成太郎君 岸本賀昌君 柚木慶二君 三輪市太郎君
三谷軌秀君 三浦盛徳君 三浦覺一君 三土忠造君
宮古啓三郎君 翠川鐵三君 光森徳治君 水間此農夫君
清水市太郎君 島田俊雄君 日向輝武君 樋口喜直君
志々目藤彦君 平田禎君 肥後靜雄君 樋口喜直君
樋口典常君 廣澤辨二君 森川源吾君 望月保作君
森茂生君 森田俊左君 森川源吾君 望月保作君
望月圭介君 元田肇君 關信之介君 清太右内君
瀬戸山清彦君 鈴木木田 肇君 菅原信之介君 清太右内君
松方幸次郎君 中辰之助君 江副靖臣君 岩下清周君
○議長(大岡育造君) 仍テ決議案ハ否決ニ決シマシタ(拍手起ル)本日ハ是ニテ散會

午後五時九分散會

衆議院議事速記録第十五號正誤

頁 段 行
二九一 下 二九 「此場合」以下一行ハ前行ニ續ク